

令和4年度

伊勢崎市教育要覧

伊勢崎市教育委員会

序

新型コロナウイルスの感染拡大は、依然として終息の見通しが立たない状況にありますが、2年半に及ぶ感染予防対策の知見を活かして、教育・文化活動を可能な限り通常通り実施することに努めているところです。さらに、本年度に入ってから、世界の政治経済が不安定となり先行きの不透明感が増しています。こうした時代にあっては、誰もが広い視野をもって適切な判断と行動が出来るよう、対話的に協働的に学び続けることの大切さを思わざるを得ません。

このような状況を踏まえ、伊勢崎市教育委員会では、令和4年度教育行政方針及び伊勢崎市学校教育構想2022を策定し未来志向の教育施策を推進しているところです。

学校教育の分野では、「豊かな心育成プラン」「確かな学力向上プラン」「みんなの未来創造プラン」の3つのプランを推進し、ふるさと伊勢崎の伝統・文化・歴史に立脚したグローバルな視野と高い志をもち、よりよい未来を創り出すことができる子供の育成を目指しています。そして、そのために必要な施設設備等、教育環境の整備に努めています。

社会教育の分野では、子供から大人までの市民ニーズに合わせた事業の実施により公民館等における生涯学習の一層の充実を目指しています。また中学校区単位の教育ネットワークである本市独自の「伊勢崎学府制」では、公民館が中核となり学校教育と社会教育の双方向の関係づくりを進めています。

図書館事業の分野では、幼児期におはなしとの出会いをつくるブックスタート事業や、市内四つの図書館と小中学校図書室とのネットワークによる本の利活用などを推進しています。また、図書館で郷土文化を学ぶ「いせさき学習堂」を展開するなど、市民の課題解決に役立つ図書館機能の充実に努めています。

文化財保護の分野では、世界遺産構成群の一つである田島弥平旧宅をはじめとする多くの貴重な文化財や伝統文化の適切な保護と活用を進め、市民、子供たちの郷土への誇りと愛着を育んでいます。

本要覧は、現行の各種教育施策を紹介するとともに、本市の教育の歩みや施策の基礎となる各種データ等を掲載しています。皆様にご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますようお願いを申し上げます。

伊勢崎市教育委員会教育長 三好 賢治

あいさつ

私たちを取り巻く社会情勢は、人口減少はもとより、頻発する大規模な自然災害、環境問題の深刻化、情報通信技術の急速な進展、価値観・ライフスタイルの多様化、国際情勢の悪化に伴う経済不安など、絶えず変化しています。



新型コロナウイルス感染症による歴史的な災禍は、今もなお継続していますが、本市は、感染症を正しく理解し安全を考慮した上で、社会生活を再開するという、感染症との共生に舵を切ったところでもあります。

こうした中、本市では、まちづくりの指針となる「第2次伊勢崎市総合計画」に基づき、各分野の施策を横断的に連携させた持続的なまちづくりに取り組み、活力のある元気な都市を目指しているところでございます。

さらに、教育分野でも、「第2期伊勢崎市教育振興基本計画」に基づき、次世代を担う子供たちが生涯を通じて社会で活躍できる資質や能力を習得するために能動的に学び続けられる環境づくりと、市民一人一人が生涯にわたり夢と希望に向かって生き生きと学び続けられる多種多様な学習機会の提供に努めております。

今後も、子供たちが一日も早く安心して過ごし、学ぶことができるよう、市と教育委員会が一丸となって、新型コロナウイルス感染症収束に向けた積極的な取り組みを進めるとともに、社会生活の再開に向けた教育活動の発展に取り組んでまいります。

結びに、子供たちに明るい未来を引き継げるよう、誰もがお互いの立場を思いやり、支えあう「世代間の共生」を進め、『共に創る 共に生きる』伊勢崎市の実現に向けて全力を尽くしてまいりますので、教育行政に対しまして、多くの皆様のご理解、ご協力を申し上げます、あいさつといたします。

伊勢崎市長 臂 泰雄

目 次

序

市長あいさつ

目次

市民憲章	1		
伊勢崎市の概要 (沿革・市章・市旗・市の木・市の花・都市宣言ほか)	2		
I 教育行財政		IV 学校給食	
教育委員会	7	学校給食の充実	63
教育のあゆみ	11		
令和4年度教育費予算	23	V 生涯学習	
令和4年度一般会計予算	24	生涯学習の充実	69
令和4年度教育費項目別予算	25	図書館	79
教育費年度別決算額	26	VI 文化振興	
		文化振興	89
II 教育施設		VII 文化財保護	
教育施設一覧	29	文化財の保護と活用	95
令和4年度施設建設等主要事業計画	35		
令和3年度施設建設等主要事業実績	37	VIII 青少年健全育成	
		心身ともに健全な青少年の育成の推進	107
		青少年非行防止活動の推進	110
III 学校教育		IX スポーツ振興	
令和4年度主要事業	41	スポーツ振興	115
各種事業	42		
（ 学力向上・学校等訪問・キャリア教育・人権教育 環境教育・情報教育・特別支援教育・外国語 指導助手・外国籍児童生徒学校生活支援助手 配置事業・地域の教育力の活用・各種援助 ）			
園児・児童生徒数	50		
学校体育保健	54		
日本スポーツ振興センター	56		
四ツ葉学園中等教育学校	57		
教育研究所	59		

伊勢崎市 市民憲章

古くから赤城山のふもとに大きく開けた伊勢崎の地は、水と緑と陽光の織りなす豊かな自然に育まれ着実に発展してきました。わたくしたち伊勢崎市民は、先人が知恵と勇気とたゆまぬ努力で築いてきた歩みを一人ひとりが受けつぎ、さらに快適で希望と活力に満ちた住みよいまちをつくるため、この憲章を定めます。

- 一 いのちを大切にします
- 一 こころとからだをきたえます
- 一 お互いを尊重します
- 一 ふれあいを広げます
- 一 ふるさとの発展に力を合わせます

市民憲章は、平成18年12月20日に制定されました。

この市民憲章は、市民の共感に基づいた自発的な行動意欲を喚起するとともに相互協力と連携の精神を高揚し、さらに快適で希望に満ちた住みよいまちを築く指針となり、心の支えとなり続ける理念を示すことを目的としています。

伊勢崎市の概要

沿革

伊勢崎市の地勢は比較的平坦であるが、広瀬川を境に右岸は北西から東南へ傾斜する利根川による沖積低地、左岸はほぼ北から南へ傾斜する赤城山南東に発達する大間々を扇頂とする大間々扇状地の扇端部からなる。

左岸は湧水が多く、小河川がつくる浅い開析谷が発達し、権現山遺跡をはじめとする旧石器時代から縄文時代の遺跡が多く見られるが、弥生時代の遺跡の分布は比較的少ない。古墳時代になると湧水や小河川沿いには村落が発達し、県指定重要文化財の長持形石棺をもつ前方後円墳の「お富士山古墳」（市指定史跡）をはじめ、主な河川沿いに多くの古墳群や集落が発達している。古代の遺跡では、上野国佐位郡正倉跡（国指定史跡）で「上野国交替実録帳」に記載された「八面甲倉」の八角形建物が発見された。また、上植木廃寺は佐位郡の寺院と考えられ、佐位郡衙との関連が指摘されている。境地区北で伊勢崎、東地区との東西一直線の境界は、宮都から陸奥国へ通じた東山道駅路の痕跡として今日まで残っている。さらに境伊与久の十三宝塚遺跡（国指定史跡）は、『続日本紀』天平19年12月14日条の「百姓に造塔を許す」という勅に比定され、上野国分寺の創建とも関係する寺院跡である。古代末から中世には藤原秀郷流の一族を開発領主とする湊名荘が置かれ、その灌漑用水として赤堀地区から東地区に及ぶ女堀（国指定史跡）が状態良く残っている。

戦国期には藤姓湊名氏の一族赤堀氏、田部井氏、那波郡を本貫地とした那波氏等の在地の武士が台頭するが、戦国大名の勢力のはざまに没落してゆく。那波氏が拠点としていた赤石郷にあった砦は由良氏の手落ち、由良氏は赤石郷を伊勢皇大神宮に寄進し、これを勧請し砦の中に祀った。以後この砦は「伊勢崎」と呼ばれ、現在までの地名として定着する。

伊勢崎地区及び境地区には、天正18年（1590）那波郡に一万石で松平氏が、やや遅れて佐位郡に一万石で稲垣氏が入封、以後両氏の後に酒井氏が入り、断続を経て天和元年（1681）以降明治4年（1871）廃藩置県まで二万石の伊勢崎藩が存続するとともに、赤堀、東地区と同様に、旗本領、幕府領や他藩領が混在した。

伊勢崎町や境町には近世の初頭から六斎市が立ち、物資が集散し、この地域は一つの経済圏を形成した。中期以降は養蚕が盛んになり、繭、糸、地場の織物である太織が取引された。このような経済活動を背景に文化活動が盛んになった。安永期に藩校「学習堂」が設立されると、民間にも郷学設立の動きが起き、享和元年（1801）有志による私塾として始まった境伊与久の五惇堂を初めとして文化期には8校の郷学が設立された。創設にかかわったのは儒学を学んだ人たちであった。明治4年（1871）廃藩置県前後には、第二次興隆期を迎え、14校が設立され、伊勢崎藩領内の郷学は合わせて25校となった。

安政6年（1859）横浜が開港されると、当時の主要な輸出品となった生糸や蚕種を生産していたこの地方は挙に潤い、島村、長沼村では蚕種業が盛んになり、直接横浜に売り込みに行く人々も現れた。幕末期には元機屋が現れ、賃機により農家を潤した。明治期に入ると品質維持、改良のため太織会社が設立され、伊勢崎織物業組合へと発展した。組合は技術伝習のため明治19年（1886）「染織講習所」を設立、明治29年には伊勢崎染織学校へと発展し、明治33年県へ移管され、この地域の中等教育の走りとなった。この頃の基幹産業であった「伊勢崎銘仙」は、明治末期、昭和初期及び戦後復興期に黄金時代を迎えるが、生活様式の変遷により、昭和50年伝統工芸品として国指定をうけ新たな一歩を踏み出した。近年は利便性に優れた幹線道路網を活かして、製造業や大規模商業施設の進出から、商工業が盛んな産業地域になってきている。

また、近郊農業が盛んで農産物の生産も多い地域である。

平成17年1月伊勢崎市、赤堀町、東村、境町の4市町村が合併し、人口20万人の新伊勢崎市が誕生した。

平成19年4月には、特例市（地方自治法改正により、現在は「施行時特例市」）となり、現在もさらなる発展を続けている。

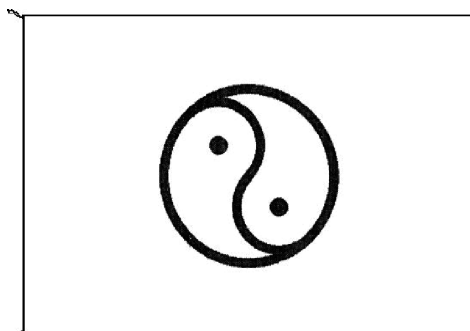
市章



伊勢崎市の徽章を左図の如く定め諸般に用いるものとする。この地域にゆかりの深いまがたまを用いて、いせさきの「い」の字をデザインしたもので、市民の融和と本市の発展を表しています。

(平成 17 年 2 月 28 日告示)

市旗



縦の長さは、横の長さの 3 分の 2 とする。

市章の直径は、縦の長さの 5 分の 3 とする。

市章の中心は、旗面の中心とする。

市章上・下のあきは等しくする。

2 個のまがたまの孔の中心を通る直線は、市章の中心を通る水平線より左側仰角 45 度とする。

旗の地色は白色とする。

市章の地色は赤色とし、まがたまは白抜きとする。

市の木

松



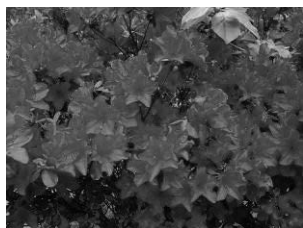
【市の木の選定理由】

検討委員会では、市の木は、古くからこの地域に広く自生、あるいは植栽されている樹木が最適であろうという考え方により、アカマツ・クロマツを含む総称としての「マツ」が選定されました。

マツは、現在の市全域に生育しており、庭木や盆栽としても広く愛されてきました。市内には、神社・仏閣、街道筋などに多く見られ、県内有数の名木もあります。また、公園や公共施設などにも数多く植栽されています。(平成 18 年 12 月 20 日告示)

市の花

ツツジ



サルビア



キク



スイセン



【市の花の選定理由】

市の花は、一つに限定せず長い期間にわたり楽しめるよう複数あってもいいのではないかとという考え方に基づき検討されました。その上で、旧市町村の花もそれぞれの経過を経て地区の人々に親しまれている状況

も考慮されました。

そのような中、開花時期が注目されました。ツツジは春、サルビアは夏から秋、キクは秋、スイセンは冬から春にかけて咲き、四つの花を合わせれば四季折々に花を楽しむことができます。

そこで、四つの市町村が合併して一つの新しい伊勢崎市を創り上げる象徴として、一年中を花で飾れる「四季の花」という思いを込め、四つの花が選定されました。(平成18年12月20日告示)

都市宣言

●人権尊重都市宣言

平成18年12月20日制定

すべての人々の人権を平等に保障することは、だれもが幸せに暮らせる社会をつくる基礎になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、お互いの理解と協力と信頼により、一人ひとりの健康で幸福な生活を送る権利を守り、みんなで明るく住みよいまちを築くため、ここに「人権尊重都市」を宣言します。

●スポーツ都市宣言

平成18年12月20日制定

スポーツに親しみ、スポーツをとおして健康な心と体をつくり、友情とふれあいの輪を広げることは、明るく健全な社会をつくる大きな力になります。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが生涯を通じて健康で生きがいのある充実した生活を営み、笑顔と活力あふれるまちを築くため、ここに「スポーツ都市」を宣言します。

●安心安全都市宣言

平成18年12月20日制定

安心で安全な暮らしを脅かす災害や交通事故、犯罪などをなくすことは、すべての市民の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、一人ひとりが自分たちのふるさとを自分たちで守るという共通の考えを持ち、みんなで手を取り合い、快適で心安らかに暮らせるまちを築くため、ここに「安心安全都市」を宣言します。

●核兵器廃絶平和都市宣言

平成18年12月20日制定

平和と安全を脅かす核兵器を地球上からなくすことは、人類共通の願いです。

わたくしたち伊勢崎市民は、平和を愛する世界各国の人々とともに永久の平和が実現することを強く望み、核兵器のない世界を築くため、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

人口・世帯 (令和4年5月1日現在)

人口	211,962	人
男	106,662	人
女	105,300	人
世帯数	93,199	世帯

位置・面積

北緯	36° 18′
東経	139° 11′
海拔	58.1 m
面積	139.44 km ²

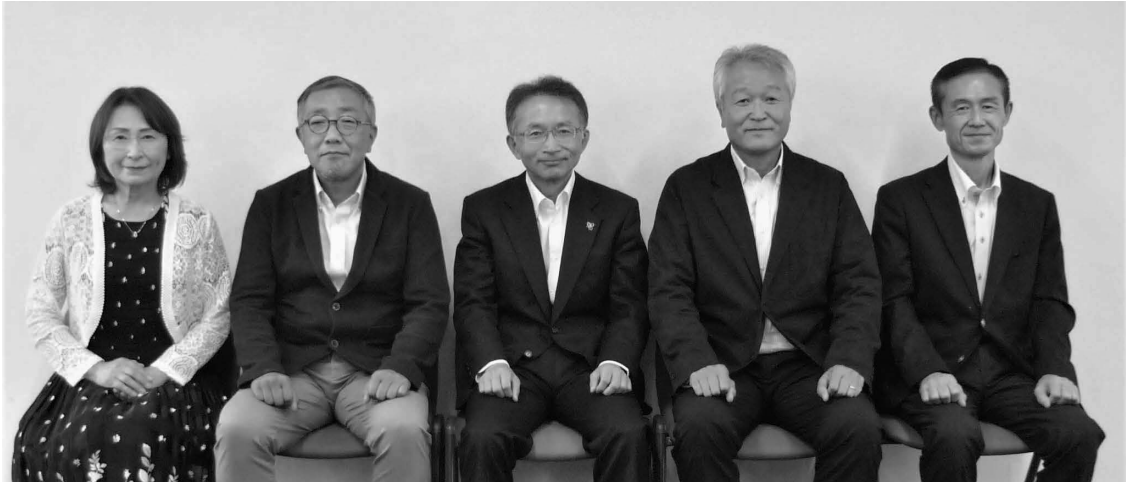
I 教育行財政



教育委員会会議の様子

教育委員会

1 教育委員 (令和4年4月1日現在)



山洞委員 高山教育長職務代理者 三好教育長 野口委員 里見委員

役職名	氏名	住所
教育長	三好賢治	前橋市富士見町原之郷
教育長職務代理者	高山英記	伊勢崎市山王町
委員	野口裕孝	伊勢崎市小泉町
委員	山洞広美	伊勢崎市境栄
委員	里見哲也	伊勢崎市連取町

2 歴代の教育長

氏名	就任年月日	退任年月日
田島國明	平成17年1月1日	平成17年3月23日
山口晃	平成17年4月1日	平成25年3月31日
徳江基行	平成25年4月1日	令和3年3月31日
三好賢治	令和3年4月1日	

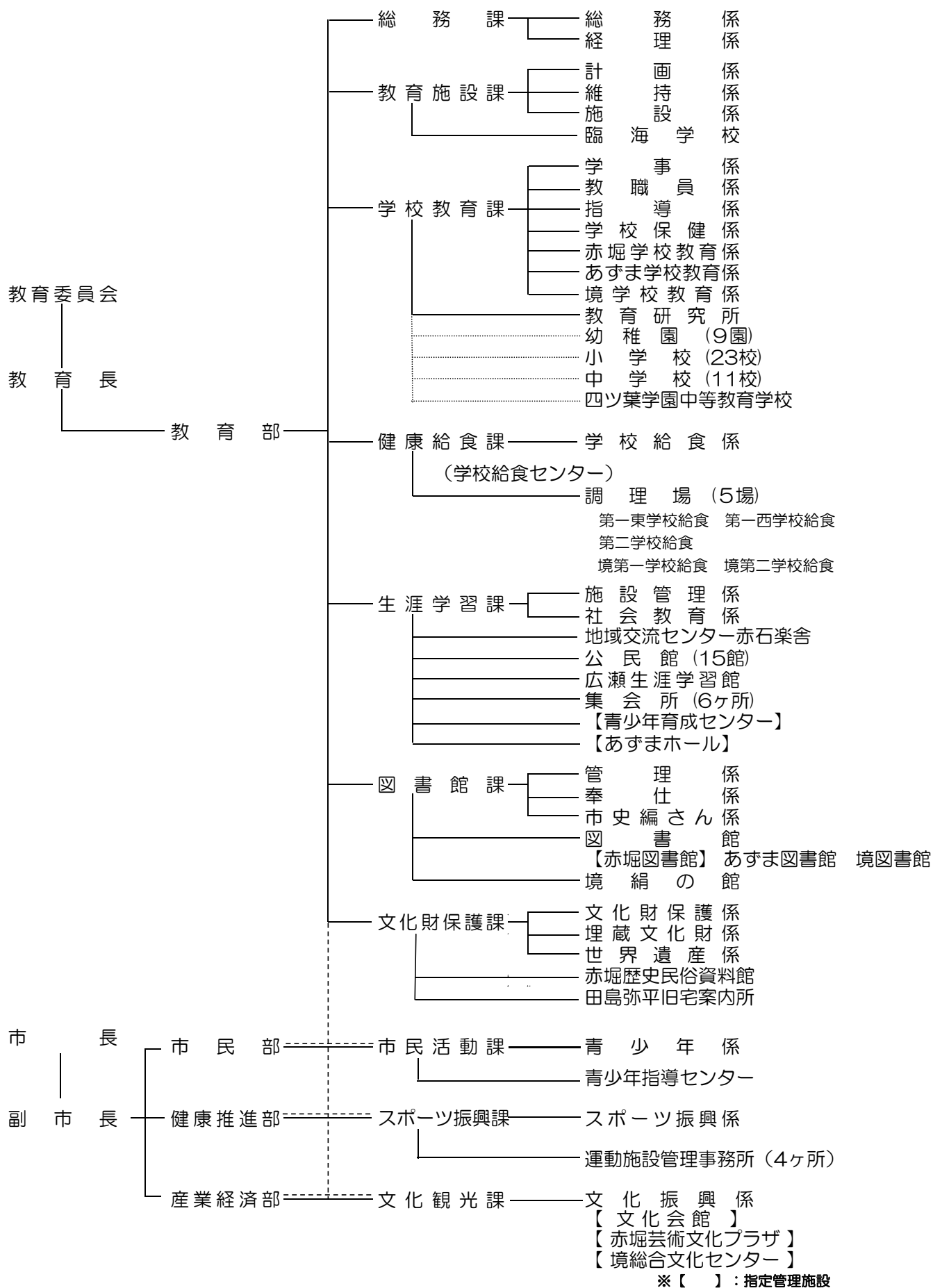
3 歴代の教育委員

氏名	就任年月日	退任年月日
上山 明	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
上林 雄	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
御任 佳子	平成 17 年 1 月 1 日	平成 19 年 3 月 23 日
茂木 初實	平成 17 年 1 月 1 日	平成 17 年 3 月 23 日
大塚 富男	平成 17 年 3 月 24 日	平成 18 年 3 月 23 日
赤石 勝彦	平成 17 年 3 月 24 日	平成 19 年 10 月 31 日
須田 篤子	平成 17 年 3 月 24 日	平成 21 年 3 月 23 日
大沢 啓一	平成 18 年 3 月 24 日	平成 22 年 3 月 23 日
小久保 剛利	平成 19 年 3 月 24 日	平成 23 年 3 月 23 日
大山 隆	平成 19 年 12 月 19 日	平成 24 年 3 月 23 日
齋藤 美智子	平成 21 年 3 月 24 日	平成 25 年 3 月 23 日
茂木 克	平成 22 年 3 月 24 日	平成 26 年 3 月 23 日
大山 祐理子	平成 23 年 3 月 24 日	平成 27 年 3 月 23 日
多部田 敬三	平成 24 年 3 月 24 日	平成 28 年 3 月 23 日
萩原 裕子	平成 25 年 3 月 24 日	平成 29 年 3 月 23 日
大矢 光利	平成 26 年 3 月 24 日	平成 30 年 3 月 23 日
宮川 亮子	平成 27 年 3 月 24 日	平成 31 年 3 月 23 日
高橋 慶一	平成 28 年 3 月 24 日	令和 2 年 3 月 23 日
津久井 喜代己	平成 29 年 3 月 24 日	令和 3 年 3 月 23 日
稲庭 美智子	平成 30 年 3 月 24 日	令和 4 年 3 月 23 日
高山 英記	平成 31 年 3 月 24 日	
野口 裕孝	令和 2 年 3 月 24 日	
山洞 広美	令和 3 年 3 月 24 日	
里見 哲也	令和 4 年 3 月 24 日	

4 付属機関の委員等

名 称	人 員	構 成
奨学生選考委員会委員	11人以内	学識経験者、その他教育員会が適当と認めた者
教育支援委員会委員	59人以内	小中学校長又は小中学校教頭、特別支援学級担当教諭、通級指導教室担当教諭、公立幼稚園長、県立伊勢崎特別支援学校長、県立伊勢崎特別支援学校教諭、専門医師、児童相談所職員、心身障害児（者）担当市職員、公立保育所保育士、保健師、その他教育長が必要と認めた者
いじめ問題対策連絡協議会委員	13人以内	小学校長会長、中学校長会長、教育委員、教育部長 県中央児童相談所長、前橋地方法務局伊勢崎支局長 伊勢崎警察署長、民生委員児童委員連絡協議会長 青少年育成推進員連絡協議会長、子ども会育成会連絡協議会長、PTA連合会長、区長会長、市民部長
学校結核対策委員会委員	8人以内	学校医、結核に関し専門知識を有する者、関係行政機関の職員、学校関係者
学校給食運営委員会委員	15人以内	教育委員、幼稚園・小学校及び中学校の代表、幼稚園・小学校及び中学校のPTAの代表、伊勢崎保健所長、学校医及び学校薬剤師の代表、学識経験者
生涯学習推進協議会委員	40人以内	関係行政職員、学識経験者
社会教育委員	20人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
公民館運営審議会委員	30人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
人権教育推進委員会委員	33人以内	学校教育関係者、市職員、PTA会長、その他教育長が必要と認めた者
集会所運営委員会委員 今井町集会所運営委員会委員 道伝集会所運営委員会委員 宮子町集会所運営委員会委員 柴町集会所運営委員会委員 連取町集会所運営委員会委員 三室町集会所運営委員会委員	各集会所に 20人以内	各地域から推薦された者
図書館協議会委員	10人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者
文化財調査委員	7人以内	学識経験者
赤堀歴史民俗資料館運営協議会委員	8人以内	学校教育関係者、社会教育関係者、学識経験者
青少年問題協議会委員	24人以内	市議会議員、関係行政機関の職員、学識経験者
青少年指導センター運営協議会委員	16人以内	関係行政機関の代表、青少年保護育成に関係する団体から推薦された者
スポーツ推進審議会委員	15人以内	スポーツに関する学識経験のある者
スポーツ推進委員	45人以内	各地区から推薦された者

5 教育委員会機構図 (令和4年4月1日現在)



教育のあゆみ

〈学制発布から明治〉

西暦	年代	主 な 事 項
1872	明治 5. 8. 3	学制を制定し学区制を発布 (全国を8大学区に分け、1大学区に32中学区、1中学区に210小学区を設置) 群馬県では小学校教授細則を告示 (下等小学校は6歳から9歳まで4か年8級、上等小学校は10歳から13歳まで4か年8級)
	8.	群馬県、旧藩校及び郷学、寺子屋等に廃学の指令
1873	6. 6. 9	赤石学校、伊勢崎町本光寺を仮校舎として開校 明治8年2月までに伊勢崎地区17校、赤堀地区2校、東地区1校、境地区では10校が開校。当時、設立された学校の多くは、寺院を仮校舎とするものが多い
1874	7. 1.	島村に新聞を回覧し、新しい知識を得ようとする「新聞夜学会社」の結成
1875	8. 8. 4	小保方学校分校国定支校、養寿寺に開校
1876	9. 6. 8	田部井学校、西福寺を仮校舎として開校
	6. 9	国定学校独立(明治11年3月19日 校舎竣工)
1877	10. 2.	群馬県令楫取素彦、赤石学校を視察
1878	11. 7. 17	赤堀今井小学校校舎を宇南原に竣工
1879	12. 5. 29	小保方学校、宇陣屋前に校舎竣工
	6.	播智須学校、八寸村桂林寺を仮校舎として小保方学校から分離独立
	9.	学制を廃止し教育令を制定、小学校教育を義務化
1880	13. 2.	旧伊勢崎藩藩校教授新井雀里、伊勢崎町に漢学塾「南淵塾」を開設
	12.	教育令を改正
1882	15. 11. 5	伊勢崎町赤石学校校舎竣工
1883	16. 7.	播智須学校校舎を字堤下に竣工
1884	17. 6.	小此木村の天田弁蔵、漢学塾「愛性義塾」を開設
	11.	国定学校、田部井学校に併合される
1885	18.	田部井小学校、字東宿に新校舎竣工
	3.	小学校の統廃合が行われ郡名と学区番号を冠した校名となる
	8.	佐位那波教育会設立
	8.	石川泰三が伊勢崎町に洋学塾「回天義塾」を設立
1886	19.	伊勢崎織物業組合が「染織講習所」を設立
	3.	帝国大学令の発布
	4. 10	小学校令・中学校令・師範学校令の公布 小学校を尋常・高等に分割と尋常科4年の義務制 尋常小学校を伊勢崎地区7校、赤堀地区2校、東地区2校、境地区7校に設置 高等小学校を伊勢崎町に設置
	8.	木島村の小暮卓利、普通学科の「三余義塾」を設立
1887	20.	佐位那波郡高等小学校分教場が国定村、剛志村、玉村町に設置
	1.	島村の田島善平宅に「基督教美以教会」講義所の設立
1888	21. 1.	平塚青年会発足
	5.	郡長より小学校生徒服をなるべく洋服あるいは筒袖に改正するように内諭あり
1889	22. 1.	境町青年進成会、島村青年会が発足
	4.	名和青年会統合

	4. 1	町村制施行 伊勢崎町、殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、豊受村、赤堀村、東村、境町、采女村、島村、剛志村が成立 各村村内小学校を統合して村名を冠した尋常小学校と改称
1890	23. 5. 12	伊勢崎尋常小学校に予修科付設（幼稚園のはじまり） 赤堀村、今井、西久保両校を統合して赤堀尋常小学校と改称
1891	24. 9. 1	佐位那波郡高等小学校の廃止 伊勢崎町外5か村立伊勢崎組合高等小学校（殖蓮村、茂呂村、三郷村、宮郷村、名和村、10月3日 開校式）を伊勢崎町に、毛陽1町4か村組合高等小学校（境町、豊受村、剛志村、采女村、島村）を剛志村に、赤堀村、東村2か村組合立静修高等小学校を東村に設置
1892	25. 4.	赤堀村、東村組合立静修高等小学校校舎が国定に新築
1893	26. 4.	赤堀今井、西久保両尋常小学校独立
1896	29. 1. 8	伊勢崎盛年会設立 4. 赤堀村西久保校を赤央尋常小学校と改称（9月 新築） 4. 1 佐位・那波両郡が合併して佐波郡と改称
1897	30. 11.	三郷尋常小学校校舎竣工
1900	33. 3.	組合立伊勢崎染織学校が県に移管
1901	34. 3.	毛陽5か町村組合高等小学校を解散し、各町村尋常小学校に高等科を併せ、尋常高等小学校と改称
1902	11. 15 35. 3. 31	伊勢崎町に佐波学術研究会発足（明治35年 佐波学館と改称、昭和7年 閉館） 伊勢崎町外5か村組合高等小学校を解散し、伊勢崎町は修養年限4年の高等小学校を設置 各村は尋常小学校に高等科を併設し、尋常高等小学校と改称 東村、赤堀村の学校組合も解散し、静修高等小学校が東高等小学校となり、赤堀村は赤堀尋常小学校敷地に高等小学校を建設
1903	36. 4. 10	伊勢崎高等小学校に女子補習科を設置
1905	38. 1. 14	茂呂村青年夜学会開設 2. 県立伊勢崎染織学校が桐生織物学校に統合 3. 31 県立伊勢崎染織学校廃校
1906	4. 名和尋常小学校、尺取虫、螟虫の駆除を開始 39. 4. 1 殖蓮実業補習学校設立。以後各地区に補習学校の開設 4. 15 伊勢崎町、伊勢崎女子実業補習学校の設置 5. 31 名和尋常小学校、10日間の農繁休暇を開始	
1907	6. 1 境町女子実業補習学校開校（後の境高等学校）。 40. 3. 小学校令改正、義務教育年限を延長して小学校6年制とし、高等科を2年に改め、明治41年度から実施 4. 1 伊勢崎尋常小学校と伊勢崎高等小学校を合併し、伊勢崎尋常高等小学校とし男子を収容 女子を収容する伊勢崎女子尋常高等小学校を設置	
1908	11. 28 41. 3.	佐波教育会伊勢崎部会創設 県、土地の事情により農繁休暇を認める 赤堀村3小学校を統合し赤堀尋常高等小学校と改称 平塚村に私立「東寧実業補習学校」設立
1909	42.	小保方尋常小学校を東高等小学校に併置

1910	43.	小保方校、田部井校をそれぞれ南分教場、北分教場として東尋常高等小学校が発足
	1.	茂呂村青年会創設、以後大正にかけて各町村に創設
	4. 1	伊勢崎町に県立工業学校開校 この頃から遠足、修学旅行が定例化
1911	44. 1. 10	三郷村青年夜学会発足
1912	45. 4.	伊勢崎町学齢児童保護会設立

〈大正から教育委員会発足まで〉

西暦	年代	主 な 事 項
1913	大正 2.	赤堀村赤央校の廃校
1914	3. 4. 1	伊勢崎町、男女別学の尋常高等小学校を合併して伊勢崎尋常高等小学校と改称
1915	4. 4. 1	伊勢崎町立実科高等女学校を伊勢崎尋常高等小学校に併設（大正12年4月1日 伊勢崎高等女学校と改称、同13年4月 県に移管、6月 伊勢崎町宗高に新校舎落成）
	11.	赤堀女子実業補習学校を赤堀尋常小学校に併設 同5年男子部が加わり、赤堀実業補習学校と改称
1916	5. 8.	宮郷村に処女会（女子青年団）が創設、以後大正期に各町村に創設
1917	6. 4. 13	伊勢崎町立商工補習学校開校、大正8年4月 町立商業学校に改組（大正12年 県に移管）
1920	9. 4. 26	佐波郡立農学校開校（大正12年 県に移管、佐波農業学校と改称）
1921	10. 4. 11	伊勢崎図書館が認可
1923	12. 8. 1	伊勢崎教育会、学齢児童保護会、小学校の虚弱児童を対象に伊勢崎公園（華蔵寺公園）に林間学校を開設（21日間）
1925	14.	中島徳蔵氏が東洋大学学長となる
1926	15. 6. 27	伊勢崎尋常高等小学校第1号校舎焼失
	10. 1	伊勢崎町幼児保育所を開設（昭和2年 伊勢崎第二幼稚園と改称、同9年 廃止）
1927	昭和 2. 4. 1	伊勢崎第一幼稚園設置（小学校付属幼稚園独立）
1930	5. 4. 1	伊勢崎町、茂呂村に伊勢崎南尋常高等小学校を開校
1931	6. 5. 30	伊勢崎競技場完成
1934	9.	赤堀村、今井分教場廃止
	11.	境町立境尋常高等小学校プール竣工
1935	10.	東村、南分教場を廃止
1937	12. 4.	三郷尋常高等小学校、二宮金次郎銅像の除幕式実施
	5. 3	伊勢崎市日吉町に伊勢崎幼児園開園（方面事業助成会経営）
1938	13. 7. 23	伊勢崎水泳場竣工（板垣精平寄付）
1939	14.	青年学校義務制
1940	15. 9. 30	伊勢崎市制施行（第1次）
1941	16.	赤堀村北分教場を廃止
	4. 1	国民学校発足（昭和16年3月1日 国民学校令公布）
	4. 17	私立夜間中学校開校（教場図書館、校主板垣精平）
	10. 21	境町立境尋常高等小学校学校給食を開始（月額1円）

1942	17. 9. 1	伊勢崎市北青年学校を北国民学校に付設
1943	18. 3. 31	伊勢崎市北国民学校に高等科を設置
	8.	青年学校通年昼間制の実施
	11. 1	伊勢崎市八坂町に南幼稚園開園（方面事業助成会経営）
1944	19. 4. 1	私立夜間中学校を伊勢崎市に移管、市立伊勢崎中学校と改称
1945	20. 8. 15	北国民学校、宮郷国民学校、伊勢崎高等女学校、伊勢崎図書館空襲により焼失
1947	22. 1.	伊勢崎市学校給食開始
	4. 1	小学校6年、中学校3年の9年制義務教育
	4. 29	新制中学校始業式 小学校等の教室で授業開始 昭和23年から同25年にかけて新校舎が相次いで竣工
1949	24.	5月 名和村、6月 豊受村、12月 東村、学校給食開始
1950	25.	6月 宮郷村学校給食開始 境島村教会、めぐみ保育園を開設
	8. 29	太刀 銘 備前国長船住守家造が国指定重要文化財に指定
	9.	赤堀村、学校給食を開始

〈教育委員会発足から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1952	昭和27. 10. 5	市町村の教育委員選挙の実施
	11. 1	市町村に教育委員会が発足
1954	29. 3. 20	脇差 銘 備洲長船元重が国指定重要文化財に指定
	4. 1	伊勢崎市立女子高等学校が開校（4月19日 伊勢崎市立北小学校において授業開始、6月 栄町の佐波福祉事務所跡へ移転）
	11. 18	殖蓮中学校第2校舎焼失
	11. 22	茂呂幼稚園園舎新築工事完成
1955	30. 1. 10	佐波郡三郷村と合併、3月 名和村、豊受村、宮郷村を合併
	3. 15	宮郷公民館開館
	3. 19	名和公民館開館
	3. 22	豊受公民館開館
	4. 1	三郷幼稚園開園（三郷小学校校舎使用）
	4. 8	市教育研究所発足
	12. 17	殖蓮中学校校舎復旧新築工事完成
1956	31. 1. 10	三郷公民館開館
	4. 1	宮郷幼稚園開園
	10. 1	新教育委員会法全面実施に伴い、各市町村に任命制教育委員5人就任
1957	32. 4. 1	殖蓮公民館及び茂呂公民館開館
1958	33. 2. 8	埴輪男子立像（2軀）、埴輪男子倚像、埴輪武装男子立像が国指定重要文化財に指定
	2. 27	伊勢崎市立女子高等学校円型校舎が昭和町に完成
	3. 31	宮郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	本県最初の知的障害児のための養護学校（名称は伊勢崎市立伊勢崎中学校）設立（現在の第一幼稚園に位置）

	8. 5	境町立東小学校開校
1960	35. 4. 11	伊勢崎市立北小学校校舎火災
1961	36. 3. 3	伊勢崎市立北小学校復旧校舎新築工事完成
1962	37. 3. 15	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立東小学校に特殊学級設置
1963	38. 3. 2	殖蓮公民館落成式
	4. 15	東村公民館竣工（移転）
	8. 1	境町立図書館開館
	10.	東村民プール完成（昭和39年6月13日 共用開始）
1964	39. 4. 1	境町立境中・島中を統合し、境町立南中学校に校名変更 境町立采女中を北中、境町立剛志中を西中に校名変更 東村立東中学校に特殊学級設置
1965	40. 4. 1	伊勢崎南・茂呂中学校を統合して、新しく伊勢崎市立南中学校を設置
	7. 7	伊勢崎市教育経営研究会発足
1966	41. 3. 19	伊勢崎市宮野球場建設工事完成（3月23日 こけらおとしに巨人－大洋戦開催）
	8. 25	境町立南中学校校舎完成
	9. 25	台風26号襲来、殖蓮小学校講堂倒壊
1967	42. 3. 18	境町東公民館完成
	4. 1	伊勢崎市立南中学校を伊勢崎市立第一中学校と改称 伊勢崎市立名和中学校と豊受中学校を統合して伊勢崎市立第二中学校と改称
	5. 22	伊勢崎市立殖蓮小学校体育館復旧新築工事完成
	5. 31	伊勢崎市立第一中学校校舎新築工事完成
1968	43. 2. 1	養護学校を旧茂呂中学校跡へ移転
	4. 27	伊勢崎市宮陸上競技場完成
	11. 11	青少年補導センター開所式（市福祉事務所に設置）
1969	44. 1. 23	三郷公民館新築工事完成
	3. 31	伊勢崎市立第一幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	東村立東幼稚園開園（東小学校校舎一部使用）
	8. 10	伊勢崎市立第二中学校新築工事完成
	9. 1	名和小学校が旧名和中学校校舎へ移転
	10. 12	第1回市民総合体育大会を開催（以後毎年10月10日に開催）
1970	45. 2. 15	三郷幼稚園園舎新築工事完成
	4. 1	境町立島小学校分校が境町立境小学校分校となり4年生以上は境小学校に通学
	4. 24	境町中央公民館完成
	6. 20	伊勢崎市立北幼稚園廃園
	7. 1	伊勢崎市中央公民館開館
	12. 1	伊勢崎市学校給食センター完成により、共同調理場方式になる
1971	46. 2. 22	伊勢崎市立南幼稚園園舎新築工事完成
	3.	伊勢崎市庭球場完成
	4. 1	養護学校に小学部が設置 伊勢崎市立北・三郷中学校を統合し伊勢崎市立第三中学校とする 豊受幼稚園開園
	6.	伊勢崎市民プール完成
	12. 10	豊受幼稚園園舎新築工事完成

1972	47. 3. 31	宮郷公民館新築工事完成 境町立境小学校分校廃校
	3.	伊勢崎市弓道場完成
	4. 1	名和幼稚園開園
	4.	利根川河川境運動場設置
	7. 3	名和小学校校舎焼失
	10. 1	学制発布100年及び市教育委員会発足20周年を記念して「いせさき教育のあゆみ」を発刊
	12. 22	移動図書館「わかくさ」巡回開始
1973	48. 1. 31	名和幼稚園園舎新築工事完成
	1.	赤堀剣道場完成
	3.	東村立東幼稚園園舎竣工（現在地へ移転）
	3. 20	名和小学校復旧校舎新築工事完成
	3. 25	豊受公民館新築工事完成 伊勢崎市今井町集会所新築工事完成
	6. 15	新潟県寺泊町に伊勢崎佐波臨海学校開校
	7. 20	伊勢崎市立第三中学校新築工事完成
1974	49. 7. 20	殖蓮小学校校舎新築工事完成
	10. 28	三郷小学校校舎新築工事完成
1975	50. 1. 1	伊勢崎市立北第二小学校が旧伊勢崎市立北中学校跡に開校
	3. 10	道伝集会所新築工事完成
	4.	赤堀村立赤堀幼稚園開園（小学校旧校舎使用）
	10. 23	東村文化協会設立
	11. 1	赤堀村文化協会設立
	11.	境上武公園野球場・テニス場完成
1976	51. 1. 1	伊勢崎市立北第二幼稚園開園
	3. 20	伊勢崎市立北第二幼稚園園舎新築工事完成
	7.	赤堀中央運動場完成（野球場・テニスコート）
	12. 31	豊受小学校校舎新築工事完成
1977	52. 3. 1	伊勢崎市立図書館新館開館
	3.	赤堀村立幼稚園新園舎開園
	3. 20	宮子町集会所新築工事完成
	3. 31	柴町集会所新築工事完成
	4.	境いよく野球場完成
	4. 1	伊勢崎市立第一中学校に特殊学級を設置（以後、他の中学校に逐次設置） 境町社会体育館開館（2月完成）
1978	53. 4. 1	殖蓮第二幼稚園開園（殖蓮幼稚園に併設）
	6.	境いよくテニス場完成
	7. 31	殖蓮第二小学校校舎新築工事完成
	8. 2	殖蓮第二幼稚園園舎新築工事完成
	11.	赤堀村立赤堀中学校新校舎落成式
1979	54. 1. 1	広瀬小学校開校（南小学校に併設）
	3. 25	連取町集会所新築工事完成

	4. 1	広瀬幼稚園開園（南幼稚園に併設）
	4. 10	学校給食センター米飯施設完成により米飯給食開始
	6.	赤堀村立赤堀中学校校内運動場新設
	8. 1	東村総合運動場及び東村社会体育館竣工
	11. 10	伊勢崎市民体育館落成 スポーツ都市宣言を行う
	11. 30	広瀬小学校校舎新築工事完成
1980	55. 3. 20	東村立東小学校校舎竣工（現在地へ移転）
	3. 25	名和公民館新築工事完成
	3. 30	広瀬幼稚園新築工事完成
	5.	赤堀体育館完成
	10. 9	宮郷中学校校舎新築工事完成
1981	56. 2. 25	東給食センター竣工
	3. 31	伊勢崎公民館廃止（7月 解体）
	4. 1	東村立南小学校開校（旧東小学校校舎使用） 文化会館開館
	4.	赤堀村学校給食調理場新築
	8. 3	三郷小学校校舎新築工事完成
	10. 30	宮郷小学校校舎新築工事完成
	12. 21	殖蓮中学校校舎新築工事完成
1982	57. 3. 15	伊勢崎市ソフトボール場・第二グラウンド完成
	3. 23	伊勢崎養護学校校舎新築工事完成
	3.	三室西公園運動場完成（多目的広場・テニスコート）
	4. 1	坂東小学校開校
	4. 1	坂東幼稚園開園
	7. 1	境町流水プール開場（6月完成）
	10.	赤堀香林運動公園完成
1983	58. 2. 11	東村立南小学校校舎竣工（旧東小学校から移転）
	3. 16	坂東幼稚園新築工事完成
	3. 25	殖蓮公民館新築工事完成
	3.	第二市民体育館 県立伊勢崎商業高等学校から伊勢崎市へ移管
	5. 4	群馬県立伊勢崎青少年育成センター開所、県から管理運営を受託
	7. 27	伊勢崎市教育研究所完成し、伊勢崎市立第一幼稚園から移転 県下初の独立建物となる
	8. 26	名和小学校校舎新築工事完成
	9. 28	茂呂小学校校舎新築工事完成
	10. 15	第38回国民体育大会（あかぎ国体）秋季大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	10. 27	女堀が国指定史跡に指定
1984	59. 4. 1	伊勢崎市立第四中学校開校（豊受小と坂東小の通学区域）
	8. 25	日・台中学校バレーボール親善大会が伊勢崎市民体育館で開催され、全台湾と市立第三中学校が対戦
	10. 15	伊勢崎市立第四中学校校舎新築工事完成
1985	60. 2. 28	「伊勢崎市の文化財」発刊

1986	3.	伊勢崎市庭球場改修工事完成
	4. 1	赤堀歴史民俗資料館開館
	9. 7	第40回国民体育大会関東地区大会（ソフトボール、バレーボールの競技）の開催
	61. 2. 5	伊勢崎市文化協会設立
1987	4.	赤堀コミュニティひろば完成
	6. 7	境町立図書館現在地に移転 絹の館開館
	10.	赤堀村町制施行
	62. 3. 10	東村立北小学校校舎竣工
1988	3. 25	茂呂公民館新築工事完成
	4. 1	東村立北小学校開校
	3. 10	伊勢崎市補助競技場完成
	8. 18	伊勢崎市中学生派遣事業開始（米国ミズーリ州スプリングフィールド市）
	63. 1. 11	十三宝塚遺跡が国指定史跡に指定
	2. 24	殖蓮幼稚園新築工事完成
	3. 27	東村中央公民館完成 あずま総合運動公園完成
8. 18	伊勢崎市立第二中学校校舎新築工事完成	
11. 11	生涯学習モデル市町村事業について文部省から指定（3年間）	

〈平成から〉

西暦	年代	主 な 事 項
1989	平成元. 2. 8	生涯学習推進会議発足
	3. 23	境町剛志公民館新築工事完成
	3.	あずま総合運動公園テニスコート完成
	3. 31	伊勢崎市立北第二幼稚園廃園
	4. 1	境町剛志公民館開館
	6. 7	境町総合運動場開場（5月完成）
1990	2. 3.	境矢ノ原公園運動場完成
	4. 1	境町武道館開館（3月完成）
	8.	赤堀町中学生派遣事業開始（米国サウスダコタ州ラピッドシティ市）
	8. 24	伊勢崎市相撲場完成（華蔵公園運動施設内）
	9. 19	赤堀芸術文化プラザ開館
1991	3. 10	伊勢崎市弓道場建替完成
	3. 3. 29	財団法人伊勢崎市体育協会設立
	4.	赤堀町立南小学校開校
	5. 9	東村立東中学校と米国ギャビン中学校生徒派遣事業開始によるギャビン中学校生徒の来村
1992	11. 6	伊勢崎市立北第二小学校校舎新築工事完成
	4. 3.	境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場完成
	8. 5	境町中学生生徒派遣事業開始（米国イリノイ州オーランドパーク市）
	8.	赤堀西部スポーツ公園完成 （野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート）
	9. 12	学校週5日制施行開始（第二土曜日のみ）

1993	5. 3. 22	境町立島小学校校舎全面改築竣工式
	3. 25	境町東公民館移転新築竣工式
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎高等学校開校（男女共学となる）
	5. 29	境町文化協会設立
	6. 30	伊勢崎市第二学校給食センター新築工事完成（9月から給食開始）
1994	6. 4. 15	境町島村公民館移転新築竣工式
	8. 26	境町立南中学校校舎全面改築竣工式
	10. 1	東村宮野球場あずまスタジアム完成 東村宮弓道場完成
1995	7. 3. 15	伊勢崎市南公民館新築工事完成
	3.	境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場完成
	4. 1	子ども発達相談室を市立北小学校内に開設
	4.	あずまゲートボール場設置（借地）
1996	8. 3. 29	三郷公民館新築工事完成
	3.	東村宮野球場あずまサブスタジアム完成
	5. 24	境総合文化センター開館
	10. 6	東村宮サッカースタジアム完成
	11. 2～5	第9回全国スポーツレクレーション祭、女子ソフトボール大会開催
1997	9. 3. 15	境町第一学校給食センター完成
	3.	境弓道場完成
	9. 11	国指定史跡 女堀の追加指定
	10. 1	境町絹の館に金井鳥州記念室設置
1998	10. 3. 13	境町第二学校給食センター完成
	3.	伊勢崎市野球場改修工事完成
	4. 1	伊勢崎市立幼稚園で2年保育開始 殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園休園 図書館広域ネットワーク化
	5. 3	あずまウォーターランド竣工
1999	11. 3	つつみ公園グラウンドゴルフ場完成
	11. 7. 8	東村立図書館開館
2000	12. 4. 1	赤堀町立東小学校開校
	6. 15	華蔵寺のキンモクセイが国指天然記念物に指定
2001	13. 1. 30	宮郷第二小学校校舎・体育館竣工式
	3. 27	赤堀グラウンドゴルフ場完成
	3. 31	殖蓮第二、広瀬、坂東の3幼稚園廃園
	4. 1	宮郷第二小学校開校
	11. 4	第16回国民文化祭・ぐんま2001が開催され、伊勢崎市出身の民謡研究家町田佳聲にちなんで、民謡民舞の祭典を開催
2002	14. 4.	完全学校週5日制開始
	7.	あかぼり運動公園テニス場完成
2003	15. 2. 20	宮郷幼稚園園舎改築工事完成
	3.	赤堀町立赤堀中学校新校舎（特別教室）完成
2004	16. 12.	赤堀町立南小学校校舎増築工事竣工
	3. 22	殖蓮公民館改築工事完成

	3. 30	東村立東中学校新校舎竣工
2005	17. 1. 1	市町村合併により旧町村の幼稚園、小学校、中学校の名称変更
2006	18. 3.	三室西公園スケートボード場完成（テニスコートをスケートボード場に改修）
	4. 1	青少年育成センターが県より移管
	12. 20	スポーツ都市宣言
2007	19. 4. 1	あずまホールをあずま公民館から分離
	5. 25	伊勢崎市文化協会設立（旧市町村ごとにあった文化協会の統合）
2008	20. 4. 1	県立前橋高等養護学校（伊勢崎分校）が旧県立境高等学校に開校 北小学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
2009	21. 3. 14	北小学校全面改築竣工式
	3.	図書館年間貸し出し100万点達成
	4. 1	四ツ葉学園中等教育学校開校 北小学校が特認校となる
	11. 29	四ツ葉学園中等教育学校竣工式
2010	22. 5. 14	伊勢崎市ラグビー場完成（平成23年5月1日供用開始）
	6. 30	四ツ葉学園中等教育学校グラウンド完成
	11. 16	第一中学校体育館耐震補強工事完成
	12. 10	三郷幼稚園園舎竣工（園庭の芝生化）
2011	23. 1. 24	北第二小学校体育館竣工
	3. 25	茂呂小学校校舎増築工事完成
	8. 3～16	四ツ葉学園中等教育学校の生徒30人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	9. 30	市庭球場改修工事（コート・スタンド・フェンス・トイレ）完成
	10. 12	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定を締結
	12. 28	境北中学校体育館耐震補強工事完成
2012	24. 2. 29	宮郷中学校・赤堀南小学校校舎増築工事、宮郷中学校屋内運動場増築工事完成
	3. 15	第二市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	8. 3～16	市内中学校・中等教育学校の生徒44人が米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて海外語学研修を実施
	8. 31	小学校（市内全校）空調整備工事完成
	9. 19	田島弥平旧宅が国指定史跡に指定
2013	25. 1. 28	幼稚園（市内全園）空調整備工事完成
	3. 15	中学校（市内全校）空調整備工事完成
	3. 15	あずま体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成
	4. 1	伊勢崎市立伊勢崎養護学校が群馬県立特別支援学校として県へ移管
	4. 1	新公益法人制度により財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市体育協会へ移行
	4. 1	赤堀南小学校、あずま南小学校、第四中学校、殖蓮中学校がコミュニティ・スクールに指定され、学校運営協議会を設置
	8. 3～16	海外語学研修の参加生徒数を60人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施
	11. 29	第一幼稚園園舎耐震補強工事完成
	12. 13	境小学校、境采女小学校校舎耐震補強工事完成
	12. 27	第三中学校体育館耐震補強工事完成

2014	26. 1. 31	広瀬小学校体育館耐震補強工事完成	
	2. 10	殖蓮第二小学校体育館耐震補強工事完成	
	2. 28	市民体育館改修工事（耐震・電気・機械）完成	
	3. 14	赤堀体育館改修工事（更衣室・トイレ・事務室）完成	
	6. 25	田島弥平旧宅「富岡製糸場と絹産業遺産群」として世界遺産登録	
	8. 2～15	海外語学研修の参加生徒数を70人（市内中学校・中等教育学校）に拡大し、米国ミズーリ州立大学附属語学学校にて研修を実施	
	10. 6	上野国佐位郡正倉跡が国指定史跡に指定	
	10. 31	殖蓮第二小学校校舎耐震補強工事完成	
	11. 10	南幼稚園園舎耐震補強工事完成	
	11. 14	境采女小学校校舎耐震補強工事（第2期）完成	
	11. 17	境東小学校校舎耐震補強工事（第1期）完成	
	2015	27. 1. 16	広瀬小学校校舎耐震補強工事完成
		1. 30	第三中学校校舎耐震補強工事完成
2. 6		小学校トイレ改修工事完成（9校）	
2. 20		宮郷中学校体育館耐震補強及び増築工事完成	
2. 20		あずまスタジアムスタンド等改修工事完成	
3. 14		赤堀中学校全面改築竣工式	
3. 16		境公民館全面改築竣工式	
7. 17		学校規模の適正化に関する基本方針の決定	
11. 13		地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正により「総合教育会議」設置 第1回総合教育会議の実施	
2016		28. 1. 29	小学校トイレ改修工事完成（6校）
	2. 16	教育に関する「大綱」の策定	
	2. 19	境いよくテニス場人工芝張替工事完成	
	3. 26	境島小学校閉校式	
	3. 31	境島小学校閉校	
	3. 31	伊勢崎市西小保方沼公園グラウンドゴルフ場完成（平成28年5月11日オープン）	
	8. 12～18	夏季休業中における学校閉庁日開始（毎年1週間程度実施）	
	10. 19	米国ミズーリ州立大学と海外留学や海外語学研修に関する協定締結を更新・継続に係る調印	
	2017	29. 1. 27	あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場完成
		2. 22	小学校トイレ改修工事完成（8校）
3. 10		あずま総合運動公園テニスコート改修・照明設備改修工事完成	
3. 13		三郷小学校プール改修工事・機械設備工事完成	
3. 17		就学前教育・保育のあり方に関する基本方針の決定	
3. 23		北公民館耐震改修工事・機械設備工事完成	
3.		旧境島小学校校舎の有効活用に関する計画書の策定	
4. 1		豊受幼稚園休園 新教育委員会制度に全面移行 3年保育試行実施（第一幼稚園、名和幼稚園、あかぼり幼稚園） すべての中学校区毎にコミュニティ・スクールを設置し「伊勢崎学府制」がスタート	

		一般財団法人伊勢崎市体育協会から一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会へ団体名変更
		伊勢崎市つなとりスポーツ広場（旧仮称スポーツ広場）が高齢政策課より移管
2018	12. 7	中学校トイレ改修工事完成（10校）
	30. 3. 9	境南中学校校庭整備工事完成
	3. 15	陸上競技場2種公認整備工事完成
	3. 16	伊勢崎市野球場スコアボード改修工事完成（磁気反転式→LED）
	3. 20	名和小学校プール新築工事完成
	4. 1	3年保育実施（殖蓮幼稚園、宮郷幼稚園、あずま幼稚園）
	7. 9	夏休み子どもイベントinいせさき パンフレット作成
	9. 8	田島弥平旧宅案内所開所
2019	12. 28	陸上競技場管理棟耐震改修工事完成
	31. 3. 15	第一学校給食調理場新築工事完成
	3. 28	宮郷公民館全面改築竣工式
	3. 31	豊受幼稚園閉園

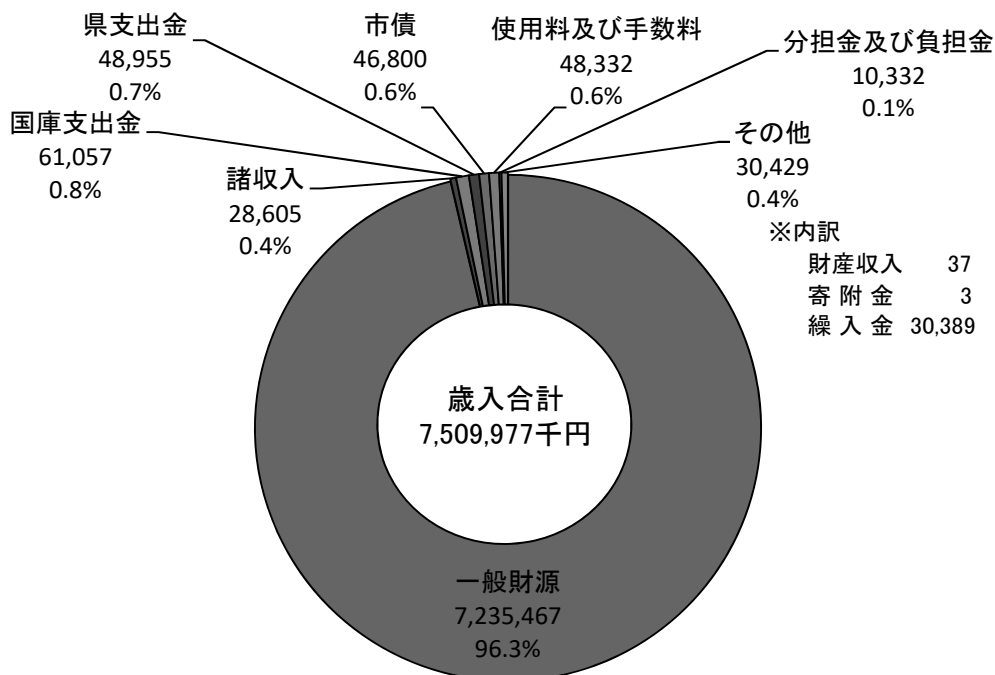
〈令和から〉

西暦	年代	主 な 事 項
2020	令和元. 8. 27	第一学校給食調理場給食提供開始 （旧）第一学校給食調理場、赤堀学校給食調理場、あずま学校給食調理場閉場
	10.	2018/2019シーズン 伊勢崎市の小学生における季節性インフルエンザ調査に協力し報告書完成（群馬大学大学院医学系研究科）
	令和2. 2. 13	教育部所管施設個別施設計画の策定
	3.	第2期伊勢崎市教育振興基本計画の策定
	3.	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休業（小・中学校・四ツ葉学園中等教育学校及び教育関連施設）
	3. 13	赤堀体育館屋根・外壁改修工事完成
	3. 25	あずま小学校プール改築工事完成
	3. 26	あずま小学校校舎増築工事完成
	12. 11	あずまウォーターランドパネルヒーター交換工事
	2021	令和3. 3. 1
3. 15		三室西公園運動場駐車場造成工事
3. 15		華蔵寺公園運動施設電気設備更新工事
3. 23		宮郷中学校プール新築工事完成
2022	4. 11	伊勢崎市図書館開館100周年
	令和4. 3. 15	伊勢崎市ラグビー場整備工事
	4. 1	南幼稚園休園 茂呂幼稚園休園

令和4年度教育費に係る一般会計予算

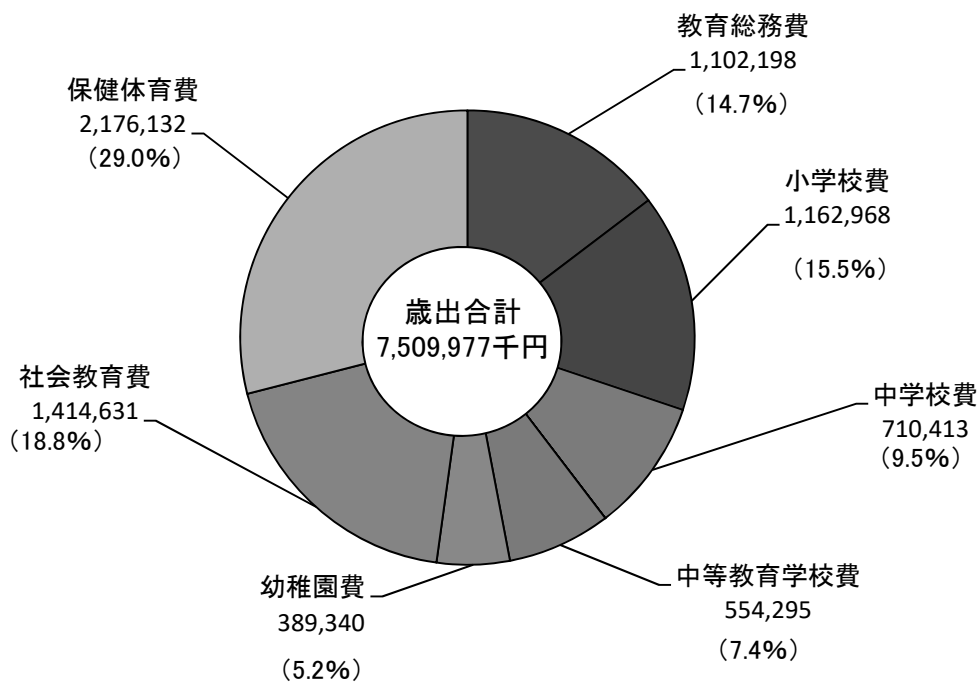
歳入

(単位:千円)



歳出

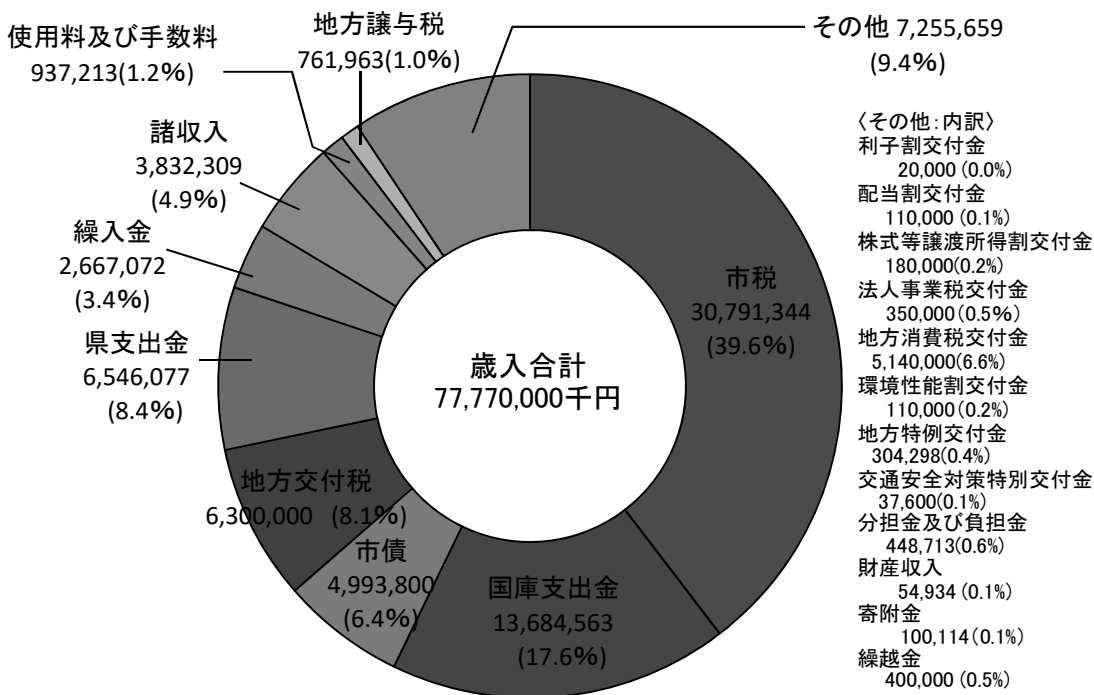
(単位:千円)



令和4年度伊勢崎市一般会計予算

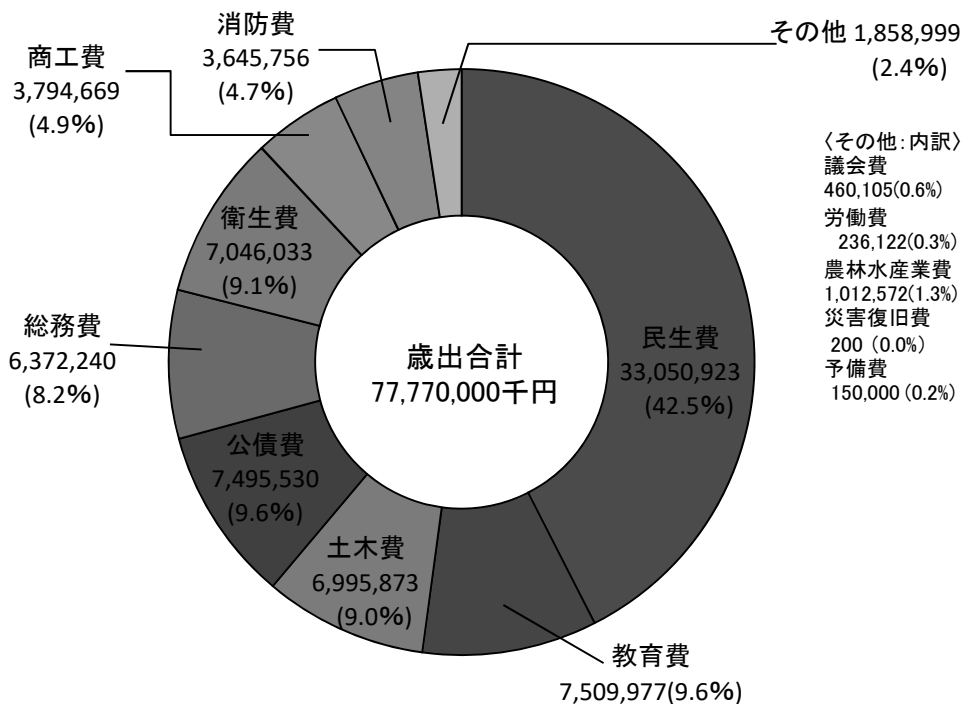
歳入

(単位:千円)



歳出

(単位:千円)



令和4年度 教育費項目別予算

項目	年度		令和4年度(A)		令和3年度(B)		比較 (A)-(B)	前年度比 (A)/(B)	令和3年度 決算見込額
	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比	予 算 額	構 成 比			
	千円	%	千円	%	千円	%	千円		千円
1 教育総務費	1,102,198	14.68	1,094,627	15.48	7,571	100.69	992,807		
1 教育委員会費	4,659	0.06	4,701	0.07	-42	99.11	3,715		
2 事務局費	954,616	12.71	931,641	13.18	22,975	102.47	864,274		
3 教育指導費	67,861	0.91	86,618	1.23	-18,757	78.35	71,653		
4 教育研究所費	53,211	0.71	50,423	0.71	2,788	105.53	49,411		
5 臨海学校費	21,851	0.29	21,244	0.30	607	102.86	3,754		
2 小学校費	1,162,968	15.49	1,139,961	16.12	23,007	102.02	1,545,624		
1 学校管理費	901,408	12.01	815,612	11.54	85,796	110.52	880,737		
2 教育振興費	261,560	3.48	324,349	4.59	-62,789	80.64	664,887		
3 学校建設費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0		
3 中学校費	710,413	9.45	677,421	9.58	32,992	104.87	649,430		
1 学校管理費	409,554	5.45	373,090	5.28	36,464	109.77	385,501		
2 教育振興費	300,859	4.00	304,331	4.30	-3,472	98.86	263,929		
3 学校建設費	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0		
4 中等教育学校費	554,295	7.38	562,263	7.95	-7,968	98.58	524,297		
1 中等教育学校総務費	456,872	6.08	469,455	6.64	-12,583	97.32	437,707		
2 学校管理費	60,506	0.81	55,169	0.78	5,337	109.67	46,057		
3 教育振興費	36,917	0.49	37,639	0.53	-722	98.08	40,533		
5 幼稚園費	389,340	5.18	399,117	5.64	-9,777	97.55	360,311		
1 幼稚園費	389,340	5.18	399,117	5.64	-9,777	97.55	360,311		
6 社会教育費	1,414,631	18.84	1,323,059	18.71	91,572	106.92	1,236,431		
1 社会教育総務費	948,367	12.62	923,582	13.06	24,785	102.68	898,444		
2 公民館費	128,149	1.71	124,827	1.77	3,322	102.66	105,052		
3 図書館費	151,293	2.02	136,780	1.93	14,513	110.61	137,226		
4 青少年対策費	19,527	0.26	19,740	0.28	-213	98.92	12,634		
5 文化財保護費	167,295	2.23	118,130	1.67	49,165	141.62	83,075		
7 保健体育費	2,176,132	28.98	1,873,833	26.50	302,299	116.13	1,794,159		
1 保健体育総務費	1,499,245	19.97	1,517,907	21.47	-18,662	98.77	1,465,929		
2 体育施設費	676,887	9.01	355,926	5.03	320,961	190.18	328,230		
計	7,509,977	100.00	7,070,281	100.00	439,696	106.22	7,103,059		

教育費年度別決算額一覽

項 目	年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)
1 教育総務費		千円 1,494,528	千円 1,315,007	千円 989,322	千円 992,807
1 教育委員会費		4,256	4,320	3,708	3,715
2 事務局費		971,281	995,858	886,318	864,274
3 教育指導費		240,270	241,098	43,202	71,653
4 教育研究所費		45,102	45,116	49,103	49,411
5 臨海学校費		233,619	28,615	6,991	3,754
2 小学校費		987,408	1,369,046	1,748,521	1,545,624
1 学校管理費		643,404	590,339	863,481	880,737
2 教育振興費		335,148	449,631	885,040	664,887
3 学校建設費		8,856	329,076	0	0
3 中学校費		744,186	527,422	1,192,943	649,430
1 学校管理費		504,499	292,394	425,913	385,501
2 教育振興費		234,449	235,028	601,088	263,929
3 学校建設費		5,238	0	165,942	0
4 中等教育学校費		629,810	534,260	568,422	524,297
1 中等教育学校総務費		446,726	446,324	451,871	437,707
2 学校管理費		149,063	53,755	41,489	46,057
3 教育振興費		34,021	34,181	75,062	40,533
5 幼稚園費		447,701	381,273	380,197	360,311
1 幼稚園費		447,701	381,273	380,197	360,311
6 社会教育費		1,802,774	1,406,625	1,269,207	1,236,431
1 社会教育総務費		910,901	899,338	902,495	898,444
2 公民館費		555,521	160,197	119,517	105,052
3 図書館費		157,746	148,333	128,781	137,226
4 青少年対策費		21,299	24,776	26,592	12,634
5 文化財保護費		157,307	173,981	91,822	83,075
7 保健体育費		2,144,748	1,891,695	1,463,725	1,794,159
1 保健体育総務費		1,303,366	1,390,216	1,091,481	1,465,929
2 体育施設費		841,382	501,479	372,244	328,230
計		8,251,155	7,425,328	7,612,337	7,103,059

Ⅱ 教育施設



校庭整備工事（境采女小学校）



外壁改修工事（豊受小学校）



外壁改修工事（殖蓮中学校）

教育施設一覽

1 幼稚園

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数 教 員		
				男	女	計	男	女	計
				人	人	人	人	人	人
第一幼稚園	曲輪町24番26号	明治23年 5月 12日	3	30	30	60	0	6(1)	7
南幼稚園	上泉町116番地	昭和18年11月 1日							
殖蓮幼稚園	上植木本町2740番地2	昭和25年 9月 1日	3	25	19	44	0	4(1)	5
茂呂幼稚園	茂呂町二丁目2139番地1	昭和25年 6月 21日							
三郷幼稚園	波志江町1067番地	昭和30年 4月 1日	2	6	3	9	(1)	3	4
宮郷幼稚園	田中島町1486番地8	昭和31年 4月 1日	3	25	21	46	0	4	4
名和幼稚園	堀口町260番地	昭和47年 4月 1日	3	24	17	41	0	4	4
あかぼり幼稚園	西久保町二丁目100番地	昭和50年 4月 1日	4	48	41	89	0	6(2)	8
あずま幼稚園	東町2672番地1	昭和44年 4月 1日	4	44	41	85	0	7	7
合 計			22	202	172	374	(1)	34(4)	39

2 小学校

北小学校	曲輪町28番24号	明治 6年 6月 9日	18	197	224	421	11	22	33
南小学校	上泉町310番地	昭和 5年 4月 1日	15	136	115	251	10	14	24
殖蓮小学校	上植木本町2763番地	明治 6年11月 2日	25	284	251	535	11	21	32
茂呂小学校	茂呂町二丁目2169番地1	明治 6年11月 5日	30	419	382	801	17	23	40
三郷小学校	波志江町1620番地	明治 7年 2月 28日	28	336	349	685	11	25	36
宮郷小学校	田中島町1475番地4	明治17年11月 6日	32	427	413	840	18	24	42
名和小学校	堀口町502番地1	明治 7年 2月	20	237	233	470	11	15	26
豊受小学校	馬見塚町1130番地	明治 7年 4月 7日	21	269	244	513	10	18	28
北第二小学校	宗高町125番地	昭和50年 1月 1日	12	128	89	217	8	11	19
殖蓮第二小学校	下植木町1203番地	昭和53年 1月 1日	17	199	184	383	9	16	25
広瀬小学校	新栄町4074番地1	昭和54年 1月 1日	21	236	227	463	14	19	33
坂東小学校	除ヶ町422番地	昭和57年 4月 1日	19	218	236	454	9	19	28
宮郷第二小学校	連取町3069番地1	平成13年 4月 1日	25	297	295	592	12	20	32
赤堀小学校	西久保町一丁目72番地	昭和22年 4月 1日	22	256	277	533	9	23	32
赤堀南小学校	堀下町264番地1	平成 3年 4月 1日	22	282	245	527	6	22	28
赤堀東小学校	香林町一丁目260番地2	平成12年 4月 2日	15	175	154	329	8	14	22
あずま小学校	東町2770番地1	明治 6年 7月 15日	22	260	299	559	14	18	32
あずま南小学校	三室町4290番地	昭和56年 4月 1日	22	279	280	559	12	15	27
あずま北小学校	国定町二丁目1627番地	昭和62年 4月 1日	21	234	219	453	12	16	28
境小学校	境515番地1	明治 7年 3月 1日	15	163	182	345	10	17	27
境采女小学校	境下瀧名2020番地	明治22年 4月 1日	17	203	203	406	6	17	23
境剛志小学校	境下武士831番地	明治 6年11月 20日	13	140	134	274	7	11	18
境東小学校	境米岡253番地2	昭和32年11月 1日	14	152	152	304	9	13	22
合 計			466	5,527	5,387	10,914	244	413	657

3 中学校

第一中学校	茂呂町一丁目24番地1	昭和40年 4月 1日	18	252	265	517	19	13	32
第二中学校	堀口町237番地1	昭和42年 4月 1日	19	235	234	469	19	15	34
第三中学校	波志江町1903番地1	昭和46年 4月 1日	23	341	285	626	21	20	41
第四中学校	下道寺町26番地	昭和59年 4月 1日	18	251	251	502	19	14	33
殖蓮中学校	上植木本町2152番地2	昭和22年 4月 29日	18	255	214	469	19	13	32
宮郷中学校	田中島町1065番地	昭和22年 4月 29日	24	354	361	715	21	19	40
赤堀中学校	西久保町二丁目329番地1	昭和22年 4月 1日	28	381	367	748	25	21	46
あずま中学校	東町2707番地2	昭和22年 4月 29日	29	420	361	781	26	23	49
境北中学校	境下瀧名2011番地1	昭和22年 1月 1日	8	78	96	174	10	8	18
境西中学校	境下武士872番地2	昭和22年 4月 29日	8	86	87	173	10	9	19
境南中学校	境188番地	昭和39年 4月 1日	15	168	177	345	16	11	27
合 計			208	2,821	2,698	5,519	205	166	371

令和4年5月1日現在

教職員数						校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士 (1)	栄養教諭 栄養職員 (0)	合計				
県職 人	市職 人	計 人							
0	0	0	(1)	0	8	3,251	1,045		
						3,409	857		
0	0	0	(1)	0	6	4,254	681		
						3,963	592		
0	0	0	(1)	0	5	1,733	370		
0	0	0	(1)	0	5	3,400	904		
0	0	0	(1)	0	5	3,653	689		
0	0	0	(1)	0	9	4,781	959		
0	0	0	(1)	0	8	7,822	913		
0	0	0	(7)	0	46	41,389	7,758		

1	0	1	(1)	0	35	23,697	7,421	1,053	
1	0	1	(1)	0	26	26,814	5,312	900	
1	0	1	(2)	0	35	28,059	6,448	1,401	
2	0	2	(2)	0	44	25,740	5,940	895	
1	0	1	(2)	0	39	31,250	5,327	900	
2	0	2	(2)	0	46	29,482	6,209	910	
1	0	1	(1)	0	28	32,188	5,469	891	
1	0	1	(2)	0	31	34,908	5,797	891	
1	0	1	(1)	0	21	16,513	3,752	918	
1	0	1	(1)	0	27	33,319	5,431	870	
1	0	1	(2)	0	36	31,800	6,601	868	
1	0	1	(1)	0	30	32,999	5,119	900	
2	0	2	(2)	2	38	31,802	7,456	1,229	
1	0	1	(2)	0	35	27,456	4,949	844	
1	0	1	(1)	0	30	20,778	5,556	924	
1	0	1	1	1	25	28,223	4,718	1,116	
1	0	1	(2)	2	37	28,439	5,344	965	
1	0	1	(2)	0	30	27,596	4,859	898	
1	0	1	(1)	0	30	26,478	4,421	908	
1	0	1	(1)	0	29	25,191	5,006	1,008	
1	0	1	(1)	1	26	22,416	4,777	1,100	
1	0	1	(1)	0	20	15,406	4,511	750	
1	0	1	(1)	0	24	15,029	3,461	746	
26	0	26	1(32)	6	722	615,583	123,884	21,885	

1	0	1	(2)	0	35	38,323	6,623	1,442	
2	0	2	(2)	0	38	48,551	8,223	1,450	
2	0	2	(2)	0	45	38,385	6,889	1,484	
1	0	1	(2)	0	36	43,976	8,110	1,450	
1	0	1	(2)	2	37	38,919	7,372	1,450	
2	0	2	(2)	0	44	50,727	8,447	1,779	
2	0	2	(2)	0	50	45,312	9,118	1,891	平成27年4月1日移転
2	0	2	(2)	0	53	36,339	9,373	1,495	
1	0	1	(1)	0	20	30,857	4,439	1,179	
1	0	1	(1)	0	21	26,385	4,033	1,159	
1	0	1	(1)	1	30	29,306	5,598	1,205	
16	0	16	(19)	3	409	427,080	78,225	15,984	

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

4 中等教育学校

区 分	所 在 地	創立年月日	学級数	児童・生徒数			教職員数		
				男	女	計	教 員		
				人	人	人	男	女	計
四ツ葉学園中等教育学校	上植木本町1702番地1	平成21年 4月 1日	24	367	380	747	44	28	72

5 教育研究所

区 分	所 在 地	設置(建物)年月日	敷地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)
伊勢崎市教育研究所	鹿島町581番地1	昭和58年 4月 1日	2,515.46	929.19

6 臨海学校

伊勢崎市臨海学校	新潟県長岡市寺泊田ノ尻603番地	昭和48年5月31日	4,165.90	1,780.51
----------	------------------	------------	----------	----------

7 学校給食センター

第一東学校給食調理場	西小保方町692番地5	平成31年 3月	10,752.00	6,289.99
第一西学校給食調理場				
第二学校給食調理場	安堀町240番地	平成 5年 4月	6,797.00	1,948.36
境第一学校給食調理場	境米岡272番地4	平成 9年 4月	2,027.87	675.00
境第二学校給食調理場	境下渕名787番地	平成10年 4月	3,880.00	873.65

8 公民館等

北 公 民 館	平和町27番32号	昭和45年 6月20日	2,806.79	998.12
南 公 民 館	上泉町619番地1	平成 7年 4月 1日	3,798.36	525.96
殖 蓮 公 民 館	上植木本町2760番地	平成16年 3月22日	4,854.00	768.69
茂 呂 公 民 館	美茂呂町3032番地7	昭和62年 3月25日	3,334.72	513.05
三 郷 公 民 館	波志江町1029番地	平成 8年 3月29日	3,962.00	755.02
宮 郷 公 民 館	田中島町1102番地	平成31年 3月22日	5,483.93	1,154.76
名 和 公 民 館	堀口町492番地	昭和55年 3月25日	5,317.24	509.36
豊 受 公 民 館	馬見塚町1296番地	昭和48年 3月25日	3,573.19	726(本館495、別館231)
赤 堀 公 民 館	西久保町二丁目81番地	昭和54年 2月28日	6,918.16	2,397.08
あ ず ま 公 民 館	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	3,428.70	1,563.48
境 公 民 館	境598番地 1	平成27年 2月16日	8,729.14	903.57
境 采 女 公 民 館	境下渕名2023番地1	昭和54年 2月28日	1,378.01	769.04
境 剛 志 公 民 館	境下武士862番地3	平成元年 3月17日	1,665.75	642.91
境 島 村 公 民 館	境島村2720番地	平成 6年 4月 8日	3,141.00	552.11
境 東 公 民 館	境米岡764番地1	平成 5年 4月 6日	2,410.00	758.75
広 瀬 生 涯 学 習 館	ひろせ町4080番地5	平成13年 4月 1日	3,001.00	770.25
あ ず ま ホ ー ル	田部井町三丁目2090番地	昭和63年 3月20日	1,210.10	1,229.57

9 集会所

今 井 町 集 会 所	今井町215番地1	平成26年10月31日	1,622.21	171.48
道 伝 集 会 所	山王町1484番地1	昭和50年 3月10日	803.00	168.00
宮 子 町 集 会 所	宮子町1713番地6	昭和52年 3月20日	982.00	336.00
柴 町 集 会 所	柴町953番地42	昭和52年 3月31日	1,038.00	165.00
連 取 町 集 会 所	連取町582番地2	昭和54年 3月25日	463.85	161.00
三 室 町 集 会 所	三室町6146番地1	昭和53年 3月 1日	877.30	149.00

10 青少年育成センター

青少年育成センター	波志江町2237番地6	平成18年 4月 1日	14,165.80	2,189.62
-----------	-------------	-------------	-----------	----------

11 図書館

伊勢崎市図書館	曲輪町22番21号	大正10年 4月11日	6,158.94	2,762.41
赤堀図書館	西久保町二丁目82番地1	平成 7年 4月 1日	—	400.50
あずま図書館	田部井町三丁目2091番地	平成11年 4月 1日	4,790.21	1,837.85
境図書館	境724番地1	昭和38年 8月 1日	4,557.49	1,433.90
境絹の館	境724番地1	昭和61年 4月 1日	—	360.62

教職員数					校地面積 (㎡)	建物面積 (㎡)	体育館面積 (㎡)	備 考
事務員			労務技士	栄養教諭 栄養職員				
県職 人	市職 人	計 人						
1	4	5	1(1)	0	79	58,869	12,046	5,098

()内は1日7時間45分未満勤務者。面積は施設台帳による。

備 考
教科書センター併設

取容人数 220人

給食能力 副食 約12,000食
” 副食 9,000食
” 副食 約2,000食
” 副食 約3,000食

対象地区人口(令和4年4月1日現在)	9,372 人
”	6,894 人
”	21,122 人
”	17,508 人
”	14,716 人
”	26,803 人
”	17,235 人
”	18,184 人
”	24,053 人
”	26,925 人
”	6,607 人
”	8,322 人
”	6,643 人
”	1,172 人
”	6,622 人

敷地は借地

建物面積 (本館 1340.64㎡、プレイホール 794.98㎡ 野外炊事場 54.00㎡)
--

新築移転(昭和52年3月1日)
赤堀芸術文化プラザとの複合施設
新築(平成11年3月30日)
新築移転(昭和61年6月8日)
境図書館と同敷地

12 文化施設

区 分	所 在 地	設置（建物）年月日	敷地面積（㎡）	建物面積（㎡）
文 化 会 館	昭和町3918番地	昭和56年 4月 1日	27,047.00	11,167.01
赤堀芸術文化プラザ	西久保町二丁目82番地1	平成 2年 9月15日	10,203.70	2,581.70
境総合文化センター	境木島818番地	平成 8年 5月24日	28,461.45	5,537.39
境 赤 レン ガ 倉 庫	境765番地1	平成30年 4月1日	1,429.78	599.01

13 文化財施設

赤堀歴史民俗資料館	西久保町二丁目98番地	昭和60年 4月 1日	1,925.00	1,192.72
田島弥平旧宅案内所	境島村1968番地40	平成 5年 3月 1日	—	390.00

14 青少年指導センター

青少年指導センター	昭和町1712番地2	昭和43年11月11日	—	33.75
-----------	------------	-------------	---	-------

15 スポーツ施設

市民体育館	堤西町93番地	昭和54年10月	7,750.00	8,966.54
第二市民体育館	乾町75番地5	昭和47年 3月	3,972.00	2,199.00
庭球場	堤西町116番地	昭和60年 3月	9,855.50	1,274.71
野球場	堤西町41番地	平成10年 3月	17,323.00	3,160.00
陸上競技場	堤西町121番地	昭和43年 4月	39,000.00	4,612.18
ソフトボール場	堤西町39番地	昭和57年 3月	7,036.00	1,059.94
第二グラウンド	堤西町39番地	昭和57年 3月	5,098.00	
補助競技場	堤西町76番地	昭和63年 3月	11,191.00	
弓道場	堤西町141番地	平成 2年 3月	3,642.00	253.16
相撲場	堤西町7番地	平成 2年 8月	600.00	
つなとりスポーツ広場	連取町3008番地1	平成29年 4月	29,786.88	
赤堀体育館	西久保町二丁目81番地	昭和55年 5月	6,707.00	1,893.85
赤堀剣道場	西久保町一丁目乙64番地	昭和48年 1月	1,445.25	313.65
赤堀中央運動場野球場	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	13,220.00	
赤堀中央運動場テニスコート	西久保町一丁目101番地	昭和51年 7月	2,998.00	
あかぼり運動公園テニスコート	西久保町二丁目334番地3	平成14年 7月	5,023.97	管理棟 103.90
あかぼり運動公園野球場	西久保町二丁目334番地3	平成16年 3月	6,277.50	
赤堀西部スポーツ公園野球場	下触町873番地1	平成 4年 8月	11,907.00	
赤堀西部スポーツ公園多目的広場	下触町873番地1	平成 4年 8月	6,058.00	
赤堀西部スポーツ公園ゲートボール場	下触町873番地1	平成 4年 8月	892.00	
赤堀西部スポーツ公園テニスコート	下触町873番地1	平成 4年 8月	1,875.00	
赤堀香林運動公園	香林町二丁目1291番地6	昭和57年10月	12,457.00	
赤堀グラウンドゴルフ場	五目牛町104番地10	平成13年 3月	10,623.60	
赤堀コミュニティひろば	西久保町二丁目95番地	昭和61年 4月	17,055.00	
あずま体育館	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	5,059.65	2,150.24
あずま総合公園テニスコート	田部井町三丁目2091番地	平成元年 3月	2,797.00	
あずまスタジアム	田部井町三丁目1908番地	平成 6年10月	15,502.75	1,229.00
あずまサブスタジアム	田部井町三丁目1913番地1	平成 8年 3月	9,720.85	117.14
あずま弓道場	田部井町三丁目1905番地1	平成 6年10月	645.00	322.95
あずま総合運動場	田部井町三丁目2090番地	昭和54年 8月	17,320.10	69.30
三室西公園運動場	三室町6202番地	昭和57年 3月	10,023.00	20.30
三室西公園スケートボード場	三室町6202番地	平成18年 3月	1,947.00	
あずまゲートボール場	国定町二丁目2328番地1	平成 7年 4月	6,465.00	
つつみ公園グラウンドゴルフ場	国定町二丁目1940番地	平成11年 3月	7,406.00	8.16
あずまサッカースタジアム	東小保方町3236番地1	平成 8年10月	9,849.00	364.00
あずまウォータースライダー	田部井町三丁目340番地	平成10年 5月	8,224.00	2,256.98
西小保方沼公園グラウンドゴルフ場	西小保方町692番地	平成28年3月	21,762.75	便所、倉庫外74.1
境体育館	境609番地1	昭和52年 2月	2,414.00	1,355.95
境武道館	境萩原1750番地2	平成 2年 3月	2,233.52	1,224.20
境いよく野球場	境伊与久3105番地	昭和52年 4月	9,300.00	
境いよくテニスコート	境伊与久3105番地	昭和53年 6月	3,920.00	
境弓道場	境木島823番地	平成 9年 3月	4,808.49	208.76
境総合運動場	境上武士846番地	平成元年 5月	30,200.00	本部棟 200.00
境上武公園野球場	境上矢島678番地	昭和50年11月	8,700.00	
境上武公園テニスコート	境上矢島678番地	昭和50年11月	1,600.00	
境広瀬川緑地第1グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 4年 3月	10,238.00	
境広瀬川緑地第2グラウンドゴルフ場	境中島442番地1	平成 7年 3月	5,120.00	
利根川河川境運動場	境平塚1073番地	昭和47年 4月	18,139.00	
ラグビー場	境島村3454番地297	平成22年 5月	27,654.00	
境プール	境下武士853番地3	昭和57年 6月	5,500.00	管理棟 291.00

備 考
大ホール固定席 1,440席、車椅子席 6席、親子室 8席、立見 76人 小ホール固定席 494席、立見 56人 第1～5展示室
ホール固定席 511席、車椅子席 2席、親子室 7席、立見 28人 展示コーナー
大ホール固定席 708席、車椅子席 4席、親子室 5席、立見 56人 小ホール移動席 204席 一般展示室 展示ロビー
ホール 多目的スペース 交流ラウンジ

展示室2室、復元民家、研修室
展示室2室、多目的室1室、倉庫、給湯室、事務室、多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレ

平成11年4月1日、旧市立女子高校跡地へ移転

1F トレーニング室、小体育室(卓球10台・ボクシング)、剣道場、柔道場、会議室
2F メインフロア (バスケットボール3面・バレーボール3面・バドミントン12面・テニス3面)、観客席864人 3F ジョギングコース1周210m、観客席1045人+身障者スペース
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン8面)
人工クレーコート12面 観客席1,200人 夜間照明
軟式野球・硬式野球 両翼98m・センター122m 内野スタンド3,200人・外野スタンド6,800人 夜間照明
公認二種 400mトラック(8コース) 観客席5,000人
両翼・センター70m 観客席1,334人 夜間照明
ソフトボール 両翼・センター70m
300mトラック(5コース)・ソフトボール2面・サッカー 100m×65m 1面
近的6人立
2面
サッカー、野球2面(サッカーと野球の併用不可)
メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール2面・バドミントン6面・テニス1面)、柔道場、ギャラリー(卓球2台)
1面
軟式野球・ソフトボール2面 両翼90m 内野スタンド70人 夜間照明
全天候2面、クレー2面 夜間照明
人工芝8面(4面 夜間照明)
少年野球、フットサル2面 夜間照明
軟式野球・ソフトボール 両翼90m・センター110m 観客席54人
多目的広場(サッカー1面)
ゲートボール2面
全天候3面
軟式野球・ソフトボール・グラウンドゴルフ 両翼88m
天然芝16ホール
300mトラック(6コース) クレー舗装
1F メインフロア(バスケットボール2面・バレーボール3面・バドミントン6面)、2F ギャラリー(卓球6台)
人工芝2面、クレー2面 夜間照明
硬式野球・軟式野球・ソフトボール 両翼98m・センター122m 内野スタンド1,200人・外野スタンド2,300人 夜間照明
軟式野球 両翼85m・センター114m
近的6人立ち、遠的3人立ち
軟式野球2面・ソフトボール4面、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ 夜間照明
ソフトボール、少年サッカー、ゲートボール、グラウンドゴルフ
スケートボード・インラインスケート・BMX
ゲートボール・グラウンドゴルフ
天然芝16ホール
人工芝(105m×68m)1面・少年用(72m×50m)2面 スタンド約300人 夜間照明
1F 25m(6コース)、幼児用プール、スライダー、屋外プール、サウナ室、2F トレーニングルーム
常設グラウンドゴルフ場1面(8ホール×3コース)、多目的使用エリア
バスケットボール1面・バレーボール2面・バドミントン3面、卓球室
剣道場2面、柔道場2面
軟式野球 レフト85m・ライト86m・センター89m 夜間照明
人工芝4面 夜間照明
近的6人立
400mトラック(8コース)・ソフトボール4面・サッカー100m×70m 1面 夜間照明
軟式野球 レフト80m・ライト80m・センター100m
クレー4面
天然芝16ホール、ターゲットバードゴルフ場
天然芝16ホール
軟式野球・ソフトボール
天然芝2面
流水プール、幼児用プール、スライダープール、スライダー

令和4年度施設建設等主要事業計画

校舎建設等の主要事業は、次のとおりである。

- 1 境采女小学校南校舎中規模改修工事
- 2 茂呂小学校管理諸室空調設備更新工事
- 3 宮郷小学校空調設備更新工事
- 4 境采女小学校管理諸室空調設備更新工事
- 5 あずま小学校校庭整備実施設計業務委託
- 6 宮郷小学校体育館照明設備更新工事
- 7 豊受小学校体育館照明設備更新工事
- 8 あずま小学校体育館照明設備更新工事
- 9 境小学校体育館照明設備更新工事
- 10 赤堀東小学校外2校屋上防水等改修工事
- 11 北第二小学校防水改修工事
- 12 殖蓮小学校北校舎防水改修工事
- 13 豊受小学校インターホン更新工事
- 14 境剛志小学校教室天井改修工事
- 15 北小学校空調設備更新工事（第4期）
- 16 赤堀小学校外構工事
- 17 第一中学校管理諸室空調設備更新工事
- 18 あずま中学校管理諸室空調設備更新工事
- 19 境北中学校管理諸室空調設備更新工事
- 20 境北中学校外壁南面改修工事
- 21 第四中学校渡り廊下建具改修工事
- 22 赤堀中学校柔剣道場建具改修工事
- 23 殖蓮中学校外1校駐輪場改修工事
- 24 第一中学校武道場大規模改修工事实施設計業務委託
- 25 あかぼり幼稚園プール改築工事
- 26 第一幼稚園物置等改修工事
- 27 適応指導鹿島教室外空調設備取替工事
- 28 教育研究所外通路舗装工事
- 29 境第一学校給食調理場北面外壁改修工事
- 30 第二学校給食調理場ボイラー改修工事
- 31 第二学校給食調理場準備室外空調設備改修工事
- 32 名和公民館会議室エアコン改修工事
- 33 あずま公民館1階第1会議室空調設備改修工事
- 34 境剛志公民館研修室エアコン取替工事
- 35 あずま図書館高圧設備更新工事

- 36 史跡田島弥平旧宅東門整備工事（令和3年度繰越事業）
- 37 史跡女堀整備工事(掘削排土復元・修理、水路護岸整備)
- 38 市陸上競技場スタンド防水シート改修工事
- 39 市陸上競技場二階通路防水工事
- 40 赤堀体育館照明灯改修工事
- 41 あずま弓道場外壁等改修工事
- 42 伊勢崎市文化会館流量検知装置交換工事
- 43 伊勢崎市文化会館非常照明用蓄電池更新工事
- 44 伊勢崎市文化会館防火設備更新工事
- 45 伊勢崎市境総合文化センター室内機及び室外機交換工事

令和3年度施設建設等主要事業実績

実施した校舎建設等の主要事業は、次のとおりです。

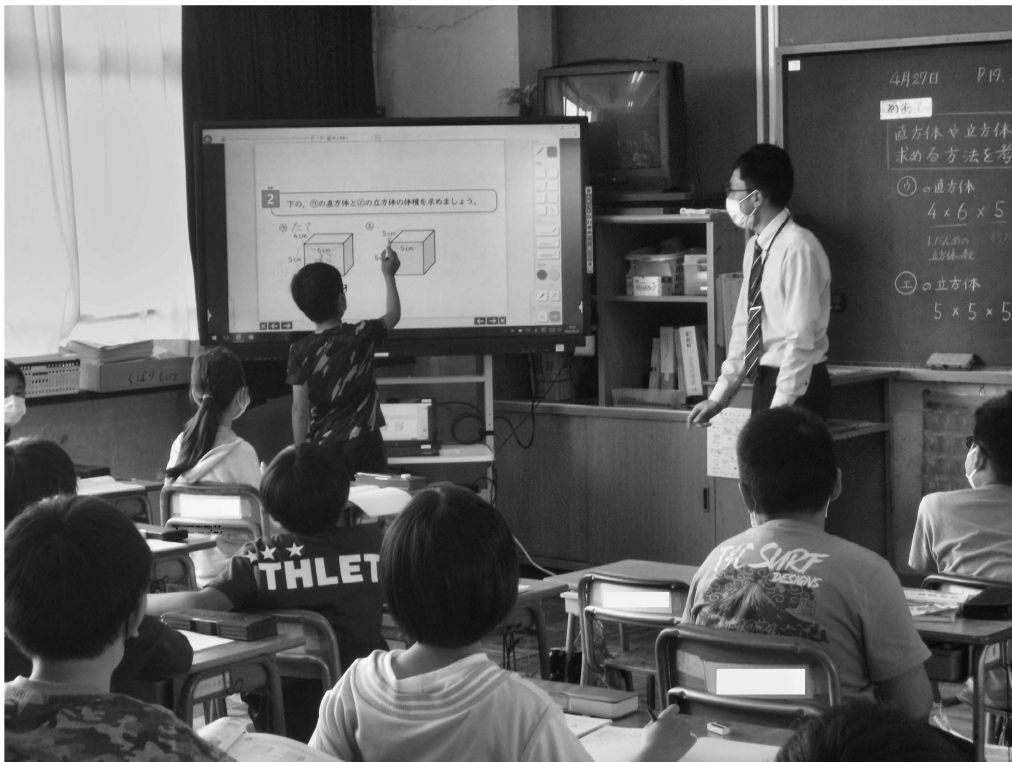
(単位：円)

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
あずま小学校防火区画等改修工事	あずま小学校の防火区画の扉、シャッター等を改修する工事	15,565,000	-	-	-	15,565,000
名和小学校受変電設備改修工事	名和小学校の受変電設備を改修する工事	2,156,000	-	-	-	2,156,000
坂東小学校校舎屋上防水改修工事	坂東小学校の南校舎の屋上防水を改修する工事	18,623,000	-	-	-	18,623,000
境采女小学校校庭整備工事	境采女小学校の水はけの悪い校庭を整備する工事	39,699,000	-	37,300,000	-	2,399,000
赤堀南小学校校舎屋上防水改修工事	赤堀南小学校の校舎の屋上防水を改修する工事	20,636,000	-	-	-	20,636,000
坂東小学校フェンス改修工事	坂東小学校の外周部のフェンスを改修する工事	12,243,000	-	-	-	12,243,000
南小学校北校舎屋上防水改修工事	南小学校の北校舎の屋上防水を改修する工事	11,286,000	-	-	-	11,286,000
豊受小学校南校舎外壁改修工事	豊受小学校の南校舎の外壁の劣化部を改修する工事	6,292,000	-	-	-	6,292,000
赤堀南小学校プールの過機改修工事	赤堀南小学校のプールの過機を改修する工事	6,270,000	-	-	-	6,270,000
茂呂小学校外1校遊具改修工事	茂呂小学校と南小学校の遊具を改修等する工事	1,045,000	-	-	-	1,045,000
三郷小学校教室改修工事	三郷小学校の教室を改修する工事	1,133,000	-	-	-	1,133,000
あずま南小学校校舎南側外壁改修工事	あずま南小学校の校舎南側外壁の劣化部を改修する工事	1,232,000	-	-	-	1,232,000
北小学校空調設備更新工事(第3期)	北小学校の空調設備を更新する工事	24,365,000	-	-	-	24,365,000
南小学校管理諸室空調設備更新工事	南小学校の管理諸室の空調設備を更新する工事	13,464,000	10,306,000	20,200,000	-	2,615,000
境剛志小学校空調設備更新工事	境剛志小学校の空調設備を更新する工事	19,657,000				
あずま中学校家庭科教室等改修工事	あずま中学校の家庭科教室に流し台の設置等をする工事	3,795,000	-	-	-	3,795,000
殖蓮中学校南校舎外壁等改修工事	殖蓮中学校の南校舎の外壁の劣化部を改修する工事	11,176,000	-	-	-	11,176,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
第三中学校インターホン設置工事	第三中学校にインターホンを設置する工事	5,269,000	-	-	-	5,269,000
第三中学校駐輪場北側舗装改修工事	第三中学校の駐輪場北側の樹木を伐採し、舗装をする工事	2,882,000	-	-	-	2,882,000
境北中学校外壁改修工事	境北中学校の外壁の劣化部を改修する工事	8,426,000	-	-	-	8,426,000
名和幼稚園フェンス改修工事	名和幼稚園の外周部のフェンスを改修する工事	1,738,000	-	-	-	1,738,000
適応指導鹿島教室外空調設備取替工事	適応指導鹿島教室、境教室の老朽化した空調設備の取替工事	2,222,000	-	-	-	2,222,000
境第二学校給食調理場熱風乾燥機用プレートフィンヒーター交換工事	境第二学校給食調理場の熱風乾燥機用プレートフィンヒーターを交換する工事	8,536,000	-	-	-	8,536,000
境第二学校給食調理場北面外壁改修工事	境第二学校給食調理場の北面外壁を改修する工事	2,436,500	-	-	-	2,436,500
茂呂公民館会議室エアコン改修工事	茂呂公民館の会議室のエアコンを改修する工事	1,265,000	-	-	-	1,265,000
南公民館空調機改修工事	南公民館の空調機を改修する工事	6,270,000	-	-	-	6,270,000
茂呂公民館下水道接続工事	茂呂公民館の汚水及び雑排水を公共下水道へ接続する工事	2,200,000	-	-	-	2,200,000
あずま公民館1階会議室空調機入替工事	あずま公民館1階の第2・第3会議室の空調機を入替する工事	2,860,000	-	-	-	2,860,000
青少年育成センター浄化槽更新工事（令和2年度より繰越）	青少年育成センターの浄化槽を更新する工事	17,683,000	-	-	-	17,683,000
伊勢崎市青少年育成センター外壁改修工事	青少年育成センターの外壁を改修する工事	3,300,000	-	-	-	3,300,000
柴町集会所浄化槽更新工事（令和2年度より繰越）	柴町集会所の浄化槽を更新する工事	3,275,000	-	-	-	3,275,000
伊勢崎市図書館PAS・OCR更新工事	伊勢崎市図書館の経年劣化したPAS・OCRを更新する工事	1,562,000	-	-	-	1,562,000
田島弥平旧宅案内所電気設備更新工事	田島弥平旧宅案内所の受変電設備を更新する工事です。 ・高圧気中開閉器（PAS）外1式・高圧ケーブルφ20mm	1,199,000	-	-	-	1,199,000
史跡田島弥平旧宅東門整備工事	史跡田島弥平旧宅東門を整備する工事です。 ・木工事・屋根工事・左官工事・建具工事・耐震補強工事・外構工事外一式	16,313,000	8,057,000	-	4,028,000	4,228,000
赤堀歴史民俗資料館照明設備改修工事	1階事務室、2階研修室の照明設備をLED化する工事	1,287,000	-	-	-	1,287,000

事業名	事業内容	事業費	財源内訳			
			国庫支出金	市債	その他	一般財源
市民体育館防火設備改修工事	市民体育館の防火設備に危害防止装置、ドアクローザー等を取り付ける工事	5,170,000	-	-	-	5,170,000
伊勢崎市ラグビー場敷地造成工事	ラグビー場を整備するための敷地造成工事	11,198,000	-	-	-	11,198,000
伊勢崎市ラグビー場張芝工事	ラグビー場の張芝工事	23,837,000	-	-	-	23,837,000
あずまサッカースタジアムウォーミングアップ場防球ネット設置工事	ウォーミングアップ場に防球ネットを設置する工事	1,298,000	-	-	-	1,298,000

Ⅲ 学校教育



大型提示装置 (殖蓮小学校)

令和4年度 主要事業

1 全市的な研修

- ①幼小中連携研修：学校教育構想等の展開に向けた各中学校区の学校園による連携研修
- ②小中教科等研修：小1 2、中1 3、小中合同4（養護教諭、特別支援教育[知的・情緒]、通級指導教室）
- ③実技等研修：授業改善に向けた実技指導力の向上を目指した研修
- ④幼稚園一日研修：保育の改善・充実のための保育研究（会場：殖蓮幼稚園）

2 学校訪問

- ①経営訪問：経営課題の協議、授業参観
- ②要請訪問：授業参観、研修主題に基づく協議、授業研究会、個別指導等及び、随時要請に応じた実施
- ③幼稚園訪問：経営課題の協議、保育参観、保育研究会

3 指定校等

<文部科学省・県教育委員会等指定校>

- ①小学校全2 3校：「教育課程特例校」 文部科学省 R2～
- ②第二中学校：「ICT 活用促進プロジェクト（指定校事業）実践推進校」 県教委義務教育課 R4
- ③第四中学校：「地区別人権教育研究協議会」 県教委義務教育課 R4
- ④第一中学校：「外国人児童生徒等教育充実のための研究協議会」 県教委義務教育課 R4
- ⑤坂東小学校：「社会福祉協力校（単年度学校指定モデル事業）」 社会福祉協議会 R4

<市教育委員会指定校>

- 殖蓮幼稚園：「特色ある幼稚園教育実践指定園」 R4
- 第二中学校：「ICT 活用推進モデル校事業」 R4

4 市教委主催の研修等

- ①管理職研修 ②教務主任研修 ③研修主任研修(確かな学力向上推進委員会)
- ④生徒指導主任研修（生徒指導主任研究協議会） ⑤人権教育主任研修
- ⑥情報教育主任研修 ⑦健康教育担当者研修 ⑧教科等指導員研修
- ⑨小学校英語研修 ⑩日本語教室担当教員研修 ⑪学校経営研修
- ⑫事務職員研修 ⑬特別支援教育コーディネーター研修
- ⑭通級指導教室担当教員連絡協議会 ⑮外国籍児童生徒学校生活支援助手研修
- ⑯食育推進担当者研修（食育実践研究会） ⑰教育相談研究協議会

学力向上

本市では、学力向上対策推進事業として「伊勢崎学校教育構想2022」における教育プランの一つとして「確かな学力向上プラン」を実施する。「確かな学力向上プラン」は、本市で目指す子供像「『生きる力』を身に付け、実践する、自立した子供」の具現化に向けて、「基礎・基本を身に付け、自ら学び、自ら考える子供」の育成に重点を置き、教師・子供・保護者の三者が一体となり、「確かな学力」を培おうとするものである。事業の内容は、①学力検査結果の分析等による児童生徒の実態把握に基づいた学力向上対策の計画的な推進を図ること、②考えを交流し合い、「『なぜ?』『なるほど!』『もっとやってみたい!!』を大切に授業」を通して、思考力、判断力、表現力等の育成を図ること、③教師の専門性や特技・特性を生かした「教科分担制」の導入等により授業の質を高めること、④教科等横断的な学び等のカリキュラム・マネジメントを促進していくこと、⑤家庭学習の手引きの活用や子供たちの取り組みのよさを認め合う活動を取り入れること、⑥9年一貫指導における英語を用いたコミュニケーション能力の育成を図ること、⑦ICT機器等を効果的に活用していくこと、以上7点である。

学力向上対策にかかわる全市的な教職員研修としては、「中学校区別研修会」を開催し、市内11中学校区ごとにそれぞれの校区の幼稚園・小学校・中学校の教員が全員参加して、連携した継続性のある教育活動の在り方を検討する。さらに、「共通授業研究会」を小・中学校の各校種で教科別に実施し、授業研究を基にして指導力向上を図るとともに、「実技等研修」を実施し、教員の資質や専門的な能力の向上を図る。幼稚園については、「幼稚園一日研修」を実施し、保育研究を基にして保育改善を図る。

各学校園の校園内研修を支援する体制としては、研修主任を委員とした「確かな学力向上推進委員会」を設置し、研修の計画・実施・まとめ、基礎・基本の確実な定着、学習習慣の定着化などについて協議できるようにする。

学校訪問については、学校経営上の課題解決を支援するための「経営訪問」を1学期に、校内研修で取り組んでいる学習指導上の課題解決を支援するための「要請訪問」を2学期に全小・中学校で実施する。

児童生徒に基礎・基本の確実な定着を図るために、標準学力検査を実施し、結果等を分析し授業改善の方策を具体化して、実際の指導に役立てる。また、小学校国語・算数、中学校国語・数学・英語では、「学力向上プリント」を授業や家庭学習等で活用していく。

学校・幼稚園訪問

1 趣 旨

学習指導要領・幼稚園教育要領、群馬県教育委員会の「学校教育の指針」、本市教育委員会の「学校教育方針」及び「伊勢崎学校教育構想2022」に基づいた学校・幼稚園経営、教育課程の編成実施、教職員の指導力の向上、学力向上、生徒指導等の改善・充実を図るために、事務局職員等が学校・幼稚園に直接出向いて指導援助に当たる。

2 各訪問の概要

<小・中・中等教育学校>

(1) 経営訪問（1学期）

学習指導要領や「伊勢崎学校教育構想2022」に基づいた学校経営（教育課程の編成・実施、学力向上、学習指導、生徒指導等を含む）上の課題やその解決策等について協議を行う。

(2) 要請訪問

学習指導上の課題解決のための援助を中心に、校内研修、指定研修への対応、授業研究等、学校からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

<幼稚園>

(1) 幼稚園訪問（1・2学期）

幼稚園教育要領や「伊勢崎学校教育構想2022」に基づいた幼稚園経営（教育課程の編成・実施、園内

研修) 上の課題やその解決策等について協議を行うとともに、園内研修の課題を踏まえて、指導力向上のための保育参観及び研究協議を行う。

(2) 要請訪問

幼稚園経営の課題解決のための援助を中心に、園内研修、指定研修への対応、保育研究等、園からの要請により、関係職員を派遣して研究協議を行う。

キャリア教育

夢や希望は、明日を生きていく原動力となるものである。子供が現在や将来に夢や希望を抱き、その実現を目指して物事に取り組むことは、「今の自分」に価値や意味を見出すことにつながる。そのためには、子供が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身につける必要がある。自己の確立・自己実現に向けて、社会とかわりながら、子供一人一人が自らの力で生き方を選択していくことができるよう、キャリア発達を促すことが大切である。

本市では、夢や希望を抱き、その実現に向けて挑戦する意欲や態度を「未来力」と規定し、子供の「未来力」を高めるために、企業や大学をはじめ、地域で活躍する人が人間の生き方や社会のしくみ等を教える「『未来力』学習講座」を、小中9年間の全学年において実施する。また、学級活動、総合的な学習の時間や学校行事、各教科における学習、個別指導としての教育相談等の機会を生かしつつ、学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育を効果的に展開し、必要な資質・能力の育成に努める。

人権教育

本市では、多様化する人権問題の解決を図るため、市人権教育方針に基づいて、学校における人権教育の一層の改善と充実に努めている。

1 基本方針

- (1) 人権教育とは、人権を相互に尊重し合う人権共存の考え方を理念とし、人権という普遍的文化を構築するための教育活動であり、日常的・体験的な活動を通して推進する。
- (2) 学校教育においては、子供の発達の段階に即し、各教科等の特質に応じ、全教育活動を通じて生命や人権を尊重する心や他人を思いやる心などの豊かな人間性を育成するとともに、一人一人を大切にされた教育の充実に努める。
- (3) 人権教育の推進に当たっては、生涯学習の観点に立ち、地域の実態に即して積極的に推進されるよう努めるとともに、公教育としての主体性を守り、関係諸機関・団体との連携を図り総合的に推進する。

2 取組の概要

本市では、人権尊重の精神に基づいた教育行政を行うとともに、「伊勢崎学校教育構想2022」の3つの教育プランとして「豊かな心育成プラン」、「確かな学力向上プラン」、「みんなの未来創造プラン」を位置付けている。そして、小中学校が連携した9年間の一貫教育を実施することにより、学校と家庭、地域社会が協働して、子供たちの豊かな心の育成に取り組んでいる。また、講演会等を開催し、教師の人権意識の高揚と指導力の向上を図っている。

各学校園においても創意工夫ある人権教育を推進するため、人権教育全体計画、推進計画及び年間指導計画の改善を図り、互いの人権を尊重し、望ましい人間関係を確立できる子供の育成を目指している。さらに、教師自身も地域の人権教育・啓発に関する社会教育活動に参加し、自らの人権意識の高揚を図るとともに、学校・学年・学級通信や授業公開、懇談会等を通して、保護者や地域住民への啓発活動を行うよう努めている。

なお、各学校園においては、人権に関わる講演会や校長講話、ビデオ視聴、人権標語やポスターの作成、いじめに関するアンケートや友だちの良さや頑張りを認め合う活動、老人ホームへの訪問、外国籍児童や特別支援学校との交流や車いす体験など、子供の発達の段階に即した創意工夫ある様々な人権教育を推進している。

環境教育

自然や資源などを大切にすることや環境に関心をもった主体的な活動を推進し、環境保全を尊重する心と循環型社会づくりに向けた実践力の育成のため、各学校において、伊勢崎市クリーン作戦やリサイクル活動を実施したり、省エネルギーや資源の有効利用に取り組んだりしている。

各学校園において、学習環境の改善や心の教育推進のために、環境教育の一環としてアルミ缶回収やグリーンカーテンなどのエコ活動に子供たちとともに取り組んでおり、令和3年度には、花いっぱい活動で「第14回群馬銀行環境財団教育賞特別賞」を第四中学校特別支援学級8組が受賞している。

また、総合的な学習の時間における児童生徒の主体的な環境に関する探究活動をはじめ、それぞれの学校が家庭や地域とともに、連携しながら特色ある活動を行っていく。

情報教育

将来のデジタル社会において、子供たちが主体的に対応できる資質を養うことや、情報機器を自他の生活の向上に適切に利用できるようにすることなど、情報社会に適切に対応していくことは今日の重要な課題となっている。

本市では、「いせさきGIGAALスクール構想」に基づき、情報教育指導体制を充実させ、効果的なICT（Information and Communication Technology）機器（電子黒板や教育コンテンツ、ネットワーク等）の活用と考え、表現する活動の充実などにより、子供たちの情報活用能力を育成し、論理的思考力や創造力の伸長を図る。また、特別の教科 道徳や各教科等の年間指導計画に情報モラル育成のための授業を系統的に位置づけ、携帯電話やパソコンなどによるインターネットやSNSの利便性や危険性の情報提供や啓発事業を行い、家庭と連携して児童生徒が安全に情報社会に参画する態度の育成を図っている。

一方、各教科等の目標を達成する際に効果的にICT機器を活用することについては、ICT環境の整備を進めるとともに、教育研究所ICT活用研究班や情報教育主任会を中心に、ICT機器を活用した授業実践研究などの情報提供を行い、教員のICT活用能力の向上も図ることで、子供たちの個別最適な学びや協働的な学びができるようにしていく。

また、校務の情報化や事務の効率化に向けて、ICT端末の導入、ICTサポーター活用の推進、校内LANの拡充、教員研修の実施、県総合教育センターとの連携などの事業を充実させていく。

特別支援教育

本市には、知的障害、自閉症・情緒障害、難聴、肢体不自由、病弱の各特別支援学級がある。それぞれの特別支援学級では、特別な教育課程を編成し、個々の児童生徒の実態に合ったきめ細かな指導ができるように配慮している。

個々の障害等の状況に応じ、知的障害が軽度の児童生徒は、主として特別支援学級に入級しているが、中度・重度あるいは知的障害を主障害とした重複障害のある児童生徒は、県立特別支援学校に入校している。知的障害特別支援学級は、現在、小学校23校、中学校11校に設置されている。自閉症・情緒障害特別支援学級は、小学校23校、中学校11校に、難聴障害特別支援学級は、小学校1校に、肢体不自由特別支援学級は、小学校5校、中学校

2校に、病弱・身体虚弱特別支援学級は、小学校2校に設置されている。

小学校通級指導教室では、言語や情緒の面で、一部特別な支援を必要とする幼児や児童に対して指導を行っている。現在、北小学校、赤堀小学校、あずま小学校、境小学校の4校に「こども発達相談室」という名称で設置され、言語、情緒、LD・ADHDの障害に応じた指導をしている。また、中学生を対象に、伊勢崎市教育研究所内に「中学校通級指導教室」を設置し、情緒、LD・ADHDの障害に応じた指導をしている。

現在、各学校とも、校長のリーダーシップの下、特別支援教育コーディネーターが中心となり、発達障害等(LD・ADHD)の理解と支援方法のための研修を行ったり、校内の支援体制を整えたりするなど、関係機関との連携を深め、教育環境の整備に努めている。

県立伊勢崎特別支援学校(旧市立伊勢崎養護学校)と、特別支援教育のセンター的役割を担う学校として、特別支援教育アドバイザーからの支援を中心に、来校相談や訪問相談等の相談業務、教材開発等の支援業務、講師派遣や校内研修の参加等の研修業務も積極的に連携を行っている。

障害のある子供の就学に係る教育支援にあたっては、学校、幼稚園等で作成した就学に係る教育支援基礎資料を基に市教育支援委員会で審査を行っている。また就学先の決定に際しては、審査結果等の情報を保護者に提供すると共に、障害の状態、本人・保護者の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえ総合的な観点から、入級・入校等の就学及び支援方針を決定している。

外国語指導助手

経済・社会等のグローバル化を受け、国際的共通語である英語によるコミュニケーション能力を身に付けることの必要性が高まっており、このことは子供たちの将来のためにも、本市の発展のためにも非常に重要な課題である。また、現在、小学校では英語が教科化され、中学校では指導内容のより一層の高度化が求められている。こうした中、本市では、ネイティブスピーカーである外国語指導助手の有効活用に重点を置いた施策を展開し、合計20名の外国語指導助手を市内小学校、中学校、四ツ葉学園中等教育学校に配置し、子供たちの発達の段階に応じた英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に努めている。



4技能をバランスよく身に付ける授業

1 市立中学校11校における英語指導

11名の外国語指導助手を各中学校に配置(小中学校兼務2名)し、各学校の英語担当教員とのチーム・ティーチングにより、英語コミュニケーション能力を養うために、「聞く」「話す」「読む」「書く」力をバランスよく身に付けることを目指した授業を展開している。また、通常の授業指導に加えて、表現活動に向けた個別の音声指導などの支援も行っている。日常生活や学校行事など様々な場面を通じ、生徒と英語でのコミュニケーションを積極的に図りながら、生徒の「聞く」「話す」能力を中心に4技能のバランスよい伸長を目指している。

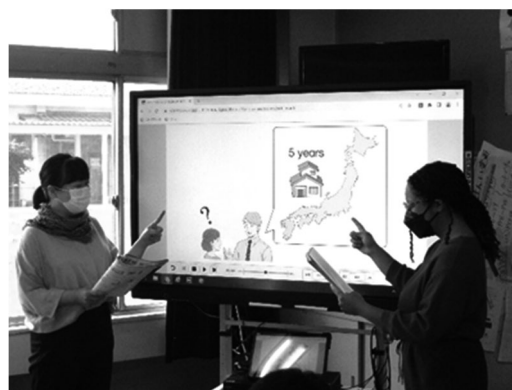
2 四ツ葉学園中等教育学校における英語指導

四ツ葉学園中等教育学校には3名の外国語指導助手が年間を通じて常駐し、英語担当教員とのチーム・ティーチングによる英語指導を行っている。また、部活動でも英語部の顧問として、英会話指導に継続して当たっている。これらにより、四ツ葉学園中等教育学校の生徒が、生きた英語を学べる機会を増やし、日々英語と触れられる魅力ある学校生活を送れるよう努めている。

3 市内小学校23校における英語指導

子供たちが英語の授業を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲の向上を目指して、小学校専任6名、小中学校兼務2名、合計8名の外国語指導助手が各小学校での指導を行っている。

各学校の学級担任とのチーム・ティーチングでは、ネイティブの音声や英語表現に多く触れることにより、英語を用いながら活動を楽しむことに指導の中心を置いている。また、週2時間相当の英語の授業を全学年で実施し、市共通のプログラムを有効活用しながら、英語指導の質的な向上を図っている。



豊かな英語体験を重視した指導

4 国際理解教育の推進

20名の外国語指導助手の存在は、市内小学校・中学校・四ツ葉学園中等教育学校の児童生徒にとって、直接外国の生活や文化について触れることができる機会となっている。日々の授業に加え、日常生活や学校行事など様々な場面を通じて、外国の言語や文化について学ぶことにつながっている。また、外国語指導助手が中心となり、英語雑誌『伊勢崎スクールマガジン「Impress（インプレス）」』を作成し、国際理解につながる教材となるようにしている。さらに、アメリカ姉妹都市のスプリングフィールド市の学校と相互に代表が訪問し合ったり、継続的に交流を行ったりし、国際理解の礎を築いている。スプリングフィールド市内にあるミズーリ州立大学で実施する海外研修へは、本市70名の中学生と120名程度の中等学校生が参加している。（令和2年度～4年度は中止）

外国籍児童生徒学校生活支援助手配置事業

1 趣 旨

外国籍園児児童生徒や帰国児童生徒等日本語指導が必要な園児児童生徒の学校生活を支援するために、学校生活支援助手27人を配置し、日本語の習得や日常の生活習慣を中心に指導・援助を行う。

2 事業内容

- (1) 本事業の対象となる園児児童生徒を学校園ごとに調査・把握し、それぞれの状況に適する生活支援助手の採用及び配置に努める。ただし、本事業の対象は、市内小中学校及び幼稚園に在籍する外国籍園児児童生徒及び帰国児童生徒の中で、日本語が全く、あるいはほとんど通じない者など、学校生活への支援が必要な者とする。
- (2) 生活支援助手による指導・援助は、原則として該当校へ出向いて行うものとする。その計画は、事前に該当校園関係者と協議して決めるものとする。
- (3) 該当校園における指導・援助は、園長、校長及び関係学級担任の指導のもとに、原則として個別指導（取り出し指導）を中心に行うものとする。ただし、実情に応じて効果のある指導形態を工夫する。
- (4) 生活支援助手による訪問指導は、原則として午前4時間、午後2時間をそれぞれ単位として、週2～5回、1ヶ月を一単位の継続指導とする。また、必要に応じて延長することができるものとする。

3 外国籍等園児児童生徒数（5月1日現在）

(1) 該当校数および該当園児児童生徒数【日本国籍を含む】

※公立学校に限る。 ※（ ）は内、日本語指導を必要とする数。

幼稚園	6 / 7園	31 (31)	前年比	-2園	-14 (-7)名
小学校	23 / 23校	824 (398)		±0校	+12 (+15)名
中学校	11 / 11校	362 (86)		±0校	-2 (+10)名
中等教育学校	1 / 1校	4 (0)			+1 (±0)名
合計	41 / 42校園	1221 (515)			-3 (+18)名

(2) 言語系列および国籍別園児児童生徒数【日本国籍を含む】

①ポルトガル語〔ブラジルなど〕	368 (145)	前年比	±0 (+5)名
②スペイン語〔ペルー・アルゼンチンなど〕	335 (138)		-2 (+9)名
③ベトナム語	171 (61)		+1 (-3)名
④タガログ語	99 (44)		+3 (+2)名
⑤その他〔パキスタン・中国・イランなど〕	248 (127)		-5 (+5)名
合計	1221 (515)		-3 (+18)名

地域の教育力の活用

1 「伊勢崎学府制」による地域と連携・協働した人づくり

子供の未来を地域とともに育てる教育をより一層推進するため、地域と学校が組織的に連携・協働する体制の整備及び中学校区内にある幼稚園、小学校、中学校の一貫した教育と連携・協働体制の整備を強化する必要がある。本市では、すでに平成29年度までに全中学校区に学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進しており、それぞれの中学校区を学府とし、地域・家庭・学校が一体となって、ふるさと伊勢崎を担う、高い志と市民性を兼ね備えた人材の育成を目指している。

2 学校支援センター制度 ～家庭と地域で学校教育の充実を！～

本市では、各小中学校において「学校支援センター制度」に積極的に取り組んでいる。これは学校の教職員だけを子供たちの「先生」としてとらえるのではなく、家庭や地域の方々にも「先生」として学校における教育活動に協力していただくものであり、「みんなの未来創造プラン」の取組項目のひとつである。これにより児童生徒の指導に当たる大人の数を飛躍的に増加させ、学校の教育力の充実はもとより、開かれた学校運営を通じた、地域から信頼される学校づくりを大きく前進させることができた。

各学校では、教育力の充実と信頼される学校づくりの拠点として「学校支援センター」を設置するとともに、PTAや地域に「学校支援ボランティア」としての参加を呼びかけ、令和3年度の登録人数は13,473人であり、多くの方々の協力をいただくことができた。

3 カリキュラムパートナー制度 ～企業と大学で学校教育のさらなる充実を！～

企業や大学は専門性を持つ人材の宝庫で、様々な分野において最先端の取組を行っている人材がたくさんいるとともに、小中学校では考えられないような素晴らしい施設・設備を保有している。学校による活用の工夫によっては、今まで考えられなかったような大きな教育力を発揮することができる可能性がある。

このようなことから、保護者や地域の方を学校支援ボランティアとして活用する「学校支援センター制度」に加え、もう一つの地域の教育力として、企業人や大学教授・学生を外部指導者・支援者として活用する「カリキュラムパートナー制度」を平成20年度に導入し、現在、「みんなの未来創造プラン」に位置付けて実践を展開している。

現在、地元伊勢崎市やその近隣に本拠地・活動拠点を置くサンデンホールディングス株式会社と株式会社ザスパの2企業、群馬大学や共愛学園前橋国際大学、上武大学、東京福祉大学、高崎健康福祉大学の5大学と包括的協力関係に関する協定を結んでいる。主な連携事業としては、キャリア講話、各種体験学習、学生ボランティア事業などである。

4 スマイルサポーター制度

本市では、学校教育をさまざまな面から支援してくれる家庭・地域や企業・大学などの地域人材をすべて「指導者」と位置付け、学校支援センターとカリキュラムパートナーの人材を合わせて「スマイルサポーター」と名付けて指導体制の改善・充実を図っている。この制度は、多様な外部人材により子供の笑顔を引き出す教育活動の充実を図るためのものである。

これまでもカリキュラムパートナーの協力により、たくさんの外部指導者や学生ボランティアが学校に入り、「できた」「分かった」「よかった」という子供たちが笑顔になる支援をしてもらった。理科や日本語教室においても、学生ボランティアが授業支援をしてくれた。そして、大学の先生や企業の方から話を聞く授業では、「すごい」「分かった」「もっと知りたい」といったやる気や笑顔があちこちであふれていた。家庭・地域の外部指導者・学校支援ボランティアの授業やカリキュラムパートナー（企業・大学）の外部指導者の授業でも同様である。これらの取組を継続し、さらに充実させることをねらっている。

5 「未来力」学習講座 ～学習や生活の向上に自ら取り組む児童生徒の育成を！～

家庭・地域やカリキュラムパートナー（企業・大学）などのスマイルサポーターが、自己の生き方や専門分野などについて教える『未来力』学習講座を、平成23年度から小・中学校の全ての学年において実施している。これは、多種多様な外部講師の卓越した技術や生き方に触れることを通して、児童生徒が夢や希望を膨らませ、それに迫るための目標に向かって努力することの大切さ、素晴らしさを感じることができるようにするものである。

例えば、卓越した技術のある職人やスポーツ選手から、成功した話だけでなく、壁にぶつかり挫折して苦しんだ話を聞く。グローバル展開している企業の方から、就職するまでの経緯や仕事上の喜びや厳しさ、現在の自分の夢やそれを叶えるために努力していることについての講話を聞く。また、生活科や社会科の学習に関わり農家の方やスーパーマーケットの店長さんから仕事内容の話とともに、仕事上の喜びや工夫していることなどの話を聞く。そうすることにより、児童生徒が、未来の自分の進路を夢や希望として考えるとともに、それを叶えるために目標をもち、自らの学習や生活の向上に日常的に取り組むようになることをねらっている。

6 いせさき教育アンバサダー制度

平成29年度から本市出身または本市にゆかりがあり、様々な分野で活躍されている方々に、「いせさき教育アンバサダー」を委嘱している。

いせさき教育アンバサダーの皆様には、本市内の学校園において、子供たちを対象に特別授業や講演会をしていただいたり、各種の学校行事への協力をしていただいたりしている。また、本市教育に関するアドバイスや各種情報の提供、本市教育の魅力の紹介やイメージアップの推進等をお願いする場合もある。

子供たちが、社会的立場が広く認知された方々の体験や思いに直接触れることは、子供たちの学習への意欲を高め、将来への大きな夢や希望をもたせることに直結するものと考え。令和3年度は14名の方をお願いした。本事業は、本市の子供たちのことを考えた、いせさき教育アンバサダーの方々の善意で成り立っている。

7 教育新時代いせさきミーティング

少子高齢社会やグローバル化の進行により、社会変化の予想が困難な時代における本市教育の在り方や教育施策の具現化に向けた取組について、広い視点から検討する「教育新時代いせさきミーティング」を平成29年度から開催している。

本市教育を多面的・多角的に捉えるため、大学教授、社会教育関係者、一般企業経営者等から、幅広い分野で活躍中の高い専門性をもつ方をテーマに応じて委員や研修の講師として迎えている。

各種援助

1 要保護及び準要保護就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、就学援助として、学用品、学校給食費、修学旅行費、校外活動費、医療費等を給付し、円滑な義務教育の実施を目的として行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
令和3年度事業	812	48,945,404	60,277	551	59,238,975	107,511
令和4年度事業計画	784	65,826,574	83,962	583	88,137,515	151,179

2 特別支援教育就学奨励

小、中学校の特別支援教育の特殊事業に配慮し、特別支援学級等の就学に必要な保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の振興を目的として、国の援助を受けて行っている。

区分	小学校			中学校		
	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)	給与人員(人)	給与額(円)	平均給与額(円)
令和3年度事業	277	8,640,853	31,194	115	5,690,185	49,479
令和4年度事業計画	376	14,878,576	39,570	185	11,681,114	63,141

3 奨学金制度

本市の奨学金制度は、旧伊勢崎市、旧赤堀町、旧東村、伊勢崎佐波広域組合にあった制度を統合し、平成17年1月1日伊勢崎市奨学金条例が設けられた。

<貸与額>

区分	金額
高等学校 年額	120,000円
大学 年額	300,000円

<給与額>

入学時給付金	30,000円
--------	---------

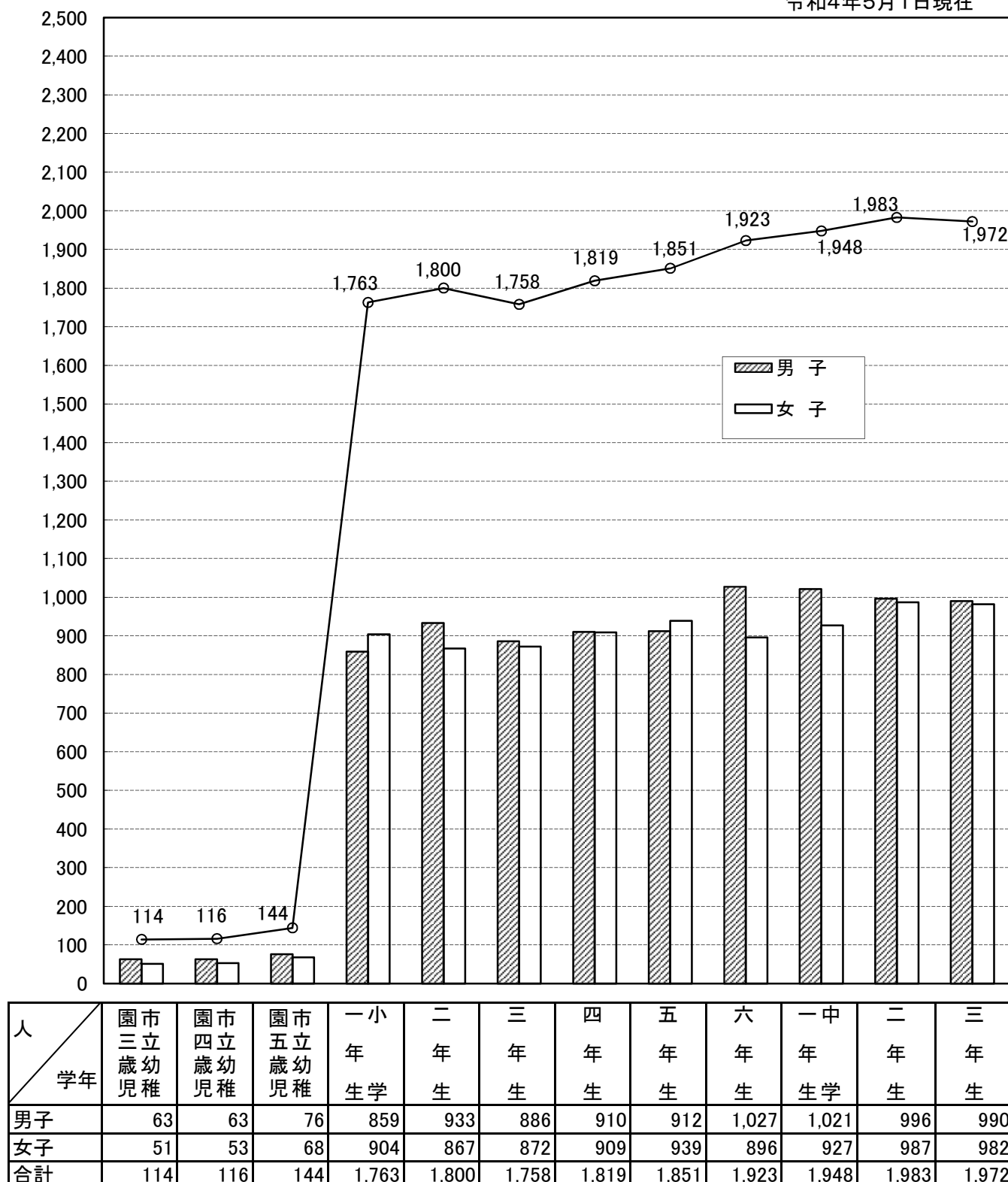
<貸与利用状況>

	高等学校	大学	計
令和2年度	1人	7人	8人
令和3年度	1人	10人	11人

園児・児童生徒数

学年別・男女別構成図

令和4年5月1日現在



※中学1年生～3年生の生徒数には、中等教育学校の1年生～3年生の生徒数を含んでいます

園児・児童・生徒数等の推移

1. 幼稚園

(各年5月1日現在)

施設名	24		25		26		27		28		29		30		1		2		3		4	
	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数	児童 数	学級数
第一幼稚園	41	2	34	2	26	2	29	2	39	2	46	3	58	3	76	3	76	4	72	4	60	3
南幼稚園	39	2	34	2	26	2	21	2	20	2	20	2	10	2	11	2	14	2	3	2		
菴園幼稚園	52	2	57	3	56	2	66	4	70	3	39	2	60	3	73	3	65	3	59	3	44	3
茂呂幼稚園	41	2	29	2	34	2	28	2	17	2	21	2	22	2	16	2	13	2	10	2		
三郷幼稚園	33	2	31	2	35	2	31	2	30	2	30	2	20	2	20	2	17	2	9	2	9	2
宮郷幼稚園	50	3	52	2	63	3	62	3	52	3	50	2	57	3	46	3	54	3	56	3	46	3
名和幼稚園	28	2	27	2	25	2	26	2	25	2	54	3	73	3	77	3	72	3	54	3	41	3
豊受幼稚園	20	2	21	2	17	2	12	2														
あかぼり幼稚園	132	5	110	4	103	4	86	4	72	4	92	5	107	5	99	5	96	5	95	5	89	4
あずま幼稚園	86	4	100	4	98	4	92	4	79	3	58	3	77	3	91	4	100	5	87	5	85	4
合計	522	26	495	25	483	25	453	27	416	25	410	24	484	26	509	27	507	29	445	29	374	22

2. 小学校

北小学校	427	17	443	17	460	17	468	19	464	20	457	20	454	20	439	20	425	19	400	18	421	18
南小学校	389	13	381	14	373	14	377	15	357	15	342	14	338	15	310	15	277	15	265	15	251	15
菴園小学校	739	27	717	25	660	24	664	23	627	22	630	24	611	25	598	24	586	25	548	24	535	25
茂呂小学校	733	28	736	28	734	25	747	28	749	29	756	29	764	28	776	30	782	30	779	30	801	30
三郷小学校	738	25	717	26	729	27	696	25	677	24	689	25	689	26	699	28	683	27	680	26	685	28
宮郷小学校	870	31	837	31	798	30	799	29	819	30	852	31	836	32	846	33	857	32	852	33	840	32
名和小学校	495	20	500	21	480	20	473	18	470	18	471	18	462	19	445	19	459	20	470	21	470	20
豊受小学校	641	23	635	23	584	21	589	21	581	21	555	20	550	22	536	22	537	21	522	22	513	21
北第二小学校	245	14	229	12	218	10	199	10	199	10	186	10	184	10	178	10	197	11	214	12	217	12
菴園第二小学校	456	17	461	17	453	18	426	18	438	18	425	18	428	19	401	17	404	17	402	16	383	17
広瀬小学校	702	26	659	25	607	23	578	22	571	24	545	23	530	23	517	22	498	22	475	22	463	21
坂東小学校	536	21	542	20	541	19	515	19	491	20	486	19	489	19	469	20	453	19	470	22	454	19
宮郷第二小学校	912	33	891	33	861	31	809	30	799	30	767	29	749	27	706	27	663	28	626	26	592	25
赤堀小学校	663	24	645	25	631	24	633	24	630	24	608	23	599	23	601	24	585	24	575	23	533	22
赤堀南小学校	584	21	595	21	603	21	606	22	597	22	609	22	604	23	577	22	555	21	542	22	527	22
赤堀東小学校	431	17	433	17	416	16	402	16	392	16	350	15	349	15	333	15	336	15	330	15	329	15
あずま小学校	561	20	570	21	565	21	559	21	539	20	556	22	561	23	554	22	566	23	560	23	559	22
あずま南小学校	641	23	656	23	632	22	638	23	620	22	609	23	612	24	597	22	584	22	559	21	559	22
あずま北小学校	478	19	485	18	478	17	488	17	495	18	512	19	507	21	492	21	487	19	466	21	453	21
境小学校	343	15	335	15	339	14	352	14	362	14	361	14	346	14	355	14	350	14	349	15	345	15
境采女小学校	437	18	437	17	406	16	397	16	401	16	403	18	391	17	390	16	410	18	425	18	406	17
境剛志小学校	434	17	426	17	410	17	397	16	363	14	353	14	345	14	313	14	291	14	282	13	274	13
境島小学校	19	3	20	3	17	3	10	3														
境東小学校	316	14	313	13	332	14	343	14	341	14	326	14	317	14	318	14	302	15	306	15	304	14
合計	12,790	486	12,663	482	12,327	464	12,165	463	11,982	461	11,848	464	11,715	473	11,450	471	11,287	471	11,097	473	10,914	466

3. 中学校

第一中学校	561	18	566	18	569	18	538	17	541	17	529	17	525	18	520	19	516	19	527	19	517	18
第二中学校	634	20	634	19	655	20	619	21	600	20	573	18	529	18	520	19	470	17	485	18	469	19
第三中学校	639	20	638	19	668	21	672	22	693	22	672	21	648	20	627	21	644	22	640	23	626	23
第四中学校	608	20	600	20	586	19	606	19	592	19	570	18	524	17	522	17	501	16	525	19	502	18
菴園中学校	554	17	553	18	565	18	568	18	571	20	546	19	521	18	520	18	488	16	490	18	469	18
宮郷中学校	868	26	889	26	915	27	887	26	822	24	758	23	728	22	758	24	768	24	744	24	715	24
赤堀中学校	713	22	763	23	766	23	788	25	799	25	813	26	812	26	794	27	765	26	751	27	748	28
あずま中学校	756	22	776	24	787	26	802	26	810	25	774	24	770	25	777	26	789	26	812	29	781	29
境北中学校	224	9	219	8	215	8	209	7	206	7	190	7	198	9	200	8	187	8	167	8	174	8
境西中学校	223	8	227	8	235	8	228	9	233	10	207	8	192	8	177	8	183	6	184	8	173	8
境南中学校	369	13	343	11	329	12	313	10	330	11	343	11	355	12	341	11	354	13	350	15	345	15
合計	6,149	195	6,208	194	6,290	200	6,230	200	6,197	200	5,975	192	5,802	193	5,756	198	5,665	193	5,675	208	5,519	208

4. 中等教育学校

四ツ葉学園中等教育学校	509	16	630	20	749	24	753	24	755	24	755	24	755	24	749	24	753	24	750	24	747	24
-------------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

参考

※伊勢崎市立伊勢崎高等学校は平成26年3月31日をもって閉校しました

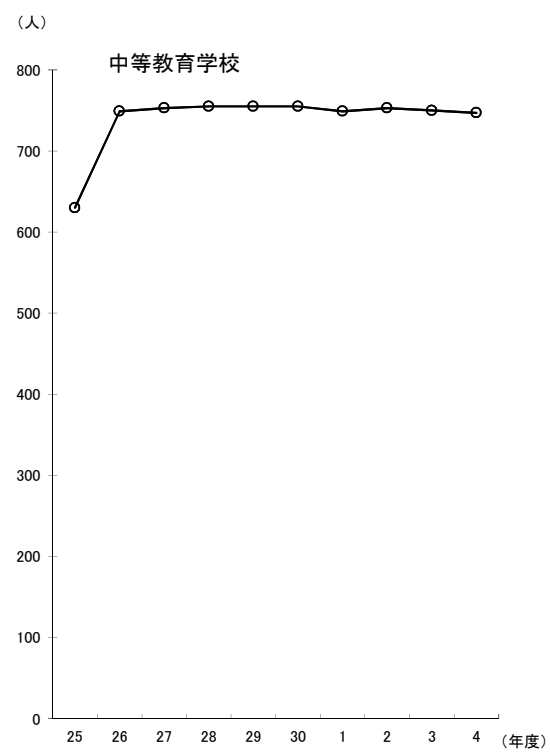
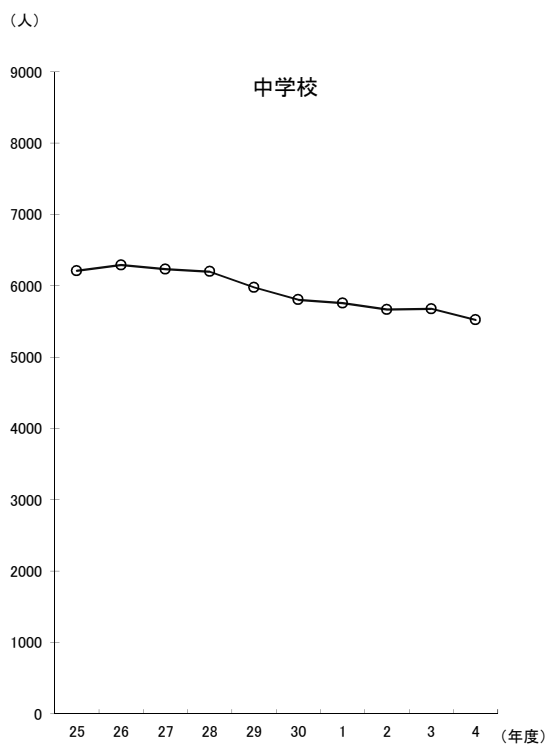
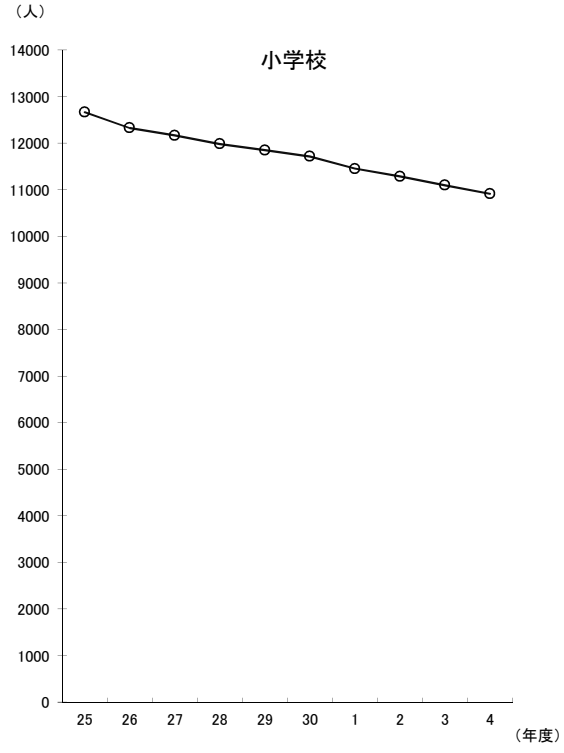
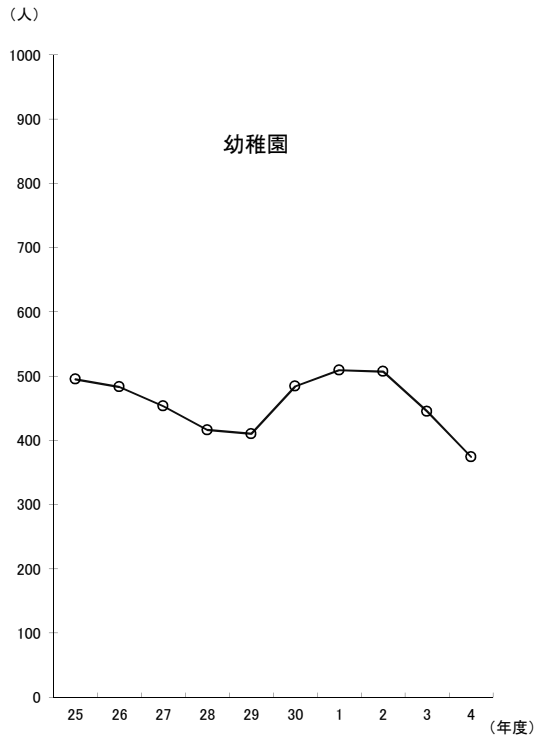
高等学校

伊勢崎高等学校	295	10	140	5																		
---------	-----	----	-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※伊勢崎市立伊勢崎養護学校は、平成25年4月1日に県へ移管され「群馬県立伊勢崎特別支援学校」となりました

特別支援学校

伊勢崎小学部	73	23																				
養護学校 中学部	41	12																				
合計	114	35																				



令和4年5月1日現在児童生徒数 男女別

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
小学校	北小	37	46	83	24	39	63	36	33	69	32	35	67	28	31	59	40	40	80	197	224	421
	南小	15	23	38	20	21	41	26	12	38	21	18	39	28	21	49	26	20	46	136	115	251
	殖蓮小	33	41	74	50	39	89	49	33	82	46	49	95	44	38	82	62	51	113	284	251	535
	茂呂小	70	71	141	70	68	138	63	58	121	70	67	137	71	64	135	75	54	129	419	382	801
	三郷小	63	54	117	48	66	114	58	53	111	49	51	100	63	61	124	55	64	119	336	349	685
	宮郷小	66	61	127	68	69	137	66	67	133	81	74	155	66	68	134	80	74	154	427	413	840
	名和小	35	43	78	47	37	84	36	36	72	40	41	81	37	31	68	42	45	87	237	233	470
	豊受小	32	46	78	52	38	90	46	31	77	43	50	93	54	43	97	42	36	78	269	244	513
	北二小	29	20	49	17	17	34	32	11	43	19	16	35	17	15	32	14	10	24	128	89	217
	殖二小	41	26	67	29	28	57	31	36	67	31	23	54	25	42	67	42	29	71	199	184	383
	広瀬小	42	41	83	42	36	78	30	39	69	42	42	84	41	32	73	39	37	76	236	227	463
	坂東小	30	38	68	46	45	91	36	39	75	35	38	73	29	38	67	42	38	80	218	236	454
	宮二小	39	42	81	48	40	88	44	47	91	44	56	100	61	56	117	61	54	115	297	295	592
	赤堀小	33	41	74	42	44	86	36	49	85	43	59	102	50	49	99	52	35	87	256	277	533
	赤南小	55	40	95	42	34	76	33	35	68	43	44	87	47	49	96	62	43	105	282	245	527
	赤東小	28	27	55	36	22	58	25	29	54	37	27	64	29	31	60	20	18	38	175	154	329
	あずま小	37	54	91	36	45	81	50	60	110	44	39	83	42	53	95	51	48	99	260	299	559
	あずま南小	38	52	90	54	31	85	41	47	88	49	48	97	47	55	102	50	47	97	279	280	559
	あずま北小	42	31	73	34	30	64	41	40	81	30	34	64	37	40	77	50	44	94	234	219	453
	境小	24	30	54	35	23	58	26	33	59	33	25	58	21	39	60	24	32	56	163	182	345
	境采女小	28	27	55	34	45	79	31	36	67	39	31	70	29	33	62	42	31	73	203	203	406
境剛志小	21	25	46	20	28	48	25	21	46	20	13	33	24	25	49	30	22	52	140	134	274	
境東小	21	25	46	39	22	61	25	27	52	19	29	48	22	25	47	26	24	50	152	152	304	
小学計	859	904	1,763	933	867	1,800	886	872	1,758	910	909	1,819	912	939	1,851	1,027	896	1,923	5,527	5,387	10,914	
中学校	第一中	78	89	167	87	88	175	87	88	175										252	265	517
	第二中	92	74	166	80	89	169	63	71	134										235	234	469
	第三中	110	79	189	101	104	205	130	102	232										341	285	626
	第四中	80	83	163	93	86	179	78	82	160										251	251	502
	殖蓮中	91	68	159	83	75	158	81	71	152										255	214	469
	宮郷中	132	105	237	107	127	234	115	129	244										354	361	715
	赤堀中	137	135	272	132	110	242	112	122	234										381	367	748
	あずま中	137	109	246	154	120	274	129	132	261										420	361	781
	境北中	31	35	66	20	34	54	27	27	54										78	96	174
	境西中	22	32	54	25	28	53	39	27	66										86	87	173
	境南中	48	52	100	53	61	114	67	64	131										168	177	345
	中学計	958	861	1,819	935	922	1,857	928	915	1,843										2,821	2,698	5,519

校種	学校名	1年生			2年生			3年生			4年生			5年生			6年生			男計	女計	合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
中等	四ツ葉学園	63	66	129	61	65	126	62	67	129	62	60	122	62	60	122	57	62	119	367	380	747

幼稚園

園名	3歳児			4歳児			5歳児			男計	女計	合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
第一	12	9	21	9	14	23	9	7	16	30	30	60
南												
殖蓮	6	5	11	6	7	13	13	7	20	25	19	44
茂呂												
三郷				3	3	6	3	0	3	6	3	9
宮郷	6	7	13	8	6	14	11	8	19	25	21	46
名和	7	2	9	6	5	11	11	10	21	24	17	41
あかぼり幼	14	16	30	19	8	27	15	17	32	48	41	89
あずま幼	18	12	30	12	10	22	14	19	33	44	41	85
幼稚園計	63	51	114	63	53	116	76	68	144	202	172	374

学校体育保健

1 主要事業

1 体力の向上

(1) 指導の充実と環境づくり

各学校の体力の現状に応じて、児童生徒が自主的・継続的に体力向上に取り組めるよう指導の充実と環境づくりを図る。

(2) 運動部活動の充実

中学校における適正な部活動運営に基づき、部活動指導員を配置するとともに、学校と地域・家庭、外部指導者等と積極的に連携しながら、体力や競技力の向上を図る。

2 健康・安全教育の推進

(1) 健康診断の充実と健康管理の徹底

健康診断の事前指導・事後措置を徹底し、児童生徒の健康状態を把握するとともに、自己管理および健康の保持増進を図れるよう指導の充実に努める。

日常の健康観察から、児童生徒の健康状態を的確に把握し健康管理に努め、心身の健康問題を抱える児童生徒に対して、迅速に健康相談を実施し問題解決にあたる。また、家庭や関係機関と連携して、感染症や食物アレルギー、熱中症等の予防対策に努める。

(2) 薬物乱用防止教育及び性教育に関する指導（エイズを含む）の徹底

喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する正しい知識理解を深め、望ましい行動選択ができるよう関係機関と連携した薬物乱用防止教育の実施に努める。

発達段階に応じた性に関する指導（エイズを含む）を実施し、自他の生命を重んじる指導の充実に努める。

(3) 学校保健会の充実

学校・園・PTA・医師会・歯科医師会・薬剤師会・保健福祉事務所との連携を深め、児童生徒の健全育成の支援を図る。

(4) 生活安全指導の徹底

各学校・園の部活動、クラブ活動、休憩時間等の日常生活における事故防止の徹底に努める。また、児童生徒が不審者等による犯罪被害に巻き込まれないよう学校・保護者・関係機関と連携し安心安全な地域づくりを進めるとともに、状況に応じた適切な行動選択ができるよう発達段階に応じた防犯学習の実施に努める。

(5) 交通安全に関する安全管理の徹底

伊勢崎市通学路交通安全プログラムに則り、通学路上の危険箇所を把握し、各学校・園と保護者、地域、関係各課、警察署、交通指導員、土木事務所等の連携による通学路の安全確保に努める。

交通安全については、自転車の安全利用（ヘルメット着用、一時停止励行等）の徹底を図るとともに、交通規則の厳守・励行の指導強化及び危険回避能力を育成するための安全教育の充実に努める。

(6) 自動体外式除細動器（AED）のメンテナンスとAED 普通救命講習会の受講

全学校・園へ配備された自動体外式除細動器（AED）のバッテリーやパッド交換のメンテナンスを行う。また、定期的に教職員を対象とした普通救命講習会を開催し、AEDの使用・心肺蘇生法などの応急手当に関する知識技能の向上を図り、万一の時に備えた万全の体制を整える。

(7) 学校安全、学校保健・学校給食の点検の徹底

学校施設の点検を例月実施して、その結果を点検集約票にまとめるとともに施設整備や遊器具の安全確保に努める。又、学校保健・学校給食については、日々の点検や学期毎の点検集約を通して、学校環境の衛生管理に努める。

3 食育の推進

(1) 望ましい食習慣育成のための食育の充実

「いせさき家族で『いただきます』の日」の推進を図り、基本的な生活習慣の確立、心身の成長や健康の保持増進、家族のコミュニケーションを通じた親子の信頼関係の構築等、豊かな人間形成の基礎づくりに努める。

(2) 食に関する指導の充実

市内産農作物を活用した給食の提供や栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進を図り、食に対する興味関心を高め、児童生徒自身の食生活の見直しに努める。

4 学校体育・保健関係団体の充実

(1) 小学校体育研究会の充実

児童の水泳・陸上記録会の開催と外部講師による体育実技講習会やなわとび指導者講習会等の実施及び研究会の充実を図る。

(2) 中学校体育連盟の充実

春季大会、総合体育大会、新人大会の運営の充実と生徒の競技力の向上を図る。

(3) 小・中学校体育主任会の充実

実技指導講習会により、教科体育や部活動等の体育的活動の指導において必要となる知識や技能を習得し、教師の指導力を高める。また、児童生徒の実態や指導の経緯についての情報交換を行い、小・中学校の連携の充実を図る。

5 臨海学校の充実

(1) 集団宿泊学習の充実

海水浴の訓練、キャンプファイヤー、レクリエーション、水族博物館見学、係活動等を通して、集団行動の楽しさや秩序の大切さを指導する。

(2) 臨海学校運営委員会・実施校合同会議の開催

臨海学校の充実、発展のために伊勢崎市・玉村町教育委員会と伊勢崎市・玉村町 28 校の連携と連絡を図る。

(3) 臨海学校指導者研修会の実施

臨海学校での安心安全な運営のために、入校学年の教諭等を対象とした事前の研修の充実を図る。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和 4 年度の臨海学校は中止。

日本スポーツ振興センター

学校管理下における児童・生徒の負傷に備え、日本スポーツ振興センターに加入しております。

1. 月別災害発生件数（令和3年度）

（単位：件）

月 區別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
	幼稚園	0	0	0	1	0	2	0	3	1	0	0	
小学校	40	54	55	15	2	62	37	46	32	30	18	16	407
中学校	26	39	42	51	8	21	34	19	29	29	17	11	326
中等教育学校	1	2	4	6	1	1	4	6	5	3	0	0	33
合 計	67	95	101	73	11	86	75	74	67	62	35	27	773

2. 傷害発生件数（令和3年度）

（単位：件）

種別 區別	捻挫		骨折		打撲	挫傷・挫創	擦過傷	裂創・切傷	頭部外傷	脱臼	歯牙損傷	眼球外傷	その他	合 計
	上肢	下肢	上肢	下肢										
幼稚園	0	1	2	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	7
小学校	36	57	87	24	38	55	5	8	14	3	15	35	30	407
中学校	28	62	91	29	21	33	1	6	6	0	3	20	26	326
中等教育学校	2	5	11	2	3	7	0	0	1	0	0	1	1	33
合 計	66	125	191	55	63	97	6	15	21	3	18	56	57	773

3. 災害発生の場合別件数（令和3年度）

（単位：件）

場合別 區別	各教科		保育中	特別活動	部活動	休憩時間		始業前授業終了後	登下校中	その他	合 計
	体育	体育以外				業間	昼食時				
幼稚園	0	0	6	0	0	0	0	1	0	0	7
小学校	118	15	0	36	0	96	65	28	42	7	407
中学校	100	2	0	7	153	13	17	4	29	1	326
中等教育学校	13	0	0	4	9	1	0	0	6	0	33
合 計	231	17	6	47	162	110	82	33	77	8	773

四ツ葉学園中等教育学校

1 概要

所在地 群馬県伊勢崎市上植木本町 1702 番地 1
職員数 校長、教頭 2 人、事務長、教諭 62 人、養護教諭 2 人、事務職員 4 人 合計 72 人
生徒数 747 人（1 年 129 人、2 年 126 人、3 年 129 人、4 年 122 人、5 年 122 人、6 年 119 人）

2 教育理念

未来・世界にはばたく、高い知性と豊かな道徳性を身に付けた教養人を育成する。

3 教育目標

教育理念の実現に向け、4 つの目標を柱に、6 年間の一貫教育を推進する。

(1) 自 学

高い志をもち、自ら考え、真理を追求する生徒

(2) 自 律

自由な精神のもと、自らを律し、正義を貫く生徒

(3) 共 同

共に学び、共に高め合い、創造する生徒

(4) 共 生

博愛の精神のもと、個性を認め合い、共に社会をつくる生徒

4 特色ある教育

(1) 中等教育学校のメリットを最大限に活用

① 6 年間の一貫教育で夢と希望を実現

○発達段階に応じた 3 段階の学習ステージ（「**基礎期**」「**充実期**」「**発展期**」）

② 高校入試の影響を受けない教育活動

○継続的・効率的な学習・部活動等の実施、前期課程からより高いレベルの学びの実現

③ 中等教育学校ならではの教員配置

○前期課程から義務校及び高等学校にて豊かな経験を有する教師をバランスよく配置

④ 上級生と下級生の交流の充実（**サポートリーダー制**）

○上級生から下級生へ、学習・生活・進路面等についてアドバイスする機会を設定

⑤ 教育効果を高める充実した施設

○セミナーハウス、トレーニングルーム、進路指導室、自学室（TOEFL iBT 受験対応）など

(2) 一人ひとりの学力を徹底的に伸ばす SUP や学習合宿

学習習慣の定着や基礎学力の養成、そして、さらなる学力向上のため、授業以外の学習時間を確保する取組として、スキルアッププログラム（**SUP**）を導入しています。具体的には、毎朝の始業前に読書などを行う「**朝 SUP**」、定期テスト前に朝や放課後に学習内容を補充する「**テスト前 SUP**」、土曜日に各教科のさらなる学力向上を図る「**土曜 SUP**」、夏季休業中に基礎学力の強化や発展的学習による学力向上を図る「**夏季 SUP**」を実施しています。

また、自律した学習者になるために必要な、自ら立てた計画に基づいた学習をやり切る力を身に付ける「**学習合宿**」を、夏季休業中に後期課程生徒を対象として実施しています。

(3) 最先端の知識や本物の技術に触れる探究的なキャリア教育

伊勢崎市とカリキュラムパートナー関係にある企業及び大学や地域の方々と連携し、教室の中だけでは学ぶことのできない専門的な知識や最先端の技術に触れる体験をとおして、将来の生き方を考えるなど、特色のあるキャリア教育を展開しながら生徒の知的好奇心を高め、学ぶ意欲や喜びを実感できるようにします。2年生の「**アカデミックキャンプ**」において、各自が研究テーマをもち、企業や大学を訪問し、エキスパートの方々から特別講義を受け、さらなる探究心を育みます。3年生では、首都圏の企業や官公庁を訪問する「**キャリアディスカバリー**」を行い、社会人としての資質の向上を図るとともに、



一人ひとりの将来へのビジョンを具体化します。これらの学びを4年生以降の進路選択・進路実現につなげます。

また、「四ツ葉の学び」で学習したことを基に、自らの進路を考え、自分の考えや主張を論文にまとめる「**みらい探究**」を全ての学年で行います。この探究的な学習を通して、自らのキャリア形成を行い、生徒が自分や世界の未来を考え、世界で活躍できる資質・能力を育成する教育を推進します。

(4) グローバル社会を見据え、世界で活躍できる人材づくり

これからの世の中はグローバル化が一層進みます。生徒の視野を世界に広げ、SDGsの視点から、国際社会で活躍のできる生徒の育成を目指します。そこで、3年生の希望者30名は、米国ミズーリ州スプリングフィールド市にある**ミズーリ州立大学（MSU）**において、約10日間の語学研修を実施します。4年生は、2泊3日の「**グローバルスタディーズキャンプ**」に参加し、英語のコミュニケーション能力の向上とともにグローバル化する社会に対応する資質を培います。5年生は、ミズーリ州立大学で約11日間の**海外グローバルリーダー研修**に参加します。現地ではグローバルな課題（環境、貧困など）について、講義やフィールドワークを通して体験的に学びます。



5 行事

月別	主な行事	月別	主な行事
4月	始業式、入学式、新入生歓迎会 中体連春季大会、避難訓練	10月	中間試験、入学者選抜説明会 進路セミナー、海外グローバルリーダー研修(5年)
5月	高校総体、中間試験、母校訪問(1年) フレッシュマンズキャンプ(1年)	11月	マラソン大会、期末試験 小学5年生対象体験学習会
6月	学校説明会、みらい探究全校成果発表会、 期末試験	12月	三者面談、冬季講習会(3～5年) 冬季学習会(6年)、予餞会
7月	中体連総体、三者面談、校外学習会、 夏季SUP(I期)	1月	百人一首大会 入学者選抜検査
8月	海外語学研修(3年)、夏季SUP(II期)、 学習合宿	2月	入学予定者オリエンテーション 社会人への取材活動(2年)、期末試験
9月	アカデミックキャンプ(2年)、関西伝統文化研修(3年)、 グローバルスタディーズキャンプ(4年)、体育祭	3月	卒業式、キャリアディスカバリー(3年) 終業式、春季学習会

教育研究所

1 概要

- (1) 根拠条例 伊勢崎市教育研究所条例（平成17年1月1日条例第95号）
伊勢崎市教育研究所条例施行規則（平成17年1月1日教育委員会規則第28号）

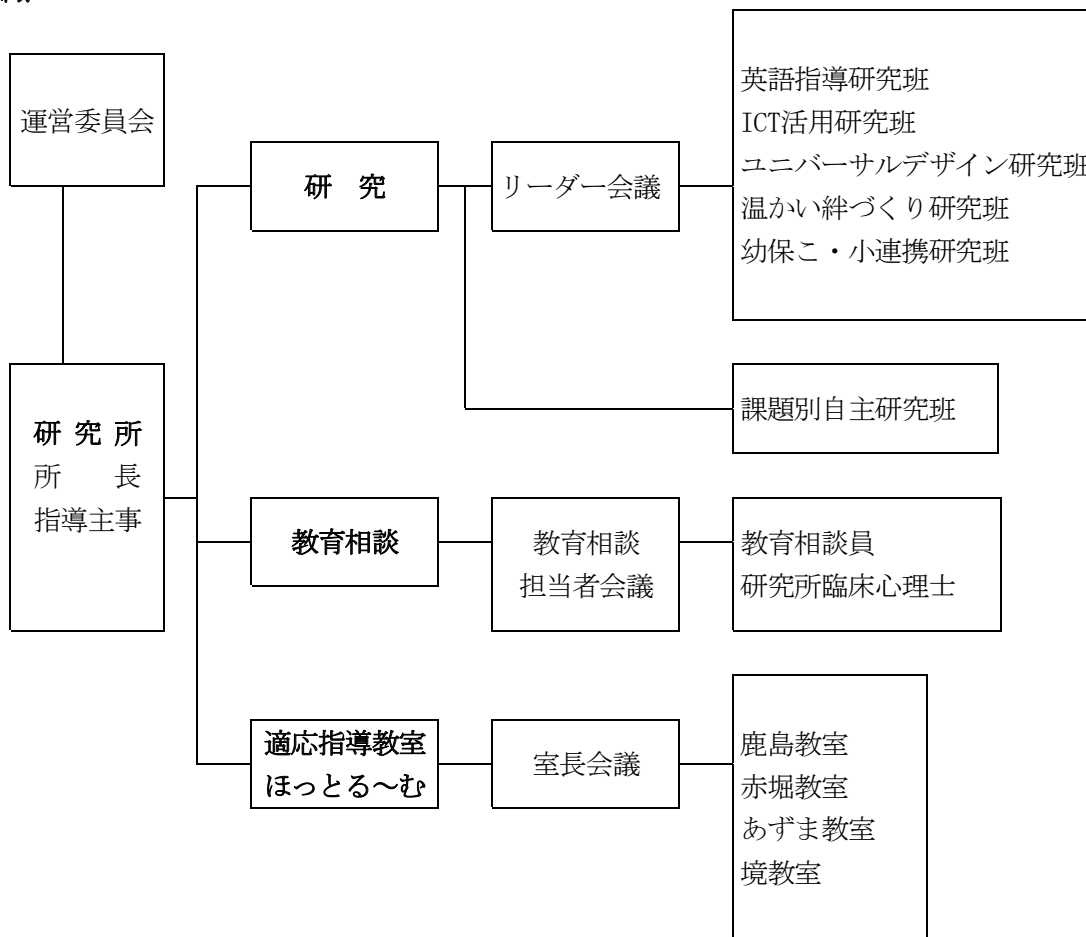
(2) 基本方針

伊勢崎市教育行政方針を踏まえ、教職員の資質の開発、向上及び学校教育の課題解決に寄与するために、研究事業、教育相談事業、不登校対策事業、研修講座事業、教育資料提供事業を実施する。

(3) 努力点

- ア 学校の教育課題の即時解決に向けた情報発信及び情報収集に努める。
- イ 教育相談体制の改善・充実に努める。
- ウ 不登校児童生徒の集団への適応力を培うために、体験活動を重視するなど子供に寄り添った指導を行う。

(4) 組織



- 〈運営委員会〉 小学校長顧問、中学校長顧問、幼稚園長顧問、
小学校教頭顧問、中学校教頭顧問、
学校教育課長、教職員係長、指導係長、管理主事、指導主事、
所長、研究所担当指導主事
- 〈リーダー会議〉 研究班リーダー、所長、研究所担当指導主事
- 〈教育相談担当者会議〉 教育相談員、研究所臨床心理士、研究所担当指導主事
- 〈室長会議〉 ほっとる〜む室長、所長、研究所担当指導主事、研究所臨床心理士

2 研究事業

(1) 研究班

ア 研究テーマ

- (ア) 英語指導研究班
「Can-Do リストを活用した効果的な振り返りの実践研究」
～パフォーマンステストを中核とした実践を通して～
- (イ) ICT 活用研究班
「情報を主体的に活用し、思考力を高め、学びを深める子供の育成」
～「情報活用能力」を育む継続的、系統的な指導実践と学びの質を高める ICT 端末の活用を通して～
- (ウ) ユニバーサルデザイン研究班
「全ての子供たちが進んで学べる授業のデザイン」
～教育のユニバーサルデザインの視点に基づいた工夫と実践～
- (エ) 温かい絆づくり研究班
「一人一人が力を発揮する自治的集団の育成」
～成功体験の積み重ねを通して～
- (オ) 幼保こ・小連携研究班
「幼保こ・小の滑らかな接続を図るための心のサポート」
～「自分らしさ」を表現できるようになるための教師のかかわりに視点をあてて～
- (カ) 課題別自主研究班（日本語指導研究班）
「日本語を使って、生き生き学び、夢や希望をもった児童生徒の育成」
～「わかる」「できる」「だいじょうぶ」を目指した指導・支援を通して～

イ 研究日及び研究時間 水曜日 15:30～16:45 (年間17回)

ウ 研究の報告
○随時、教育研究班だより等により発信。
○年度ごとに研究の記録としてまとめる。
○研究報告動画の配信

3 教育相談事業

(1) 教育研究所教育相談員による教育相談

- 学校及び「ほっとる～む」との連携に努める。
- 研究所臨床心理士と協力しながら教育相談に努める。

4 不登校対策事業

(1) 「ほっとる～む」の運営

- 児童生徒相互の関わり合いを深める活動を日常的に取り入れたり、乗馬体験や自然体験活動、スポーツ交流等を意図的・計画的に取り入れたりすることにより、集団に適応する力を培う。
- 研究所臨床心理士を活用し、専門家から得た助言等を指導・支援に生かす。
- 室長会議や教育相談研究協議会を定期的に開催し、「ほっとる～む」間及び「ほっとる～む」と学校との連携を図ることにより、不登校の未然防止・早期解決に努める。

(2) サポートケース会議

- 不登校児童生徒の自立及び学校復帰にかかわる諸問題の早期解決を目指し、心療内科医師、臨床心理士、児童相談所職員等の専門家を招聘し、今後の支援等について協議する。

(3) 教育相談研究協議会

- 学校関係者との共通理解の下、以下の内容について重点的に研究協議し、不登校・いじめの未然防止、早期発見に努める。
- ・「ほっとる～む」と学校・家庭・関係機関との具体的な連携のあり方について。
- ・不登校問題の未然防止、不登校の早期解決に向けた取り組み方について。

5 研修講座事業

(1) 教育相談研修講座

- 期 日 年間計画により実施（年5回5講座程度）
- 内 容 教育相談技術初級取得並びに教育相談技術の向上のための講座
- 対 象 各幼稚園、各学校から初級未取得者1名程度

(2) 幼保こ・小連携研修講座

- 期 日 7月28日（木）の午後実施
- 内 容 保育に関わる教職員の資質の向上、指導方法の工夫改善・充実。
保育と小学校の学びが滑らかに接続していける指導方法の工夫
- 対 象 市内公立学校園の教職員（市内私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園にも紹介）

(3) 夏季研修講座

- 期 日 8月2日（火）の午後実施
- 内 容 市教育課題の解決（社会で求められる能力等）
- 対 象 市内公立学校園の教職員

(4) 伊勢崎教師塾

- 期 日 6月2日（木）、9月6日（火）、11月18日（金）、1月20日（金）の午後実施
- 内 容 学校教育が抱える課題と改善策をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（臨時含む）

(5) 日本語指導研修講座

- 期 日 6月21日（火）、10月20日（木）の午後実施
- 内 容 外国籍児童生徒への理解を促進し、学校教育が抱える課題の解決を図るための講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（日本語教室担当者及び日本語教育研究班含む）

(6) 特別支援教育研修講座

- 期 日 6月7日（火）、9月13日（火）、1月31日（火）の午後実施
- 内 容 児童生徒の発達支援について、見立ての視点や情報整理の方法等をテーマに講師を招聘し、講習会を実施する。
- 対 象 市内公立学校園から参加者を募集（臨時含む）

6 教育資料提供事業

- (1) 教育資料の整備・充実
- (2) 学校及び市民への情報提供

7 その他

- (1) 群馬県総合教育センター、群教連、関教連との連携
- (2) その他の機関との連携

IV 学校給食



いせさきづくしの日の学校給食の様子（三郷小学校）

学校給食の充実

1 基本方針

栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することにより、発育期にある児童・生徒の心身の健全な発達と、健康の増進、体位の向上を図り、生涯にわたって生き生きと暮らすことができるようにすることが大切です。そのため、安心安全な学校給食を安定して提供することを心掛けています。

2 重点施策（令和4年4月1日現在）

(1) 令和4年度給食実施計画

ア 調理場の調理食数と給食対象校

調理場	給食対象校
第一東学校給食調理場 (調理食数 5,100 食)	あかぼり・あずま幼稚園、 赤堀・赤堀南・赤堀東・あずま・あずま南・あずま北小学校、 赤堀・あずま中学校
第一西学校給食調理場 (調理食数 5,600 食)	北・南・殖蓮・茂呂・三郷・北第二・殖蓮第二小学校、 第一・第三・殖蓮中学校、 特別支援学校（小・中学部）
第二学校給食調理場 (調理食数 5,400 食)	宮郷・名和・豊受・広瀬・坂東・宮郷第二小学校、 第二・第四・宮郷中学校
境第一学校給食調理場 (調理食数 1,100 食)	境・境東小学校、 境南中学校
境第二学校給食調理場 (調理食数 1,200 食)	境采女・境剛志小学校、 境北・境西中学校

イ 年間給食費及び徴収回数

幼稚園・小学校・小学部 年間44,400円を12回で徴収（月額3,700円）

中学校・中学部 年間53,000円を12回で徴収

（月額4,500円ただし3月分は3,500円）

学校給食に要する経費については、学校給食法において人件費・施設設備費等は設置者が負担し、食材料費は保護者が負担することとなっている。

令和元年度より、第3子以降学校給食費の助成を開始。

同一世帯の18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者を3人以上養育しており、かつ、第3子以降の児童生徒が小中学校等（市外を含む）に在籍している、給食費に滞納がない、年間を通して他制度による給食費の助成を受けていない人が対象。

ウ 給食（調理場稼動）日数 197日

エ 栄養摂取基準量

区 分	小 学 校 (中学年)	中 学 校	1日の栄養所要量に対する学校給食の割合 (%)
エネルギー (Kc a l)	650	830	33
たんぱく質 (g)	学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%		摂取エネルギーの13%~20%
脂質 (%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20%~30%		摂取エネルギーの20%~30%
食塩相当量 (g)	2未満	2.5未満	33%未満
カルシウム (m g)	350	450	50
鉄 (m g)	3	4.5	40
マグネシウム (m g)	50	120	小学校 33 中学校 40
食物繊維 (g)	4.5以上	7以上	40%以上
亜鉛 (m g)	2	3	33
ビタミンA (μ g RE)	200	300	40
ビタミンB1 (m g)	0.4	0.5	40
ビタミンB2 (m g)	0.4	0.6	40
ビタミンc (m g)	25	35	33



行事食～学校給食ぐんまの日

【献立名】

上州かみなりごはん、
厚焼きたまご、ごま昆布和え、
おっきりこみ、牛乳

オ 学校給食運営委員会 委員数 15人

事業計画に関する事項、学校給食費に関する事項、その他学校給食センターの運営に関し、必要な事項を審議する。会議は、年2回以上開催する。

カ 学校給食衛生委員会

調理場の衛生管理状況を確認するため、学校給食運営委員会と兼ねて開催。保健福祉事務所や学校薬剤師会、群馬県教育委員会など外部機関から調理場への衛生指導内容と、調理場の改善案等を審議する。

(2) 学校給食を活用した食育指導の充実

ア 栄養教諭、学校栄養職員による食に関する指導の実施

給食時の訪問指導をはじめ、給食だよりの配布、PTA試食会での講話、T・T授業など学校と連携した指導を実施。

イ 学校給食年間指導計画

令和4年度の教育行政方針に基づき、学校給食の充実を図るため、学校給食年間指導計画を作成し、成長過程にある児童・生徒が、食生活の正しい理解と望ましい食習慣を身に付けられるよう、栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導を行う。

ウ 市内産農産物を使用した給食の提供

児童生徒が地域の農業や食文化について興味や関心を持つきっかけとなるよう、学校給食では市内産農産物を積極的に使用する。

令和4年度 学校給食年間指導計画（令和4年4月1日現在）

月	目 標	ね ら い	学級訪問 放送資料 掲示物 等	献立作成		
				献立作成 の留意点	おもな行事	群馬県の伝統食 日本の郷土料理 世界の料理 リクエスト給食
4	給食について知ろう	給食時の身支度や配膳の方法、食事のマナーを知り、楽しい学校給食にする	学校給食について・入学、進級祝い・ソースカツ・千葉県	旬の食べ物	入学・進級	群—ソースかつ 郷—千葉県
5	衛生に注意しよう	正しい手洗いや身支度、食中毒予防について考える	衛生について・端午の節句・子供洋食・長崎県・中国	日本型食生活	端午の節句	群—子供洋食（ポテトのソース炒め） 郷—長崎県 世—中国
6	よくかんで食べよう	歯の働きについて知り、よくかんで食べることの大切さを知る	歯と口の健康週間・食育月間・混ぜごはん・奈良県・韓国	かみごたえのある食べ物	歯と口の健康週間	群—混ぜごはん 郷—奈良県 世—韓国
7・8	夏の健康と食生活について考えよう	夏の食事と健康について考え、暑さに負けない体をつくる	夏の食事について・七夕・沖縄県	食欲増進	七夕	郷—沖縄県 いせさきふるさと給食
9	食生活の見直しをしよう	朝食の大切さを知り、望ましい食習慣を身につける	鉄分について・ごまよごし・イタリア・熊本県・くわまる誕生日(9/8)十五夜(9/24)	鉄分強化	お月見	群—ごまよごし 郷—熊本県 世—イタリア
10	群馬県の食と農を知ろう	群馬県や伊勢崎市の特産物について知り、食と農に興味や関心を持つ	学校給食ぐんまの日・焼きまんじゅう・愛知県	地場産物活用	学校給食ぐんまの日	群—焼きまんじゅう 郷—愛知県
11	感謝して食べよう	食べ物の命や、給食が届くまでに関わる人へ感謝して食べ、食べ残しについて考える	食物繊維について・いせさき家族でいただきますの日・すきやき・青森県	食物繊維強化	収穫祭	群—すきやき 郷—青森県 リクエスト いせさきふるさと給食
12	冬の健康と食生活について考えよう	冬の食事を考え、寒さに負けない体をつくる	体を温める食材について・冬至・呉汁・秋田県	ビタミン強化	冬至	群—呉汁 郷—秋田県
1	給食の歴史を知ろう	給食の生い立ちと歩みを知り、給食に関心を抱く	学校給食週間・小正月・おつきりこみ・イギリス	旬の食べ物	小正月 学校給食週間	群—おつきりこみ 世—イギリス いせさきふるさと給食
2	バランスの良い食事をしよう	バランスのよい食事について知り、好き嫌いをなく食べる	大豆・大豆製品について・節分・伊勢崎銘仙・北海道	大豆・豆製品の活用	節分	群—伊勢崎神社コロッケ 郷—北海道 リクエスト
3	1年間の給食の反省をしよう	自分の食生活を見直し、改善しようという意欲を持つ	食生活を振り返ろう・ひな祭り・卒業祝い・すいとん・香川県	栄養バランス	ひな祭り 卒業祝い	群—すいとん 郷—香川県

月	地場産・季節の食べもの	教科・学級活動 (食生活教材)	家庭・地域との 連携
4	～春～ みつば・春キャベツ・たけのこ・ にら・さわら・新玉ねぎ・ 清見オレンジ他	学活 楽しい給食が始まるよ(小1)	給食だより
5	～春～ アスパラ・たけのこ・さやえんどう・ 夏みかん・グリーンピース・あじ・ かつお・河内晩柑・いわし他	保健 けがの防止(小5) 保健 病気の予防(小6) 家庭科 見直そう！毎日の食事(小6) 学活 望ましい食習慣を身に着けよう(中1) 学活 食の自己管理を身に着けよう(中3)	給食だより
6	～夏～ アスパラ・トマト・夏ごぼう・ たまねぎ・かぼちゃ・とうもろこし・ 枝豆・たこ・梅・さくらんぼ他	学活 おはようんち(小3) 学活 よくかんで食べよう(小4) 学活 食の自己管理能力を身に着けよう(中2)	給食だより 「食育月間」
7・8	～夏～ ピーマン・パプリカ・いんげん・ かぼちゃ・じゃがいも・ゴーヤ・ ズッキーニ・とうもろこし・枝豆・ なす・すいか・たこ・夏ごぼう他	保健 けんこうな生活(小3) 保健 育ちゆくわたし(小4) 学活 おいしいおやつどんな食べ方がいいのかな (小2)	給食だより
9	～初秋～ 秋なす・いわし・かつお・きのこ・ かぼちゃ・さといも・たちうお・ ぶどう・ブルーベリー・おはぎ・なし他	社会 はたらく人とわたしたちの暮らし(小3) 社会 住みよいくらしをつくる(小4) 学活 やさいとなかよし(小2) 学活 一日のスタートは朝ごはんから(小5)	給食だより
10	～秋～ さつまいも・きのこ・ごぼう・ ぎんなん・ちんげんさい・ れんこん・さといも・ 栗・さんま・さけ・さば・柿・りんご他	家庭科 まかせてね！きょうのごはん(小6) 学活 家庭や地域に伝わる料理を大切にしよう(小4) 学活 郷土料理を知ろう(中2)	給食だより 「学校給食ぐん まの日」
11	～秋～ さつまいも・さといも・ごぼう・ きのこ・さけ・さば・ほっけ・りんご他	国語 すがたを変える大豆(小3) 国語 アップとルーズ(小4) 学活 元気のみみつはなあに？(小1)	給食だより 「感謝して食べ よう・いただきま すの日」
12	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ブロッコリー・下植木ねぎ・春菊・ ごぼう・かぶ・ぶり・みかん他	学活 健康を考えたおやつ(小6)	給食だより
1	～冬～ ほうれん草・小松菜・白菜・ ねぎ・にんじん・ブロッコリー・ カリフラワー・水菜・キャベツ・ 春菊・ぶり・わかさぎ・鮭他	学活 日本食のよさをみつけよう(小5)	給食だより 「給食の歴史を 知ろう」
2	～冬～ 大根・小松菜・菜の花・水菜・ カリフラワー・さわら・ あさり・いよかん他	学活 バランスよく食べよう(小3) 学活 どんな食べ方がいいのかな(小6)	給食だより
3	～春～ 菜の花・キャベツ・あさり・ ほたて・にしん・いちご他		給食だより

3 令和3年度実績

(1) 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導の推進

(ア) 給食時の指導

	調理場名	回数
1	第一東学校給食調理場	34回
2	第一西学校給食調理場	2回
3	第二学校給食調理場	104回
4	境第一学校給食調理場	0回
5	境第二学校給食調理場	17回

(イ) その他の指導

	主な指導内容	回数
1	学校保健委員会等における講師	14回
2	小・中学校家庭科授業等の講師	14回
3	PTA等給食試食会の講師	0回
4	PTA等給食試食会の参加者	0人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導を最小限としました。

(2) 伊勢崎市産農産物（野菜等）を活用した給食の提供

調理場地区	令和2年度実績			調理場地区	令和3年度実績		
	総使用量	市内産使用量	比率		総使用量	市内産使用量	比率
伊勢崎地区	271,800kg	136,600kg	50.3%	伊勢崎地区	340,300kg	162,100kg	47.6%
赤堀・東地区	124,500kg	57,500kg	46.2%	赤堀・東地区	158,700kg	69,400kg	43.7%
境地区	57,300kg	24,300kg	42.4%	境地区	70,300kg	31,200kg	44.4%
全地区	453,600kg	218,400kg	48.1%	全地区	569,300kg	262,700kg	46.1%

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4、5月、6月1週目の給食提供はありませんでした。



学校に配布した「いせさきづくしの日」のチラシ

V 生涯学習



生涯学習のイメージ
キャラクター「マナビィ」



宮郷小学校放課後子供教室「英語教室」

生涯学習の充実

1 基本方針

市民の多様な学習意欲に応え、市民が主体となった学習機会を支援することで、いつでもどこでもだれもが生きがいを持ち学べる環境づくりに努めます。

2 重点施策

(1) 市民が主役の生涯学習の充実

- ア 学習活動の支援
- イ 学習機会の拡充
- ウ 学習環境の充実

(2) 子供の徳育の充実

- ア 家庭や地域との連携による心の育成
- イ 地域ぐるみの子供の健全育成

3 令和3年度事業実績

(1) 市民が主体となった学習機会の支援

ア 学習支援体制の整備

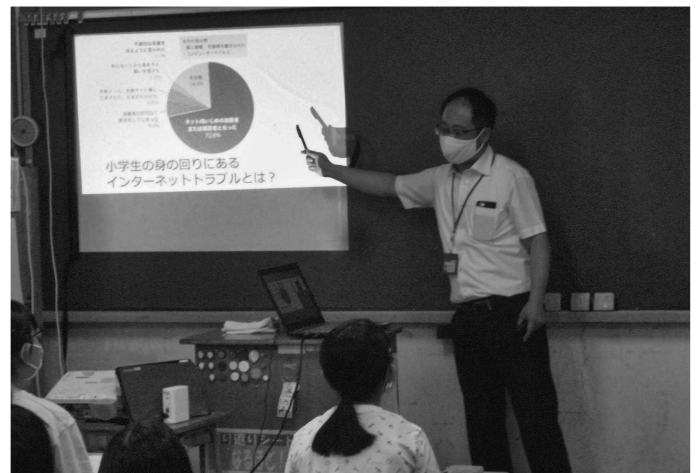
(ア)生涯学習支援事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習大会	例年、市民が自己の生活を充実させ、生きがいのある生活を見い出すために生涯学習大会を開催し、併せて、生涯学習推進関係者の研修の一環とすることで、地域の生涯学習活動の推進を目指している。 ○講演と落語 講師 落語家 林家木久蔵 「木久蔵流 笑うが一番」	1月15日 中止	市民	0人
出前講座	「伊勢崎をもっと元気に、もっと豊かに、もっと安全に」のまちづくりを基調に、市民の学習活動を支援するために、市民の求めに応じて市職員を講師として派遣し、市の施策等を情報提供した。 37課、71のメニュー、申し込み件数29件	4月～3月	市民	890人

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習支援ボランティアまなびい先生	<p>地域で活動している人たちの知識や技術・技能を登録、データベース化し活用していくことで、「いつでも」「どこでも」「だれもが」「なんでも」教え合う市民版出前講座を開設し、市民の手による学びの輪を広げ学習機会の充実をめざした。</p> <p>まなびい先生登録者 70人 メニュー数 97件 活用件数 4件</p>	4月～3月	市民	85人
	<p>楽しく学びを実践していくために、生涯学習支援ボランティアまなびい先生自らが企画し、市民へ身近な学びの場を提供する「まなびい先生自主企画事業」を開催した。</p> <p>13講座 延べ30回</p>	4月～3月	市民	250人
高等教育機関との連携事業（公開講座）	<p>例年、地域の教育的機能を持つ上武大学並びに東京福祉大学との連携を図り、市民の自己啓発を推進するための公開講座を開催している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上武大学 ・東京福祉大学 	上武大学 中止	市民	0人
		東京福祉大学 中止	市民	0人
生涯学習だより「まなびい」の発行	<p>編集ボランティアの協力を得て、生涯学習情報誌「まなびい」を年1回発行し、毎戸回覧している。</p> <p>編集ボランティア 6人 編集会議 3回</p>	発行日 3月1日	市民	発行部数 7,300部



まなびい先生自主企画事業
「レースカバー型おしゃれマスク作り講座」



出前講座「親子で学ぶ人権講座」

イ 公民館による学習機会の提供

市民にとってもっとも身近な社会教育施設（生涯学習施設）として、利用者ニーズを把握しながら各種学級・講座を企画実施し、学習機会の提供を行いました。

また、生涯学習ボランティアなど地域活動サークルの育成や各種行政団体等との連携を行いました。

(ア) 公民館運営審議会

社会教育法第 29 条に基づく公民館運営審議会を設置し、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議を行いました。

◆構成メンバー 学校教育関係者 1 人、社会教育関係者 21 人、家庭教育の向上に資する活動を行う者 3 人、学識経験者 5 人の計 30 人

◆開催回数 2 回

(イ) 公民館による学級・講座開設

事業名	主な内容	参加者数	実施公民館
セカンドライフセミナー	急激に変化する社会の中で、高齢者が豊かで生きがいのある生活を過ごす学習をしました。(お片付け講座等)	415 人	北、南、殖蓮、三郷、宮郷、名和、赤堀、あずま、境、境剛志、境島村、境東
女性学級	女性としての視野を広め、社会における役割を考えました。(ビーズアクセサリ教室・フラワーアレンジメント教室等)	380 人	北、南、殖蓮、茂呂、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境剛志、境島村、境東
家庭教育学級	幼稚園児、小中学校の児童生徒の親を対象に、心身ともに健康な子供の育成を目指して、子供の育て方、親のあり方を学びました。(親子体操教室・読み聞かせ教室等)	1,303 人	北、南、殖蓮、三郷、宮郷、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境東
市民講座	多角的な視点からの学習を通して、総合的な教養と学習意欲の充実を図りました。(応急手当講習会・クラフトバンド教室等)	1,355 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村
子どもクラブ	様々な活動を通して、子供たちの自主性、社会性を養いました。(おもしろ科学教室・子ども絵画教室等)	1,592 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村
健康促進講座	スポーツ等を通して地域住民の交流と健康増進を図りました。(ヨガ教室・ストレッチ教室等)	332 人	北、南、殖蓮、茂呂、宮郷、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境東
I T 講習	I T 社会に住民が十分対応できるよう基礎技能を修得しました。(ワード、エクセル講座・タブレット体験講座等)	671 人	北、南、殖蓮、茂呂、三郷、宮郷、名和、豊受、赤堀、あずま、境、境采女、境剛志、境島村、境東

(ウ) 地域団体等との連携

各公民館が地域の各種行政団体、青少年育成関係団体、社会体育関係団体と連携を図り、納涼祭や文化祭、運動会等、地域住民の交流を支援し、地域づくり、ふるさとづくりの推進に努めました。

(工) 公民館の利用状況

公民館名	公民館事業		サークル支援事業			各種団体事業		計	
	主催・共催事業 (学級・講座)		サークル活動			各種団体活動			
	開催 件数	利用 者数	サー クル 数	利用 件数	利用 者数	利用 件数	利用 者数	開催 ・ 利用 件数	利用 者数
北	件 28	人 550	団体 56	件 813	人 7,718	件 105	人 1,606	件 946	人 9,874
南	35	271	42	544	6,236	111	1,280	690	7,787
殖蓮	48	1,695	55	671	8,390	208	4,676	927	14,761
茂呂	41	483	40	571	5,391	202	4,677	814	10,551
三郷	34	547	40	563	5,432	218	7,929	815	13,908
宮郷	42	542	64	1,173	12,620	296	6,124	1,511	19,286
名和	25	315	32	484	3,845	157	4,239	666	8,399
豊受	21	204	39	574	4,473	156	5,526	751	10,203
赤堀	51	997	38	512	3,803	146	1,969	709	6,769
あずま	79	1,087	74	974	8,619	69	2,324	1,122	12,030
境	29	377	60	1,005	7,579	118	1,399	1,152	9,355
境采女	15	140	23	331	2,122	110	2,519	456	4,781
境剛志	22	281	31	513	4,981	42	1,562	577	6,824
境島村	9	60	16	137	1,089	37	812	183	1,961
境東	18	230	32	507	4,140	74	1,567	599	5,937
計	497	7,779	642	9,372	86,438	2,049	48,209	11,918	142,426



(学社) 間伐材工作講座



市民講座「親子でビオトープを歩こう！」

(2) 生涯学習推進体制の整備

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
生涯学習推進協議会	生涯学習の推進に関する施策について広く市民の意見を求めるとともに、生涯学習の普及を図るため。	6月22日 書面審議	委 員	34人
生涯学習推進協議会幹事会	推進協議会の下部組織として生涯学習に関する計画・立案及び調整を行う。	4月22日	委 員	16人
生涯学習推進員	地域住民のニーズや実態に応じた生涯学習活動の世話役として区長より推薦され、その役割は行政区にある既存の生涯学習活動への支援、学習情報の提供、地域の人材発掘と活用など、地域における生涯学習のまちづくりの中心として生涯学習推進の一翼を担う。	年 間	生涯学習推進員	170人
生涯学習推進員研修会	例年、地域の学びのボランティアとして活躍する生涯学習推進員の資質の向上を目指すため、講演会を行い市民の自己啓発を図っている。	9月 中 止	生涯学習推進員	0人
生涯学習推進事業	地域に根ざした生涯学習の確立を目指し、各行政区の生涯学習推進員さんを中心に、市民一人ひとりが生きがいをもって積極的に参加できる身近な学習づくりを推進するために具体的な活動を展開する。(各行政区と生涯学習推進事業委託を結び推進している)	年 間	市 民	170行政区
赤石楽舎活用推進事業	赤石楽舎の利用については、北小学校の児童が授業で使用したり、地域の文化・スポーツサークルの方々が、子供達を交えた活動を行ったりしている。 また、生涯学習支援ボランティアまなびい先生による自主企画事業を実施した。また、例年、伊勢崎燈華会、伊勢崎銘仙の日等の市民団体によるイベント会場としても活用されている。	利用者数 年 間	市 民 子 供	利用件数 1,116件 利用者数 85,868人
	赤石楽舎「サマーフェスタ」 例年、七夕まつりの開催に合わせ、読書サポーターによる絵本の読み聞かせ、まゆドーム職員による体験活動、NPO法人による講座等を実施している。	サマー フェスタ 7月 中 止	市 民	来場者0人

(3) 社会教育の充実

充実した余暇を過ごすために、今日的な課題や社会連帯の意識の高揚、積極的な社会参加、生きがいを実現するための学習をとおして、社会の変化に対応し、心豊かな市民の育成をめざす。

ア 社会教育委員会議の開催

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から選出され、社会教育に関する諸計画を立案、審議した。

委員 20人 開催回数 4回（うち書面審議2回）

イ 子供の健全育成と家庭教育の充実および地域づくりへの支援

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数
子供の健全育成	少年の主張大会	6月25日	中学生 市民	発表者 12人 参加者 67人
	放課後子供教室推進事業	5月～ 12月	対象者	児童 北小 延べ 243人 南小 延べ 189人 三郷小 延べ 99人 名和小 延べ 325人 坂東小 延べ 173人 境采女小 延べ 412人 赤堀東小 延べ 240人 境東小 延べ 52人 宮郷小 延べ 122人 協働活動支援員等 北小 延べ 71人 南小 延べ 73人 三郷小 延べ 56人 名和小 延べ 61人 坂東小 延べ 48人

事業名	趣旨	実施期日	対象	参加者数	
				境采女小 延べ 86人 赤堀東小 延べ 67人 境東小 延べ 37人 宮郷小 延べ 55人	
	特別支援学校等青年教室	例年、特別支援学校等卒業生の青年を対象に手をつなぐ育成会と連携を図り、社会人として自立していくための事業（ミュージックケア、読み聞かせ、クリスマス会）を開催している。	10月～12月中止	対象者	0人
	定時制教育振興事業	伊勢崎佐波地区における定時制教育の振興を図る、生徒への文化、スポーツ活動を支援した。	4月～3月	対象者	91人
子供の健全育成	親子ふれあい事業	未来を担う子供たちが心身ともに健やかに成長することを願い、観察、採集、栽培、実験など自然に関わる事業、リサイクル、自然物を利用した手作りによる工作等の親子ふれあい事業を実施した。 体験学習 34事業 34日間実施	4月～3月	親子	参加者 1,136人
家庭教育振興事業	家庭教育人権教育推進委託事業	幼稚園・小中中等特別支援学校PTAに対し、家庭教育と人権教育の推進事業を委託した。	4月～3月	幼稚園・小中中等特別支援学校PTA会員	
	市P連理事・女性委員合同研修会	市P連理事・同女性委員、本部役員、会員希望者対象に家庭教育に関する講演会をオンライン形式により実施した。	1月19日	市内小・中学校PTA会員	40人



少年の主張大会



親子ふれあい事業

ウ 人権教育・啓発の推進

市民の人権問題に対する理解・認識をさらに深めるため、学習の場の提供を積極的に図るとともに、集会所管理運営事業のより一層の充実を図る。

(ア) 人権教育推進委員会

人権教育及び人権啓発の積極的な推進を図り、女性、子供、高齢者、障害者、同和関係者、外国籍の人等の様々な人権問題の解決に努めるため、伊勢崎市人権教育推進委員会を設置。

委員構成は、33人以内 内訳は、学校教育関係者9人以内、PTA会長5人以内、その他教育委員会が適当と認める者10人以内、市職員9人以内。

(イ) 人権教育啓発事業

事業名	趣 旨	実施期日	対 象	参加者数
PTA家庭教育人権教育推進委託事業	家庭教育の主役であるPTA会員を対象として、正しい人権教育の理解を図り「家庭における人権教育」を推進することを目的に実施する。	4月～3月	幼稚園・小中中等教育特別支援学校PTA会員	
集会所における人権問題学習講座	例年、市内6集会所において、人権に関するビデオの視聴や講座を開催している。	5月～9月中止	市民	0人
親子で学ぶ人権問題学習講座	例年、「夏休み親子ビデオシアター」として、夏休みに親子を対象にした人権に関するビデオの視聴を6集会所において実施している。	8月中止	市民	0人
人権のまちづくり講演会	市民を対象とした啓発事業。動画配信による形式で講演会を実施。	8月	市民	
地区別人権学習会	地区毎に巡回した啓発事業。人権啓発資料の紹介や講演会を行い、市民の人権意識の高揚を図る。(伊勢崎市人権学習会としてオンライン形式により1回実施)	10月8日	市民	54人
人権について考える集い(隣保館集会所事業成果発表会委託事業も同時開催)	例年、基本的人権にかかわる人権・同和問題について、市民一人ひとりに正しい理解と認識を深めていただくために、講演会と隣保館集会所事業成果発表会を開催し、「差別のない明るい社会」を目指すものとする。	1月22日中止	市民	0人

人権啓発ポスター、人権啓発標語の募集（人権啓発カレンダー作成）	小・中学生から人権啓発ポスターと人権啓発標語を募集し、子供たちの人権に対する興味や関心を高めるとともに、その優秀作品等で人権啓発カレンダーを作成し、市内全校児童生徒に配布した。併せて人権啓発イベント等での作品展示を行った。	人権啓発ポスター 7月～9月 人権標語 12月	小中学生	人権啓発ポスター 小学生 371点 中学生 318点 人権標語 小学生 11,097点 中学生 ・特支 5,793点
---------------------------------	---	--------------------------------------	------	--

(ウ) 集会所管理運営事業

運営委員会に事業運営を依頼し、人権問題ビデオ学習会や交流教室等を開き、人権問題の早期解決をめざす。

施設名	事業名					参加者数
	内容	回数	交流教室	講座数	実施回数	
今井町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	8	113	1,658人
道伝集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	2	41	190人
宮子町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	10	148	1,348人
柴町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	9	90	787人
連取町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	6	55	414人
三室町集会所	人権問題学習講座	0	交流教室	8	91	617人
総計		0		43	538	5,014人

4 文化の振興と発信

(1) 公民館文化事業の充実

ア 公民館サークル等作品展の開催

公民館利用サークルを中心とした地区の文化活動の成果を公開することにより、広く市民に対して公民館活動の認識を深めるとともに、より一層の公民館活動の活性化を図るため、公民館作品展を開催しました。

作品展出品数	158点
入場者数	263人
芸能発表出演者数	0人
入場者数	0人



第51回三郷地区住民総合作品展

関連施設

(1) 広瀬生涯学習館

利用状況：開館日数 359 日

学習館主催事業		サークル支援事業			その他		合計	
開催件数	利用者数	サークル数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	開催・利用件数	利用者数
件 0	人 0	団体 50	件 897	人 7,662	件 131	人 503	件 1,028	人 8,165

(2) あずまホール

利用状況：開館日数 335 日

	利用件数 (件)	利用者数 (人)
音楽	8	486
舞踏	3	771
演芸会	1	135
大会	4	536
講演会	0	0
研修会	1	0
練習	179	3,258
準備	3	62
その他	0	0
合計	199	5,248

※利用件数についてはキャンセルを含む



シュワシュワ入浴剤づくり

(3) 青少年育成センター

利用状況：開館日数 335 日

	日帰り	宿泊	合計
利用件数	803 件	5 件	808 件
利用者数	10,601 人	106 人	10,813 人

主催事業

実施日	事業名	参加者数
7月18日	ガラスエッチング教室	20人
10月10日	ピカピカどろだんごづくり	20人
11月14日	シュワシュワ入浴剤づくり	20人
12月19日	オリジナルカップづくり	20人
1月16日	オリジナルお皿づくり	20人
2月13日	宝石せっけんづくり	18人
合計		118人

図 書 館

図書館サービスによる生涯学習の推進

伊勢崎市の図書館は、伊勢崎市図書館、赤堀図書館、あずま図書館、境図書館の4館と伊勢崎市図書館のサービスポイントである市民プラザ図書室で構成されている。

伊勢崎市図書館は、大正10年4月伊勢崎尋常高等小学校（現北小学校）の附属図書館が町立図書館として認可された。昭和11年4月に篤志寄付により校庭の一角に新築されたが、戦災により焼失した。その後再建されるが、昭和52年現在位置に新築移転した。他の3館は公民館図書室に由来する。赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設として平成7年4月に開館、あずま図書館は平成11年4月に現在位置に新築開館した。境図書館は昭和38年8月旧町役場跡に開館し、敷地の寄付を受け昭和61年6月現在位置に新築移転した。平成19年4月から赤堀図書館に指定管理者が指定された。

平成23年4月機構改革により図書館課が新設され、管理係、奉仕係が設置された。また、平成29年4月より、生涯学習課から「読書の街いせさき」推進事業が移管された。

令和3年には伊勢崎市図書館が開館100周年を迎えた。

	伊勢崎市図書館	赤堀図書館	あずま図書館	境図書館
竣 工 年 月 日	昭和51年11月	平成2年9月 平成7年4月(設置)	平成11年3月	昭和61年3月
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り	鉄筋コンクリート造り
敷 地 面 積	6,158.94 m ²	—	4,790.21 m ²	4,557.49 m ²
延 床 面 積	2,762.41 m ²	400.50 m ²	1,837.85 m ²	1,433.90 m ²
学 習 室	100席	コーナー	コーナー及び24席	コーナー及び講座室
調 査 相 談 室	18席	コーナー	コーナー	コーナー
軽 読 書 コ ー ナ ー	有	有	有	有
新 聞 雑 誌 室	有	無	有	有
視 聴 覚 コ ー ナ ー	無	有	有	有
資 料 展 示	有	ロビー(共用)	ロビー	境絹の館
集 会 室 ・ 会 議 室	集会室約100席	会議室20席(共用)	視聴覚室約100席	講座室46席
駐 車 場	90台	105台(共用)	57台	28台

赤堀図書館は赤堀芸術文化プラザとの複合施設

1 基本方針

家庭、地域、学校との連携を深めながら、それぞれの図書館の特色を生かし、市民の芸術文化の高揚と生涯学習を支援する情報の発信基地として奉仕活動に努めた。

2 重点施策（読書の街づくりの推進）

(1) 豊かな心を育む読書活動の推進

- ア 読書を通し、人・文化を育む図書館
- イ 地域・市民が交流し集う図書館

(2) 図書館の特色を活かした事業の展開

- ア 生活・仕事の課題解決に役立ち、
地域に生きる図書館

(3) 小中学校図書室との連携

- ア 図書館と学校図書室との連携促進



100周年を記念して募集した
ロゴマークとキャッチコピー

3 令和3年度事業実績

(1) 図書館協議会

図書館協議会は、館長の諮問に対して答申を行う諮問機関である。定員は10人で、構成は学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、家庭教育の向上に資する活動を行う者4人、学識経験者4人からなる。令和3年度は会議を2回開催、研修会を1回実施した。

○第1回 令和3年7月9日（金）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員10人

委嘱状交付

令和2年度事業報告について

令和3年度教育行政方針（図書館）について

令和3年度事業計画について

○第2回 令和3年12月18日（土）家族ふれあい読書新聞コンクールの受賞者発表を聞く研修会を実施 伊勢崎市図書館集会室 出席委員9人

家庭における子供たちの読書活動や図書との関わり等について更に理解を深めた。

○第3回 令和4年3月17日（木）午後2時 伊勢崎市図書館集会室 出席委員10人

令和3年度事業報告について

令和4年度事業計画について

(2) 図書館資料の構成・貸出

ア 蔵書構成

購入22,937点、寄贈1,775点等の受け入れと、20,329点の除籍等を行い、全館所蔵点数は689,501点である。

一般図書の構成は、全館通して文学の割合が高く、約44%を占めている。特に境図書館で約51%と高くなっている。文学以外では、全館で社会科学が約11%と割合が高く、次いで芸術、歴史の順となっている。

児童書では、文学と絵本に重点を置いた構成となっており、合わせて約70%を占める。特に、境図書館では文学の割合が高く約35%となっている。

視聴覚資料では、全館ともビデオテープが減少し、DVDが増加している。これは利用者の映像鑑賞機器の変化に伴うものであり、蔵書についても、これらに対応した傾向となっている。

イ 貸出

貸出数は821,962点で、前年度と比較して約30%増加した。また、貸出人数は152,840人で、前年度と比較して約25%増加した。

貸出の利用者の世代を表す特徴としては、40歳～49歳が全体の約18%を占めている。

市内幼稚園、保育園、放課後児童クラブ等の児童関連施設、社会福祉施設等へ向けて、図書館から図書を届ける、若しくは来館により貸し出している。今後もより多くの市民により広く図書が届くようサービスを展開していきたい。

ウ 学校連携

平成27年11月から小中学校へ向けて、学校支援サービスを開始した。本の提供サービスとして、児童・生徒、先生が必要とする資料を選書のあと配送し回収する。令和3年度は75回の配送を行った。学校図書室へのサービスとしては、さまざまな情報を発信しながら、学校図書室事務職員の相談に応じ、より効果的な学校図書室の運営を支えていく。学校現場に寄り添い充実したサービスとしていきたい。

また、学校における読書推進をサポートする取り組みとして、平成29年度から学校専用の「読書通帳」の配布を開始した。

エ 視覚障害者サービス

視覚に障害があり活字を読むことが困難な人を対象に、希望する図書等をボランティアの協力のもとに朗読テープを作成し、貸し出している。令和3年度の貸出数は、朗読テープ422点、CD 15点で、利用者は延べ28人だった。

オ 配達サービス

来館が困難である高齢者・障害者及び介護保険制度での「要支援」以上の市民を対象に、図書やCD等を自宅まで届けるサービスで、貸出期間は通常と同じ2週間である。令和3年度の貸出数は、図書1,027点で、利用者は延べ308人だった。

カ インターネット・館内利用者端末（OPAC）予約

インターネット予約の件数は、全館で58,931件で、全予約件数の約75%を占めている。また、平成27年度から館内利用者端末（OPAC※）での予約が可能となり、令和3年度は全館で5,695件の予約を受付した。

※ OPAC（Online Public Access Catalog オンライン蔵書目録）とは一般の利用者が図書館内で蔵書検索できる端末のこと

(3) 事業報告

ア ブックスタート

10か月児健康相談の会場で、読み聞かせをしながら赤ちゃんと保護者に絵本をプレゼントし、絵本を開く楽しい体験とともに心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動であるが、感染拡大防止のため読み聞かせは行わず、10か月児健康相談の際に絵本の配布のみ行った。

令和3年度は絵本を2冊と、子育てアドバイス集と一緒に配布した。配布数は、健康管理センターで2,652冊、赤堀保健センターで2,424冊計5,076冊だった。

イ 読み聞かせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、図書館における対面での読み聞かせは全館で中止した。

家庭で少しでも読み聞かせに親しんでもらえるように、読み聞かせ動画の配信を行った。動画の配信にあたっては著作権者の了解をいただける作品を使用し、子ども向け読み聞かせ動画を「としょかんこども会」として4本配信した。

また、図書館に寄贈された郷土の民話の紙芝居や絵本を使用した動画を「郷土の民話」として2本、その他、図書館応援団自主事業として1本の動画を配信した。



ウ 親子で参加できる事業

本や図書館に触れるきっかけとなるような、親子で楽しく参加できる事業を、感染症対策を徹底しながら実施した。

赤堀図書館では「みんなでシネマ」、あずま図書館では子ども向けに「アニメシアター」、境図書館では「親子映画会」として映画の上映を行った。

エ いせさき学習堂・こどもいせさき学習堂

伊勢崎藩の藩校・学習堂が現在の伊勢崎市図書館付近に立地し、民間の学校である「郷学」を支援するなど江戸期の伊勢崎の教育を牽引する役割を担っていたことに因み図書館から学びを発信しようと、図書館で実施する各種講座を「いせさき学習堂」、子供向け講座を「こどもいせさき学習堂」と冠して実施した。いずれの講座も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面・オンラインを併用することで実施した。

【いせさき学習堂】

11月13日に文学・歴史講座「明治維新はなかった!？」を、1月13日から3月17日まで古文書

入門講座（全8回）を、郷土文化講座として3月5日に「資料が語る徳江製糸場」を実施した。

【こどもいせさき学習堂】

夏休み期間に合わせて、「読書感想文の書き方講座」を開催した。また、「調べる学習応援講座」（オンライン）を実施した。

オ 一日図書館員

図書館に対する理解を深めることを目的とする事業であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

カ 各種講座・教室

伊勢崎市図書館において、10月23日に横山秀夫著「真相」をテキストとした市民読書会を実施した。

キ 企画展示

伊勢崎市図書館では展示室で、「伊勢崎市図書館100年のあゆみ」（10月16日～11月14日）や、他部課と連携して「埋蔵文化財移動パネル展」「がん予防パネル展」等を行った。

赤堀図書館では館内で、「赤堀図書館文化祭（11月6日～11月28日）」、あずま図書館では特別展示室で「昆虫写真展（8月3日～29日）」、境図書館では「図書館で昆虫採集!？」「ハッピーハロウィン」ブック オア トリート」等の展示を年間通し、計7回開催した。

ク 図書館FESTIVAL

11月3日に、伊勢崎市図書館開館100周年記念式典と併せて開催した。赤石楽舎体育館で行った式典では、100周年記念事業として市民から募集したロゴマーク・キャッチコピーの授賞式に続き、作家の横山秀夫氏を講師として招き、記念講演会を開催した。

図書館では、読み聞かせライブやリサイクル本の配布を行った。

ケ 朗読会・演奏会・映画会

図書館での時間を楽しみ、本と親しむ場を提供することを目的に毎年開催している朗読会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

赤堀・あずま・境図書館では、名作や子どもたちに人気の作品を選んでの映画会を行った。また、赤堀図書館で例年ダウンロビーで行っていた「あかぼり図書館でJAZZを聴こう!」は、感染症対策を徹底するため赤堀芸術文化プラザホールで開催した。

コ 図書館応援団

図書館ボランティアを「図書館応援団」として広く募集し、令和3年度は200名を受け入れた。図書の配架や修理、読み聞かせ、まちかど図書館の運営など図書館事業に関わるボランティア活動を行っており、感染リスクの低い活動に限定して参加していただいた。また、初めての試みとして、図書館応援団自主事業としての企画展示「資料が語る徳江製糸場」（11月20日～12月28日）を開催した。

サ 図書のリサイクル

各図書館では、除籍した資料や市民から寄贈された本をリサイクル図書として市内21カ所の「まちかど図書館」で利用するほか、市民に無料配布し、有効活用している。図書館での配布冊数は図書5,885冊、雑誌3,287冊、まちかど図書館での配布冊数は1,380冊であった。

シ 施設見学・体験学習



郷土文化講座
「資料が語る徳江製糸場」



「100年のあゆみ」展



横山秀夫氏の講演

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターンシップの受入はなかった。チャレンジウィークについては伊勢崎市図書館で2校9人を受け入れた。

(4) その他

ア 寄附

群馬境ロータリークラブと境ライオンズクラブからは視聴覚資料（CD、DVD）、その他個人から図書が寄附があった。

(5) 境絹の館

境図書館の敷地内にあり昭和54年に寄附を受けて管理している。境図書館に拠点を置く短歌会、俳句会の会場として定期的に利用されており、図書館の行事及び展示会場としても活用した。

なお、ここでは郷土の著名な画家金井烏洲等の作品を保存・管理し、調査研究に供している。

(参考資料)

地区別利用者及び全資料貸出

館別		伊勢崎市	市民プラザ [※]	赤堀図書	あずま	境図書館	合計	
区分		図書館	図書室	館	図書館			
奉仕人口	令和2年度	133,009		23,750	26,630	29,778	213,167	
	令和3年度	132,587		23,917	26,849	29,593	212,946	
利用者数	令和2年度	45,620	14,362	14,572	22,145	20,165	116,864	
	令和3年度	59,374	19,848	18,210	27,401	25,282	150,115	
令和3年度開館日数		279	335	317	280	280	—	
令和3年度新規登録		956	175	239	349	232	1,951	
全貸出数	令和3年度個人	伊勢崎地区	261,434	84,356	17,644	39,923	35,091	438,448
		赤堀地区	4,902	670	58,412	12,208	1,036	77,228
		東地区	4,951	669	10,512	73,488	1,444	91,064
		境地区	7,848	5,937	764	7,571	74,425	96,545
		市外	13,706	6,435	7,851	13,490	10,630	52,112
		計	292,841	98,067	95,183	146,680	122,626	755,397
	団体等	令和2年度	58,558	544	3,180	3,893	3,251	69,426
		令和3年度	57,032	59	3,168	3,698	2,608	66,565
	総計	令和2年度	274,981	68,672	76,254	117,983	94,373	632,263
		令和3年度	349,873	98,126	98,351	150,378	125,234	821,962

奉仕人口は住民基本台帳、令和2年、令和3年4月1日現在による。

新規登録は市外、団体等を含む。

全貸出数の団体等は市内学校への貸出しを含む。

地区別年齢区分別利用者数・貸出数

	年齢区分	伊勢崎地区		赤堀地区		東地区		境地区		市外	
		利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数	利用者	貸出数
令和3年度	70～	15,486	71,453	1,338	5,638	2,821	11,760	4,725	19,558	1,749	7,438
	60～69	13,434	59,304	1,784	7,244	2,858	11,988	3,016	11,948	2,140	8,988
	50～59	11,581	47,599	1,600	6,746	2,207	8,749	2,726	10,613	1,949	8,712
	40～49	14,854	76,391	3,258	17,083	2,736	15,229	3,143	16,176	2,482	11,976
	30～39	9,574	56,962	1,758	10,261	2,197	12,618	1,805	11,229	1,007	5,698
	23～29	2,396	10,833	543	2,824	425	2,027	520	2,400	412	1,834
	19～22	1,351	5,438	246	1,004	353	1,307	308	1,236	147	545
	16～18	1,125	4,767	298	1,066	141	670	219	952	146	628
	13～15	2,077	10,450	488	2,403	363	2,017	532	2,678	126	741
	10～12	4,353	26,874	976	5,960	1,207	6,552	1,012	5,484	369	2,242
	7～9	5,153	33,526	1,358	8,862	1,365	9,362	1,011	6,537	287	1,757
	0～6	4,897	34,851	1,253	8,137	1,223	8,785	1,005	7,734	202	1,553
		計	86,281	438,448	14,900	77,228	17,896	91,064	20,022	96,545	11,016
令和2年度		66,561	323,915	12,180	61,386	14,590	70,614	15,472	70,269	8,061	36,653
前年比較		19,720人	114,533点	2720人	15,842点	3,306人	20,450点	4550人	26,276点	2955人	15,459点
		29.6%	35.4%	22.3%	25.8%	22.7%	29.0%	29.4%	37.4%	36.7%	42.2%

		伊勢崎市図書館		市民プラザ図書室		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		
		2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	
図書資料	一般	総記	1,779	2,515	369	692	592	779	682	833	755	937
		哲学	4,026	5,179	1,058	1,585	1,247	1,367	1,568	1,981	1,094	1,333
		歴史	6,445	7,810	1,818	2,911	1,520	2,178	2,947	3,630	3,280	3,958
		社会	9,704	12,567	2,184	2,899	1,962	2,648	3,172	4,069	3,213	3,829
		自然	6,796	8,630	1,575	2,456	1,580	2,040	2,468	3,131	2,133	2,950
		技術	11,813	14,998	4,630	6,404	4,298	4,917	6,008	7,413	4,769	5,774
		産業	3,002	3,909	862	1,230	831	1,235	1,282	1,756	1,129	1,531
		芸術	10,779	14,847	6,728	9,719	6,837	9,601	8,013	9,345	3,735	4,285
		言語	1,029	1,675	241	347	216	334	424	508	339	529
		文学	53,477	72,654	11,648	17,672	10,114	12,759	24,319	30,329	24,386	32,625
		計	108,850	144,784	31,113	45,915	29,197	37,858	50,883	62,995	44,833	57,751
	児童	総記	727	926	291	430	368	501	401	550	605	558
		哲学	824	1,090	551	781	465	614	441	566	237	349
		歴史	4,316	5,928	1,638	2,303	1,543	1,854	1,172	1,507	1,184	1,570
		社会	1,495	2,298	421	795	630	986	471	745	783	1,207
		自然	7,273	10,358	2,683	3,932	2,711	3,787	2,901	4,189	2,075	3,156
		技術	1,786	2,632	601	1,074	963	1,294	998	1,483	614	980
		産業	698	1,164	242	301	289	425	284	405	154	259
		芸術	3,369	4,666	1,361	2,236	1,545	2,288	1,602	2,194	1,094	1,761
		言語	1,042	1,231	260	416	372	509	245	318	243	336
		文学	15,896	21,634	6,855	8,954	6,002	7,686	8,049	11,695	5,743	7,918
		絵本	33,390	51,106	10,071	15,416	11,826	16,184	19,407	28,399	12,022	19,417
		紙芝居	1,504	2,353	526	616	723	937	893	1,191	590	859
	計	72,320	105,386	25,500	37,254	27,437	37,065	36,864	53,242	25,344	38,370	
	郷土	2,315	3,213	189	260	241	289	349	383	492	473	
	大活字本	2,032	2,658	230	390	295	107	925	832	410	454	
	点字	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	洋書	388	608	17	23	44	45	260	304	79	99	
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	185,905	256,650	57,049	83,842	57,214	75,364	89,281	117,756	71,158	97,147	
	雑誌	6,676	7,475	3,227	4,351	3,723	4,306	6,775	7,478	5,319	6,660	
	視聴覚資料	C D	10,328	12,518	3,124	3,715	4,197	5,573	7,500	8,671	5,697	7,286
		カセット	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0
		ビデオ	147	48	24	12	4	2	167	170	112	19
		D V D	12,408	14,686	4,648	6,062	7,934	9,937	10,340	12,598	8,650	11,155
		R O M	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
録音朗読		958	1,461	56	85	1	1	27	5	186	359	
合計		23,842	28,716	7,852	9,874	12,137	15,513	18,034	21,446	14,645	18,819	
総計	216,423	292,841	68,128	98,067	73,074	95,183	114,090	146,680	91,122	122,626		

			伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
			2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
図書資料	一般	総記	7,605	7,799	1,025	1,090	1,681	1,665	3,375	3,262	13,686	13,816
		哲学	7,332	7,515	1,552	1,601	3,068	3,076	2,802	2,768	14,754	14,960
		歴史	17,377	17,611	2,675	2,644	6,882	6,721	8,802	8,524	35,736	35,500
		社会科学	21,849	20,709	2,744	2,660	9,263	9,292	10,636	9,948	44,492	42,609
		自然科学	10,145	10,172	2,691	2,379	5,615	5,646	4,595	4,396	23,046	22,593
		技術	11,412	11,559	3,458	3,667	8,794	8,902	5,064	4,986	28,728	29,114
		産業	5,464	5,618	1,353	1,349	3,014	3,021	2,129	2,127	11,960	12,115
		芸術	18,187	18,665	4,327	4,357	9,230	9,181	7,602	7,644	39,346	39,847
		言語	2,904	2,982	727	674	1,237	1,234	1,275	1,264	6,143	6,154
		文学	69,758	70,642	16,698	15,827	33,850	34,645	45,984	46,789	166,290	167,903
		計	172,033	173,272	37,250	36,248	82,634	83,383	92,264	91,708	384,181	384,611
	児童	総記	1,231	1,346	337	332	434	412	712	724	2,714	2,814
		哲学	968	1,003	247	244	277	264	388	387	1,880	1,898
		歴史	4,654	4,629	911	922	1,264	1,254	1,336	1,322	8,165	8,127
		社会科学	4,262	4,432	724	763	1,081	1,068	1,713	1,760	7,780	8,023
		自然科学	7,239	7,619	1,483	1,473	3,246	3,300	2,356	2,398	14,324	14,790
		技術	2,823	2,659	613	614	1,038	1,030	1,043	959	5,517	5,262
		産業	2,022	1,913	448	418	567	559	463	440	3,500	3,330
		芸術	4,099	4,193	885	885	1,623	1,571	1,138	1,062	7,745	7,711
		言語	1,589	1,637	333	330	378	380	449	448	2,749	2,795
		文学	29,241	29,783	5,693	5,944	13,691	13,981	11,648	11,904	60,273	61,612
		絵本	37,460	37,996	6,240	6,215	17,586	18,010	11,124	11,571	72,410	73,792
		紙芝居	2,154	2,228	627	595	1,242	1,272	883	927	4,906	5,022
	計	97,742	99,438	18,541	18,735	42,427	43,101	33,253	33,902	191,963	195,176	
	郷土	33,865	34,724	2,485	2,619	3,543	3,679	8,036	8,169	47,929	49,191	
	大活字	3,305	3,389	429	265	945	959	1,345	1,371	6,024	5,984	
	点字	1,057	1,083	0	0	0	0	0	0	1,057	1,083	
	洋書	1,985	2,009	110	111	218	231	629	634	2,942	2,985	
	その他	86	86	0	0	3	1	0	0	89	87	
	合計	310,073	314,001	58,815	57,978	129,770	131,354	135,527	135,784	634,185	639,117	
	雑誌	6,539	6,166	1,067	940	3,208	3,219	4,094	4,211	14,908	14,536	
	視聴覚資料	C D	8,258	8,332	3,185	3,282	4,795	4,868	3,563	3,709	19,801	20,191
		カセット	54	54	1	1	4	4	4	4	63	63
ビデオ		1,659	1,572	153	143	995	898	1,115	990	3,922	3,603	
D V D		3,332	3,440	1,774	1,836	1,814	1,868	1,908	2,000	8,828	9,144	
R O M		114	121	12	12	10	12	16	18	152	163	
録音・朗読		2,445	2,490	0	0	61	61	133	133	2,639	2,684	
合計		15,862	16,009	5,125	5,274	7,679	7,711	6,739	6,854	35,405	35,848	
総計	332,474	336,176	65,007	64,192	140,657	142,284	146,360	146,849	684,498	689,501		

市民が利用する図書室の蔵書は伊勢崎市図書館を含む。

一般図書構成割合（令和3年度末）

（単位：％）

			伊勢崎市図書館		赤堀図書館		あずま図書館		境図書館		全館	
			2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度	2年度	3年度
図書資料	一般	総記	4.42	4.50	2.75	3.01	2.03	2.00	3.66	3.56	3.56	3.59
		哲学	4.26	4.34	4.17	4.42	3.71	3.69	3.04	3.02	3.84	3.89
		歴史	10.10	10.16	7.18	7.29	8.33	8.06	9.54	9.29	9.30	9.23
		社会科学	12.70	11.95	7.37	7.34	11.21	11.14	11.53	10.85	11.58	11.08
		自然科学	5.90	5.87	7.22	6.56	6.80	6.77	4.98	4.79	6.00	5.87
		工学技術	6.63	6.67	9.28	10.12	10.64	10.68	5.49	5.44	7.48	7.57
		産業	3.18	3.24	3.63	3.72	3.65	3.62	2.31	2.32	3.11	3.15
		芸術	10.57	10.77	11.62	12.02	11.17	11.01	8.24	8.34	10.24	10.36
		言語	1.69	1.72	1.95	1.86	1.50	1.48	1.38	1.38	1.60	1.60
		文学	40.55	40.77	44.83	43.66	40.96	41.55	49.84	51.02	43.28	43.66
		計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

VI 文化振興



伊勢崎市文化協会文化祭

文化振興

1 基本方針

市民の情操をはぐくみ育てるため、文化芸術活動に関する機会の提供、各種文化団体の育成及び連携を深めるとともに、文化活動のより一層の活性化を図る。

2 重点施策

(1) 文化活動への支援と機会の拡充

文化団体相互の連携を強化し、団体が行う活動への支援や文化芸術に対する理解と鑑賞力を高めることを目的とした発表会や作品展等の開催を通じ、市民文化の形成・向上を図る。

(2) 文化の創造・育成と伝統文化の伝承

新たな文化の創造・育成と、地域の伝統文化の伝承を推進するための活動支援や人材の育成を図るとともに、世代を超えて幅広い年齢層が文化に親しむことのできる機会を拡充する。

(3) 舞台芸術鑑賞機会の提供

世界並びに日本の優れた舞台芸術・公演等の鑑賞機会を市民に提供する。

(4) 文化施設の機能の充実

地域が育んできた文化活動や伝統芸能の発表、展示を支援するために伊勢崎市文化会館、赤堀芸術文化プラザ、境総合文化センター等の施設機能を充実させる。

3 令和4年度主要事業

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

所属15部門を第1期から第4期事業に分け、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流を深め、市民への芸術鑑賞の提供機会を設ける。

イ 文化芸術活動発表等支援事業

新型コロナウイルスの影響により、活動を自粛していた文化芸術団体に対し、活動再開や継続への支援として、市内文化施設等での発表会や展示会等の開催に係る会場費や印刷代などと併せてコロナ対策費用の助成を行う。

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピアいせさき」の普及

市民になじみのある曲をアレンジし、楽しく踊ることができるダンピアいせさきの普及のため、いせさきまつりへの参加に向けて活動を行う。

イ いせさき市民アートフェスティバル

市民から日本画・洋画・書道・彫刻工芸・手芸の美術作品を公募し、令和4年11月4日から11月6日までの日程で伊勢崎市文化会館での展示公開を行う。

ウ 伊勢崎市選抜作家展

いせさき市民アートフェスティバルの啓発事業として、県内で活躍する伊勢崎市の作家陣を集

めた交流展示を、令和4年9月16日から9月19日までの日程で、伊勢崎市文化会館で行う。

エ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開を行う。

(3) 舞台芸術鑑賞事業

伊勢崎市文化会館、赤堀芸術プラザ、境総合文化センターにて、12主催事業を催し、市民へ舞台芸術・公演等の鑑賞機会の提供を行う。

4 令和3年度事業実績

(1) 文化団体等への支援事業

ア 文化協会事業

文化協会は15部門に分かれ、文化活動の振興を図るとともに団体間の連携・交流を深めている。

なお、令和3年度事業については、設立15周年を記念して全部門合同での文化祭事業を実施した。

月	日	事業名	内容	会場
4	4	華蔵寺公園花まつり 郷土芸能発表会	郷土芸能部門会員による発表会	【開催中止】
	21	役員会・常任理事会	定期総会に向けて	伊勢崎市役所
	28	文化いせさき編集会議	会報誌の発行に向けて	伊勢崎市役所
5	18	定期総会	令和2年度報告 令和3年度計画	【書面審議】
8	6	常任理事会、文化祭第1回 運営委員会	文化祭の開催に向けて	伊勢崎市役所
1	19	文化いせさき編集会議	会報誌の編集に向けて	伊勢崎市役所
2	21	常任理事会、文化祭第2回 運営委員会	文化祭に開催に向けて	伊勢崎市役所
3	19-21	文化祭	全部門合同による展示・発表会	文化会館



伊勢崎市文化協会文化祭 日本画展示（左）、邦楽舞踊発表（右）

イ 文化協会登録団体

団体総数 190 団体、会員総数 4,987 人。文化協会 15 部門の内訳は以下のとおり。

部 門	種 目	団 体 数	人 数	部 門	種 目	団 体 数	人 数
美 術	日 本 画	1	13	吟 剣 詩 舞	吟 詠	10	185
	洋 画	1	16		詩 舞	5	63
	工 芸	3	73		計	15	248
	そ の 他	2	48	民 謡 民 舞	民 謡	11	111
	計	7	150	郷 土 芸 能	八 木 節	12	266
書 道	か な	2	27		は や し	8	341
	漢 字	15	303		和 太 鼓	7	189
	そ の 他	1	10		獅 子 舞	2	47
	計	18	340		古 武 道	2	50
写 真	写 真	7	115		そ の 他	3	94
華 道	華 道	2	200		計	34	987
茶 道	茶 道	7	708	洋 舞	社 交	0	0
文 学	短 歌	2	24		フ ォ ー ク	1	7
	俳 句	1	17		フ ラ ダ ン ス	17	233
	川 柳	0	0		そ の 他	5	74
	そ の 他	3	80		計	23	314
	計	6	121	自 然	植 物	8	190
音 楽	合 唱	10	280		動 物	0	0
	器 楽	6	156		そ の 他	0	0
	計	16	436		計	8	190
歌 謡	歌 謡	13	599	諸 芸	囲 碁	3	99
邦 楽 舞 踊	邦 楽	2	128		そ の 他	2	30
	邦 舞	16	202		計	5	129
	計	18	330	合 計	190	4,978	

(2) 育成と伝承事業

ア 「ダンピアいせさき」の普及

ダンピアいせさきは、市民が長年親しんだ曲をアレンジし、多くの市民が楽しく踊って、まつりに参加してもらうため作成した、伊勢崎市独自のダンスである。令和3年度は各まつり等の中止を受け、講習会の開催は見送った。例年は、いせさきまつりや各地区のまつり、各種イベント等において多くの市民が参加している。

イ いせさき市民アートフェスティバル

芸術文化に対する市民の理解と鑑賞力を高め、郷土の芸術文化活動の振興を図るとともに、芸術を通して市民の一体感を醸成することを目的として開催している。市民から応募のあった日本画・洋画・書道・彫刻工芸・手芸の美術作品を伊勢崎市文化会館で展示公開した。

・11月5日～11月7日	観覧者	678人			
	出品数	270点			
	内訳	日本画	28点	洋画	43点
		書道	117点	彫刻工芸	14点
		手芸	68点		



いせさき市民アートフェスティバル 彫刻工芸展示（左）、洋画展示（右）

ウ 伊勢崎市収蔵美術展

芸術文化に対する市民の意識の高揚と郷土の芸術文化の向上を図るため、市が所蔵している礒部草丘の日本画作品を境赤レンガ倉庫で展示公開した。

・11月17日～11月23日	観覧者	420人	
	出品数	29点	



伊勢崎市収蔵美術展

エ インターネット美術館

市が所蔵している美術品等を市のホームページにおいて公開している。

- ・公開作品総数 347点（福沢一郎 74点、礒部草丘 53点、森村西三 6点、金井島洲 36点、その他の作者の作品 178点）

(3) 舞台芸術鑑賞事業

ア 伊勢崎市文化会館主催事業

実施日	公演名	入場者数
6月26日	由紀さおり 50年記念コンサート	367
11月20日	いせさき寄席 柳家権太楼・柳家花緑・月形方正他	311
2月23日	藤井フミヤ	【公演中止】

イ 伊勢崎市赤堀芸術文化プラザ主催事業

実施日	公演名	入場者数
11月23日	あかぼり寄席	132
1月23日	ケロポンズ親子コンサート	203

ウ 伊勢崎市境総合文化センター主催事業

実施日	公演名	入場者数
7月11日	音楽の絵本 ルスティカーナ ～親子のためのクラシックコンサート	484
10月16日	第45回県民芸術祭参加事業 県民音楽のひろば 群馬交響楽団演奏会	320
2月20日	伊勢崎市境ダンスフェスティバル2022	【公演中止】
2月23日	826aska Electone LIVE	309

(4) 文化施設の利用状況

施設名	文化会館		赤堀芸術文化プラザ		境総合文化センター	
	開館日数：335日		開館日数：335日		開館日数：335日	
種別	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
大ホール	139	40,588	120	6,148	156	20,944
小ホール	157	16,267			136	10,571
ホール小計	296	56,855	120	6,148	292	31,515
会議室他	925	20,918	—	—	1,485	17,482
展示室他	511	40,118	16	2,119	216	25,475
室等の小計	1,436	61,036	16	2,119	1,701	42,957
合計	1,732	117,891	136	8,267	1,993	74,472

VII 文化財保護



山王町屋台囃子
(令和4年2月指定)

文化財の保護と活用

1 基本方針

- (1) 地域の文化財を後世に伝えるため、文化財の調査研究と情報提供に努めます。
- (2) 市民の郷土への誇りを育むため、歴史的建造物や遺跡などの郷土資源の保存に努め、これを活用した学びの推進に努めます。
- (3) 地域の伝統文化を次世代へ継承するため、伝統芸能などの保存と継承を支援します。

2 重点施策

(1) 文化財の調査研究と情報発信

- ア 文化財普及啓発事業の推進
- イ 佐位郡衙関連遺跡の調査研究の推進
- ウ 赤堀歴史民俗資料館の充実

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財の保存管理と新規指定の推進
- イ 史跡女堀保存整備活用事業の推進
- ウ 史跡田島弥平旧宅保存整備活用事業の推進
- エ 史跡上野国佐位郡正倉跡保存整備活用事業の推進

(3) 伝統芸能などの保存と継承

- ア 有形・無形民俗文化財の保存と普及啓発事業の推進

3 令和3年度事業実績

(1) 文化財保護事業

ア 文化財調査委員

伊勢崎市文化財保護条例により文化財調査委員を委嘱し、文化財の保存及び活用等について調査審議を行った。

委員構成：考古学、古代史、中世史、近世史、建築学、民俗学、植物学の有識者(計7人)

任期：2年間(令和3・4年度)

開催回数：3回

第1回 7月30日(金)委嘱状交付、能満寺のご本尊について、山王町の屋台囃子について

第2回 9月25日(土)山王町屋台囃子現地調査、頼光塚の覆い屋の設置について

(10月15日(金)新規登録 国登録有形文化財 町田清家住宅主屋)

第3回 2月3日(木)山王町屋台囃子の市指定について、旧森村家住宅主屋修理事業について

(2月25日(金)新規指定 伊勢崎市指定重要無形民俗文化財 山王町屋台囃子)

(2) 保護管理事業

ア 指定文化財の保護管理

①所有者又は管理団体に対して指定文化財活用管理謝礼金を交付し、見学者への説明や文化財の良好な環境維持を図った。

②市指定重要文化財「頼光塚」の保護のため覆い屋を設置した。

イ 説明板等の設置・修繕

①国登録有形文化財「金井義明家住宅主屋」、「田島善一家住宅主屋」、「田島達行家住宅主屋」、「町

田清家住宅主屋」、市指定重要文化財「愛宕神社の宝塔」の説明板を設置した。

②市指定重要文化財「藍染熨斗目」、市指定史跡「赤堀城」の説明板を修繕した。

ウ 史跡上野国佐位郡正倉跡の保存活用

(ア) 調査整備委員会

佐位郡衙関連施設の確認のための発掘調査事業や史跡の公有地化事業、活用事業などについて調査整備委員7名による委員会を1回開催した(書面開催)。

(イ) 確認調査

佐位郡衙関連調査として、殖蓮公民館北の正倉院北部で発掘調査を実施した。その結果、佐位郡衙正倉院に関わる掘立柱建物が確認された。



発掘調査風景

(ウ) 啓発活動

平成29年度に完成した八角形倉庫の模型を殖蓮公民館で展示した。また、殖蓮公民館と連携して、歴史講座を開催した。史跡への導入案内板も設置した。

エ 史跡女堀の保存活用

(ア) 調査整備委員会

史跡女堀の整備実施設計について調査整備委員6名による委員会を3回開催した(内、2回は書面開催)。

(イ) 啓発活動

例年6月に開催される赤堀花しょうぶ園まつりで、発掘調査パネル展示、史跡女堀クイズ、タブレット端末での発掘調査状況の視聴を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

オ 史跡田島弥平旧宅の保存活用

(ア) 調査整備委員会の開催

東門整備工事や史資料調査、普及啓発事業などについて、調査整備委員7名による委員会2回(うち書面開催1回)と、建築学・考古学を専門とする委員からの現地指導を2回開催した。また歴史学を専門とする委員からなる史料部会を3回開催した。

(イ) 史跡整備の実施

史跡の保存活用のための東門整備工事を実施した。



東門整備工事状況



史資料調査の様子

(ウ) 案内所の運営

会計年度任用職員6名のサポートガイドをシフトにより配置し、展示の解説や、DVD上映、桑場への配置、田島弥平旧宅の案内を行っている。なお、令和3年5月4日から6月20日また8月7日から10月7日までの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休館とした。

(工) 周辺環境整備の実施

来訪者対応を図るため、仮設トイレの設置や警備員を配置して史跡周辺の環境整備を行った。

(オ) 啓発活動

令和3年度は春と秋に普及啓発事業などの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

(カ) 公開範囲の拡張

平成30年度から別荘及び冷蔵庫跡の整備を始め令和2年度で完了したため、新たに公開を開始した。また、平成28年度から公開した桑場1階に加え、平成29年度から毎月第3日曜日のみ主屋1階上段の間の公開を開始し、令和3年度も継続して実施した。

なお、令和3年5月4日から6月20日また8月7日から10月7日までの間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため桑場の公開を中止し、上段の間についても令和3年4月から10月まで、令和4年1月から3月までの公開を中止した。

カ 指定文化財のパトロール等の実施

指定文化財の破損等の確認を実施した。

キ 指定文化財等の修繕

①市指定重要文化財「旧森村家住宅」主屋の修繕を実施した。

②県指定天然記念物「連取のマツ」は、平成21年度から保護養生事業を実施しており、害虫駆除及び葉枯れ病等の防除を中心に対応を行った。

ク 資料の閲覧・撮影・掲載・借用

学術研究等を目的として閲覧4件、撮影18件、掲載19件、借用9件の申請があり許可した。

ケ 指定文化財の現状変更等

①国指定史跡女堀は、境界杭設置、樹木伐採について市教委の権限で許可した。

②国指定史跡田島弥平旧宅は、東門整備工事の実施及びその後の工期延長に伴う現状変更等許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また井戸上屋の屋根瓦落下防止のためのネット設置について市教委の権限で許可した。

③国指定史跡上野国佐位郡正倉跡は、佐位郡衙関連発掘調査及び浄化槽配管新設に係る現状変更等許可申請書を文化庁へ提出し、許可された。また、交通標識の新設について市教委の権限で許可した。

④県指定天然記念物「連取のマツ」は、養生事業に際し現状変更等許可申請を提出し許可された。

コ 出土品の保存

出土遺物保存処理は、赤堀村246号墳出土の鉄製品5点、及び赤堀村247号墳出土の耳環6点、合計11点の保存処理を行った。

サ 文化財の防火活動

1月26日(水)に境地区内に所在する市指定重要文化財である「島村の板倉」、「平塚赤城神社本殿」及び国登録有形文化財である「金井義明家住宅主屋」、「田島善一家住宅主屋」、「田島達行家住宅主屋」、「町田清家住宅主屋」の位置や進入経路、周辺の消防水利について調査し、調査結果をもとに調査表及び図面を作成した。また3月4日(金)に地元区長及び役員、文化財保護課職員にて境消防署の指導のもと国指定史跡「田島弥平旧宅」周辺の消防水利及び器具点検確認を行い、併せて初期消火活動の演習を行った。

(3) 普及事業

ア 旧森村家住宅活用事業

月に2回一般公開を行い、「宮郷第二小学校写生大会」も行われ、来場者は258人であった。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、警戒レベル4の際の一般公開及び十五夜の集いは中止となった。

イ はたおり体験学習事業

緋の郷を会場として、織物ボランティア「織りの会」の指導により市内23校の小学3年生1,846人を対象に体験学習を計画していたが、新型コロナウイルス感染症対策を行い8校675人が体験を行った。なお、15校1,171人については、感染拡大防止のため実施を見合わせる事となったため、「織りの会」のご厚意により各クラスにコースターの見本を配布した。

また、華蔵寺公園花まつりなど各イベントに合わせて、はたおり体験の実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため一部開催を見合わせた。



宮郷第二小学校写生大会



はたおり体験学習のようす

ウ 出前講座・講演等

出前講座は「クイズで学ぶ伊勢崎の歴史」と「楽しく学ぶ伊勢崎市の古代」のメニューで実施したほか、小学生の地域学習の現地説明等を実施し、合せて278人の受講があった。

【講座・講演】

期 日	対象者	テーマ・内容	人数
6月15日(火)	殖蓮小学校6年生	一ノ関古墳見学	94人
8月3日(火)	三郷小放課後児童クラブ	クイズで学ぶ伊勢崎	58人
10月29日(金)	三郷小学校6年生	お富士山古墳見学	106人
12月23日(木)	土曜の会	楽しく学ぶ古代の遺跡	20人

エ 埋蔵文化財展

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

オ 埋蔵文化財パネル展

事業名	開催期間	会場
埋蔵文化財パネル展 「伊勢崎市の遺跡・国指定 史跡編」	10月16日(土)～11月14日(日)	伊勢崎市図書館
	11月22日(月)～12月19日(日)	市民サービスセンター宮子
	1月8日(土)～1月30日(日)	赤堀歴史民俗資料館

カ 埋蔵文化財活用事業

石山南古墳群出土の人物埴輪のレプリカ作製を東京国立博物館協力のもと行なった。

キ 発掘調査現地説明会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。

ク 報告書等の刊行

- ・『令和元年度市内遺跡確認調査報告書』を作成した。



石山南古墳群埴輪レプリカ

ケ 伝統文化親子教室事業

文化庁補助事業の「伝統文化親子教室事業」について、3件の申請があり採択となったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

コ 伊勢崎市郷土文化研究会連絡協議会

(ア) 概要

北史談会・殖蓮史談会・茂呂歴史愛好会・三郷文化財研究会・境史談会の6団体で構成され、本市の文化振興と文化財愛護意識の向上を目的に、研究会や講演会等の開催、歴史民俗資料の調査保存活動を推進する。

(イ) 活動内容

期 日	会 場	内 容
4月26日(月)	北公民館	第1回運営委員会及び監査
6月4日発送	書面開催	定期総会
10月15日(金)	北公民館	第2回運営委員会
11月17日(水)	赤堀歴史民俗資料館	視察研修
12月3日(金)	三郷公民館	会員研修会 演題:「古文書の中の度量衡・通貨に関わる出来事」 講師: 真柴 勇さん(三郷文化財研究会)

※ 例年実施している講演会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。

(4) 埋蔵文化財発掘調査の概要

令和3年度の埋蔵文化財発掘調査の件数は、発掘調査(本調査)と確認調査(試掘調査)で合計56件であった。

ア 発掘調査の種別

発掘調査(本調査)	8件	2,373㎡
確認調査(試掘調査)	48件	2,184㎡

イ 開発に伴う埋蔵文化財包蔵地確認依頼件数

区 分	件 数	区 分	件 数
個人住宅	683	不動産取引	459
集合住宅	61	店舗	35
建売住宅	191	工場	27
鑑定評価	59	携帯電話基地局	23
分譲住宅地造成	72	その他	374
太陽光発電設備	99	計	2,083

(5) 赤堀歴史民俗資料館

ア 利用の概要

開館日数：264日 入館者数：5,882人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日(日)	26	5	8	27	26	23	27	25	23	23	24	27
利用者(人)	143	57	306	944	514	174	891	735	293	235	910	680

・新型コロナウイルスの影響により、5月6日(木)～6月20日(日)まで臨時休館

・資料の燻蒸のため、9月24日（金）～27日（月）の間臨時休館

イ 資料館運営協議会

運営協議会を設置し、資料館の運営及び事業計画等について報告協議を行った。

委員構成：学校教育関係者1人、社会教育関係者1人、学識経験者6人（計8人）

任 期：2年間（令和3・4年度）

開催回数：3回（第1、3回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面開催）

ウ 展示活動

(ア) 常設展示

1階展示室 発掘調査で得られた資料を時代順に展示。企画展「密な古墳」の成果を古墳時代常設展示に加えた。

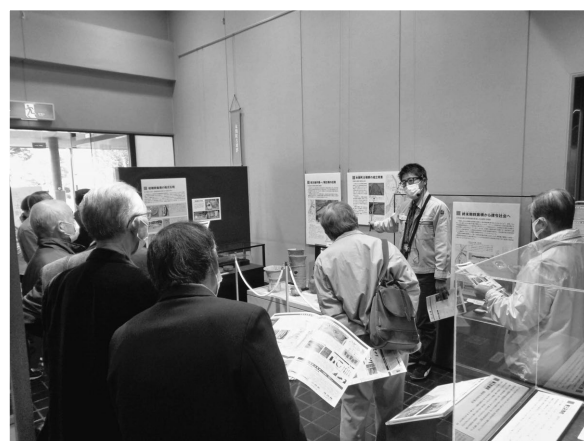
2階展示室 寄贈民俗資料による昔の暮らし展示及び、近代の5人の人物の常設展示。収蔵資料展「昭和のレトロな世界」の成果を活用し、小学校3年生が学ぶ「昔の暮らし」に対応した常設展示「清くんの家電生活」として常設展示に加えた。

(イ) 企画展・季節展

	期 間	展 示 名	観覧者数
収蔵資料展	6月18日（金）～9月5日（日）	昭和のレトロな世界	1,743人
企画展	10月15日（金）～12月26日（日）	密な古墳―群集墳のヒミツを探る―	1,804人
パネル展	11月3日（水・祝）～12月26日（日）	澤浦盛衛パネル展	793人
季節展	2月10日（木）～3月21日（月・祝）	おひなさま	1,076人



企画展「昭和のレトロな世界」



企画展「密な古墳」

エ 教育普及活動

(ア) 情報紙とホームページ

資料館情報紙を発行（第173～182号）し、市ホームページに「資料館の出来事」を紹介した。

(イ) 学習支援事業

市内小学校児童に対して、展示解説と学習支援を行った。のべ6校、481人が観覧した。

小学校へ民具を活用した「昔の暮らしキット」の貸し出しを行い、3校の利用があり、のべ410人が利用した。

(ウ) 子ども向けイベント

小学生以下を対象に、資料館をめぐろう土器ドクイズラリーを、7月21日（水）から8月29日（日）まで開催。参加者365人。

(エ) 特別観覧等

個人より資料館所蔵資料の特別観覧の申請及び利用が14件あった。

期日	資料名	目的	観覧者数
4月27日(火)	中島家資料	教育資料研究のため	1
6月24日(木)	中島家資料	教育資料研究のため	1
6月29日(火)	中島家資料	教育資料研究のため	1
7月13日(火)	中島家資料	教育資料研究のため	1
8月5日(木)	中島家資料	教育資料研究のため	1
8月11日(水)	中島家資料	教育資料研究のため	1
8月19日(木)	中島家資料	教育資料研究のため	1
8月26日(木)	中島家資料	教育資料研究のため	1
9月2日(木)	中島家資料	教育資料研究のため	1
9月7日(火)	中島家資料	教育資料研究のため	1
11月5日(金)	中島家資料	教育資料研究のため	1
11月9日(火)	中島家資料	教育資料研究のため	1
11月18日(木)	本間家資料	雑誌掲載のため	1
12月10日(金)	赤堀村誌編纂資料	教育資料研究のため	1

(オ) 文化財普及事業

【歴史文化講座】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施を見合わせた。

【古文書入門講座】

伊勢崎市図書館と共催で開催し、受講又は動画配信による講座とした。

	期日	内 容	受講者数
第1回	1月13日(木)	古文書を読むための準備—くずし字解読への助走—	33人
第2回	1月20日(木)	幕末巡見使の史料を読む—くずし字解読の準備—	33人
第3回	2月3日(木)	幕末巡見使の史料を読む②—伊勢崎の休憩所—	33人
第4回	2月10日(木)	年貢関係の史料を読む—4つの間野谷村—	33人
第5回	2月17日(木)	申渡、議定関係の史料を読む—村社会の風景—	33人
第6回	3月3日(木)	助郷関係の史料を読む—年貢以外の課役—	33人
第7回	3月10日(木)	風説留「元治紀聞」を読む—幕末動乱期の情報—	33人
第8回	3月17日(木)	風説留「元治紀聞」を読む—幕末動乱期の情報—	33人

伊勢崎市の指定文化財（148件） ※ 国登録有形文化財6件含む

1 国指定重要文化財（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
1	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
2	埴輪男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
3	埴輪男子倚像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日
4	埴輪武装男子立像	1軀	三光町6-10	昭和33年 2月 8日

2 国指定史跡（4件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
5	女堀	1条	下触町213外	昭和58年10月27日
6	十三宝塚遺跡	1件	境伊与久3344-311外	昭和63年 1月11日
7	田島弥平旧宅	1件	境島村2243	平成24年 9月19日
8	上野国佐位郡正倉跡	1件	上植木本町2763外	平成26年10月 6日

3 国指定天然記念物（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
9	華蔵寺のキンモクセイ	1本	華蔵寺町6	昭和12年 6月15日

4 県指定重要文化財（12件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
10	下植木赤城神社石造美術群	3基	宮前町1582	昭和35年 3月23日
11	天増寺宝塔	1基	昭和町1645-1	昭和35年 3月23日
12	脇差 銘 正俊	1口	今泉町二丁目938-7	昭和38年 9月 4日
13	金銅善光寺式三尊仏	3軀	稲荷町518-3	昭和43年 5月 4日
14	宮子の笠塔婆	1基	宮子町3524-114	昭和48年12月24日
15	絹本著色白崖宝生禪師像	1幅	柴町945(高崎市綿貫992-1)	昭和48年12月24日
16	石倉文書	1巻	三光町6-10	平成 7年 3月24日
17	相川家茶室「觴華庵」附造営文書2点「材木積り立控」 「隠宅普請入用控」	1棟	三光町6-10	平成12年 3月21日
18	お富士山古墳所在長持形石棺	1基	安堀町799	平成13年 3月23日
19	長光寺懸仏	1基	境495(高崎市綿貫町992-1)	昭和33年 3月22日
20	縁切寺満徳寺文書	179点	境(太田市徳川町385-1)	昭和36年 1月 6日
21	石山観音の大鰐口	1口	下触町4	平成31年 2月15日

5 県指定重要無形民俗文化財（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
22	千本木龍頭神舞	1件	北千木町・南千木町	平成18年 3月24日

6 県指定史跡（1件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
23	金井烏洲と一族の墓	1件	境島村2344-1	昭和48年12月24日

7 県指定天然記念物（2件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
24	連取のマツ	1本	連取町591	昭和28年 8月25日
25	境高校のトウカエデ	1本	境492	平成 4年 5月15日

8 市指定重要文化財（61件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
26	同聚院の武家門	1棟	曲輪町14-15	昭和41年 4月12日
27	関重嶷著「伊勢崎風土記」ほか2点	5冊	三光町6-10	昭和41年 4月12日
28	教民要旨の碑	1基	茂呂町二丁目2169-1	昭和41年 4月12日
29	上植木の建長石仏	2体	上植木本町996-5	昭和41年 4月12日
30	伊勢崎河岸の石灯籠	1基	三光町13-13	昭和42年 2月15日
31	千本木龍頭神舞カシラ	3個	南千木町2292	昭和47年 4月25日
32	慶長の釣灯籠	1基	曲輪町	昭和48年 3月 5日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
33	八寸権現山の宝塔	1基	豊城町1989-2	昭和48年 3月 5日
34	大聖寺墓地の宝篋印塔	2基	大正寺町89	昭和48年 3月 5日
35	富塚円福寺の宝篋印塔	2基	富塚町2337	昭和48年 3月 5日
36	文明の石幢	1基	曲輪町14-13	昭和48年 3月 5日
37	伊勢崎の太織	25点	曲輪町	昭和48年 3月 5日
38	宮古の古文書	508通	曲輪町22-21	昭和48年 3月 5日
39	常清寺の変型板碑	1基	東本町354	昭和48年 3月 5日
40	岡屋敷の阿弥陀三尊石仏	1体	波志江町165-4	昭和48年 3月 5日
41	新宿の変型板碑	1基	波志江町1410	昭和48年 3月 5日
42	上蓮の阿弥陀・地藏石仏	1基	上蓮町20	昭和48年 3月 5日
43	竹芳寺の梵鐘	1口	連取元町1816	昭和48年 3月 5日
44	脇差 銘 直勝	1口	本町	昭和48年 3月 5日
45	刀 銘 直道	1口	中央町	昭和48年 3月 5日
46	森村家の文書	62冊	連取町	昭和58年 3月 11日
47	波志江権現山の磨崖種子	1基	波志江町2237-6	昭和59年11月29日
48	上西根の五輪塔	1基	鹿島町155-1	昭和59年11月29日
49	藍染熨斗目	1領	北千木町	平成 4年 2月 24日
50	倭文神社の朱印状	9通	東上宮町	平成 4年 2月 24日
51	旧時報鐘楼	1基	曲輪町28-23	平成 5年 3月 23日
52	蛇塚古墳出土埴輪馬	2体	西久保町二丁目98	平成 8年 3月 29日
53	高山1号古墳出土埴輪鞍	1基	西久保町二丁目98	平成 8年 3月 29日
54	絹本著色稲垣平右衛門長茂像附同重宗像	2幅	昭和町1645-1	平成 8年 3月 29日
55	黒羽根内科医院旧館	1棟	曲輪町31-4	平成14年 9月 30日
56	旧森村家住宅	1棟	連取町377-1	平成15年10月31日
57	柴町八幡神社社殿	1棟	柴町693	平成16年11月30日
58	上毛伊勢崎領塾小学内篇・外篇版木 附同版藩校学習堂蔵印小学二冊	1式	曲輪町22-21	平成20年 7月 1日
59	今村神社旧大鏡院仁王門 附奉加帳	1棟	稲荷町乙368、稲荷町367-1	平成22年10月 1日
60	天増寺橋供養地藏尊像	1軀	昭和町1649-1	平成22年10月 1日
61	香林の木造如意輪観音坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
62	香林の石造観音菩薩坐像	1軀	香林町一丁目354-1	平成 6年 4月 1日
63	間野谷の石造層塔	1基	間野谷町831-2	平成 6年 4月 1日
64	宝珠寺の五輪塔	1基	赤堀今井町二丁目1344-1	平成 6年 4月 1日
65	東小保方村分間絵図他一括古文書	1式	東町	昭和48年 2月 21日
66	小泉稲荷神社奉納手洗盤	1点	小泉町231	昭和48年 3月 22日
67	文化の常夜灯	1基	小泉町	昭和63年 3月 4日
68	長安寺の宝篋印塔	1基	西小保方町304	昭和63年 3月 4日
69	復元あずま橋と二十三夜塔	2基	国定町一丁目1243-1	昭和63年 3月 4日
70	頼光塚	1基	東小保方町1772-2	平成14年 3月 29日
71	延文二年銘鱧口	1点	境	昭和42年 2月 10日
72	曼荼羅板碑	1基	境	昭和42年 2月 10日
73	金井研香筆 境街糸市繁昌之図	1幅	西久保町二丁目98	昭和42年 2月 10日
74	東町福島家文書	1式	境東	昭和42年 2月 10日
75	大国神社の石幢	1基	境下湊名2827	昭和42年 2月 10日
76	漂麦園文集1 2巻	1式	境保泉	昭和42年 2月 10日
77	金井島洲筆 赤壁夜遊図	1幅	境島村	昭和42年 2月 10日
78	養蚕新論版木	1式	境島村	昭和42年 2月 10日
79	島村の板倉	1棟	境島村2492	昭和42年 2月 10日
80	平塚赤城神社本殿	1棟	境平塚1163-1	昭和42年 2月 10日
81	米岡の姥石	1基	境米岡230-2	平成16年11月26日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
82	平塚西光寺の馬頭観音塔	1基	境平塚1224	平成16年11月26日
83	境町五人組帳	290点	境323-1	平成16年11月26日
84	本妙寺の鬼子母神堂 附棟札	1件	山王町857	平成28年 3月24日
85	福壽院の和時計	1台	境小此木651	平成30年2月26日
86	波志江愛宕神社の宝塔	1基	波志江町1523	令和 2年10月27日

9 市指定重要有形民俗文化財（5件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
87	平塚の操人形及び衣装（頭等）	1式	境平塚	昭和38年 8月 1日
88	平塚の操人形及び衣装（衣装等）	1式	境323-1	昭和38年 8月 1日
89	平塚の操人形及び衣装（人形・衣装・収納箱一式）	1式	境平塚	平成16年11月26日
90	波志江の屋台	10基	波志江町3348-1 外	平成16年11月30日
91	茂呂の屋台	5基	茂呂町一丁目538-4外	平成22年10月 1日

10 市指定重要無形民俗文化財（17件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
92	伊勢崎木遣り	1式	宮子町1211-1	平成13年 6月29日
93	国定赤城神社奉納獅子舞	1件	国定町二丁目1528	平成18年 6月15日
94	下湊名の獅子舞	1件	境下湊名	平成18年 6月15日
95	剛志の民謡	1件	境剛志地区	平成18年 6月15日
96	女塚祭礼囃子	1件	境女塚	平成18年 6月15日
97	栄町祭礼囃子	1件	境栄	平成18年 6月15日
98	三ツ木祭礼囃子	1件	境三ツ木	平成18年 6月15日
99	東新井の獅子舞	1件	境東新井	平成18年 6月15日
100	倭文神社の田遊び	1件	東上之宮町380	平成19年 8月17日
101	茂呂町一丁目屋台囃子	1件	茂呂町一丁目	平成25年 3月26日
102	茂呂町二丁目屋台囃子	1件	茂呂町二丁目	平成25年 3月26日
103	南北千木町屋台囃子	1件	南千木町	平成25年 3月26日
104	美茂呂町屋台囃子	1件	美茂呂町	平成25年 3月26日
105	茂呂南町屋台囃子	1件	茂呂南町	平成25年 3月26日
106	東町屋台囃子	1件	境東町	平成26年 2月25日
107	気楽流柔術	1件	東小保方町	平成27年 2月26日
108	山王町屋台囃子	1件	山王町	令和 4年 2月 25日

11 市指定史跡（27件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
109	権現山遺跡	1件	豊城町1989-3	昭和41年 4月12日
110	お富士山古墳	1基	安堀町799	昭和41年 4月12日
111	今村城跡	1件	稲荷町848-1	昭和41年 4月12日
112	柴宿本陣跡	1件	柴町524	昭和41年 4月12日
113	栗庵似鳩の墓	1基	上蓮町134-1	昭和41年 4月12日
114	稲垣平右衛門長茂の墓 附累代の墓所	24基	昭和町1614	昭和42年 2月15日
115	小島武堯の墓	1基	曲輪町10-11	昭和42年 2月15日
116	関当義・重巖父子の墓	2基	曲輪町14-10	昭和48年 3月 5日
117	丸塚山古墳	1基	三和町2448外	昭和52年 9月 9日
118	一ノ関古墳	1基	本関町1298-3 外	平成10年12月28日
119	下城弥一郎・森村熊蔵の碑	2基	曲輪町31-1	昭和42年 2月15日
120	十二所古墳	1基	磯町405-1 外	昭和46年 6月10日
121	庚塚古墳	1基	下触町119-1	平成 7年 4月 1日
122	赤堀城跡	1件	赤堀今井町二丁目1405 外	平成16年 8月10日
123	毒島城跡	1件	赤堀今井町二丁目815 外	平成16年 8月10日
124	赤堀茶臼山古墳	1基	赤堀今井町二丁目甲995-1 外	平成16年 8月10日
125	天幕城跡	1件	磯町293-1外	平成16年 8月10日

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
126	六道の道標とあずま道	1件	上田町249	昭和44年 2月21日
127	旗本久永氏陣屋跡	1件	東小保方町3297	昭和63年 3月 4日
128	鶴巻古墳	1基	東小保方町1859 外	昭和44年 2月21日
129	郷学五惇堂の碑	2基	境伊与久676	昭和35年 3月 1日
130	北米岡縄文文化遺跡	1件	境米岡地内	昭和35年 3月 1日
131	西今井中世館跡	1件	境西今井319	昭和42年 2月 2日
132	旧日光例幣使道	1件	境下武土地内	昭和42年 2月 2日
133	村上随憲の墓	1基	境495	昭和42年 2月10日
134	雷電神社古墳	1基	境伊与久3581	昭和52年 3月11日
135	弥勒寺音次郎・音八父子の墓	1件	境下瀨名1349	平成元年 3月15日

12 市指定天然記念物（7件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
136	同聚院の大カヤ	1本	曲輪町14-14	昭和42年 2月15日
137	波志江の大シイ	1本	波志江町2160-3	昭和42年 2月15日
138	上植木のサカキ	1本	本関町1093	昭和42年 2月15日
139	赤堀今井の信濃柿（マメガキ）	1本	赤堀今井町一丁目205	平成 6年 4月 1日
140	塩島稲荷の大サザンカ	1本	八寸町5156-2	昭和44年 2月21日
141	湧水あまが池	1件	上田町269-2	昭和63年 3月 4日
142	西福寺の大カヤ	1本	田部井町二丁目1167	昭和63年 3月 4日

13 国登録有形文化財（6件）

No.	名 称	員数	所 在 地	指 定 日
143	小茂田家住宅（主屋・蚕室・蔵・井戸屋）	4棟	長沼町2631	平成16年 2月17日
144	日本基督教団島村教会、めぐみ保育園舎	2棟	境島村2509-2	平成20年 4月18日
145	金井義明家住宅主屋	1棟	境島村字新地2439他	令和 3年 2月26日
146	田島善一家住宅主屋	1棟	境島村字新地2209	令和 3年 2月26日
147	田島達行家住宅主屋	1棟	境島村字新地2247他	令和 3年 2月26日
148	町田清家住宅主屋	1棟	境島村字立作3143他	令和3年10月14日

VIII 青少年健全育成



ふれあい体験教室の様子

心身ともに健全な青少年の育成の推進

1. 基本方針

将来の地域社会を担う自立した青少年を育成するため、青少年の自主的な体験活動を促進し、社会規範・モラルの向上を図るとともに、家庭・地域社会・学校が連携して有害環境の浄化や問題の早期発見に取り組むなど、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

2. 重点事業

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

- ア. 青少年健全育成大会の開催
- イ. 青少年健全育成環境浄化大会の開催
- ウ. 子ども安全協力の家事業の充実
- エ. 深夜営業施設立入調査の実施
- オ. 成人式の実施 ※令和5年より成人式を「はたちの集い」に改めます。

(2) 次代を担う青少年の育成

- ア. 豊かな人間性を育むための、子ども会育成会やふれあい体験教室での体験活動の充実
- イ. 地域における青少年の健全育成を推進するための、リーダーの養成事業と派遣事業の充実

3. 令和3年度事業実績

(1) 地域ぐるみの健全育成と環境づくり

事業名	趣旨	期日・場所	対象	実績
青少年問題協議会	青少年の指導・育成及び矯正に関する総合的施策の樹立に必要な重要事項を調査審議するとともに、その適切な実施を期するため、必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る。	幹事会（4月） 第1回協議会（5月） ※書面会議 第2回協議会（11月） ※書面会議	委員、幹事	出席者延べ 61人
青少年健全育成 三季運動	青少年の非行や事故の発生が、児童生徒の休業期である季節に増加している。そのため児童生徒の休業期に、「青少年健全育成三季運動」を展開する。	春(3/15～4/30) 夏(7/15～8/31) 冬(12/15～1/31)	市民	リーフレット 配布等 啓発活動 16,772人
白ポスト回収	白ポストを管理し、有害図書等の回収・調査にあたる。	毎月実施	青少年育成推進員による回収数	有害図書等 回収数 107個
深夜営業施設立入 調査	青少年関係団体及び伊勢崎警察署と連携し深夜営業施設への立入調査並びに県青少年健全育成条例に基づく調査を実施する。	郵送で調査	市内の深夜営業施設	調査箇所 15軒
社会環境実態調査	県青少年健全育成条例に基づき、青少年を取り巻く社会環境の調査を実施する。	7/15～9/15	コンビニ、ゲームセンター、カラオケボックス、複合カフェ	調査件数 100軒
青少年健全育成 環境浄化大会	伊勢崎市の青少年を健全に育成するため、青少年育成関係団体の連	11/5～3/31	青少年育成推進員、指導センター補導員、関係団	アクセス数 682件

	携と共通理解を深め、青少年を取り巻く社会環境浄化運動を推進することを目的とする。		体	
青少年健全育成大会	家庭・学校・地域社会が思いを一つにし、市民総ぐるみの青少年健全育成運動を積極的に推進する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年育成団体等、市民、青少年問題協議会委員	
子ども安全協力の家	一般家庭や商店・事業所などを、子供たちの緊急避難場所として指定し、子ども安全協力の家事業の充実を図る。	通年	一般家庭、商店、事業所	登録件数 1,027軒
成人式	二十歳の新しい門出を地域ぐるみで祝うとともに、新成人の自覚や意識を高めるため、新成人からなる実行委員会が中心となり、地域の協力を得て、厳粛な式を実施する。	1/9 市文化会館 緋の郷まか	新成人	出席者 1,848人



子ども安全協力の家



令和4年 伊勢崎市成人式 R4.1.9

成人式



令和4年 伊勢崎市成人式 R4.1.9

②次代を担う青少年の育成

事業名	趣旨	期日・場所	対象	実績
ジュニアリーダー初級認定講習会	ジュニアリーダー・サブリーダーの養成を図るとともに、中高生の地域に根ざしたグループ活動を推進し、青少年の健全育成を目指す。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市内在住の中高生で特に子ども会活動に活躍を期待できる者	
少年団体指導者養成研修会	県子ども会指導者の組織的養成基準により地域子ども会の初級指導者を養成し、その資質向上を図ることにより、単位子ども会活動の健全な発展と推進を目指す。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市内の子ども会育成会会員で子ども会指導者として将来活躍しようとする者	
インリーダー研修	各地区の子ども会役員を対象に、	新型コロナウイルス	各地区の子ども会役	

会	子ども会活動に必要な知識・技術を修得させることにより、インリーダーとしての自覚を高め子ども会の活性化を図る。	感染症拡大防止のため中止	員参加者	
子ども会町内対抗少年相撲大会	子供たちが、国技である相撲を通して自己の体力を養い、伝統の尊さを学ぶとともに子供たちの友情と子ども会活動の発展に資する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
子ども会駅伝競走大会	駅伝競走を通じて子供たちの心身の鍛錬を図り、併せて子ども会相互の交流と子ども会活動の発展に資する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
市上毛かるた競技大会	上毛かるたの競技を通して、郷土群馬の文化・歴史・伝統を理解し、郷土を愛する心情を養う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	
明日の郷土を築く青少年の集い	青少年の体験活動を支援する団体が集い、日ごろの活動の成果を発表し合い、市民を交えて交流を図り、明日の郷土を築く決意を新たにす。また、本事業を通して、青少年団体活動に対する市民の理解を深める。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	青少年、市民	
ふれあい体験教室	市内の子供を対象に、青少年団体が特色ある活動を活かした体験教室を実施し、豊かな人間性を育てるための体験活動を推進する。	通年 市内各地	青少年、市民	事業参加者 245人
なかまづくり事業	市内の子供たちを対象に、新たな団員獲得と市内団体間での交流を深める。	12/5 伊勢崎市青少年育成センター	伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	事業参加者 79人
地域子ども交流事業	子供たちが集まり、交流活動や各種創作活動をし、交流の輪を広げ、自主性、協調性を育み、豊かな人間性を養う。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	市外、伊勢崎市ボーイスカウト、ガールスカウト	
子ども文化財めぐり	子供たちが県内の文化財をめぐるにより、郷土に対する愛情を育むとともに参加者同士の親睦を深める。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども会会員	



青少年健全育成浄化大会 動画配信



なかまづくり事業

青少年非行防止活動の推進

1 基本方針

心身ともに健全な青少年の育成を目指し、青少年の非行防止活動の推進に努めます。

近年コロナ禍における社会変化は、青少年に大きな影響を及ぼし、そこから生じる非行、いじめ等の問題は、依然として憂慮される状態にあります。

明るい家庭、住みよいまちづくりを推進し、家庭、学校、地域、関係機関が一体となって、青少年に温かい声かけを行い非行防止活動に努めます。

2 重点施策

(1) 地域と一体となった非行防止活動の展開

ア 青少年の非行防止・健全育成を目的として 29 班編成で実施する通常補導、地元で実施する地区別補導、お祭りの際に実施する特別補導及び列車内補導などを通して、非行少年の早期発見、早期指導に努める。

イ 青少年の非行防止を目指し、違反簡易広告物の除却活動を推進する。

ウ 非行防止絵画・ポスターコンクールの入賞作品のポスターを作成配布し、地域住民の意識の高揚に努める。

(2) 青少年相談事業の充実

ア 青少年の悩みごと、子供を持つ親の悩みごとなどを、電話又は面接を通して相談を受け、問題解決の一助とし、青少年の健やかな育成を図る。

イ 青少年指導センターにおいて毎週月曜日から金曜日の午後 1 時から午後 5 時まで、青少年相談員による電話又は面接相談を実施する。

ウ 休日、夜間は、応答メッセージで案内している。

エ 青少年相談事業の啓発のため、電話相談カード及びポスターを作成し市内の学校に配布する。

オ 広報および SNS で相談窓口の周知をする。

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーンの実施

ア 青少推と連携し、市内 5 箇所の大型店舗で青少年健全育成・非行防止街頭キャンペーンを実施する。

(4) 青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスターコンクールの作品募集

ア 「夏の青少年健全育成運動」の一環として、市内の小学校及び中学校の児童・生徒を対象に、青少年健全育成及び非行防止絵画・ポスターを募集する。(標語募集と隔年で実施)

イ 応募された作品の中から入賞作品を選出し、健全育成大会で表彰する。

(5) 青少年育成団体・学校・関係機関等との連携

ア 補導員会役員会を開催し、地域の団体や学校との意見交換を推進する。

イ 研修会などを通して、警察や関係機関との連携を図る。

3 令和3年度事業実績

(1) 街頭補導状況

月別	補導回数 (回)				従事した延べ人数 (人)					
	午後 2時	午後 4時	夜間	計	補導員			他団体	職員	計
					通常	特別	計			
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	7	7	9	23	58	0	58	0	0	58
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	6	4	9	19	46	0	46	0	0	46
12	9	13	24	46	80	29	109	0	0	109
1	0	3	3	6	11	15	26	0	1	27
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	22	27	45	94	195	44	239	0	1	240

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常補導は5月～6月、8月～10月、2月～3月は中止し、特別補導についても年末補導及び初市補導以外は中止となった。

(2) 青少年電話相談

ア 問題別・相談者別相談状況

(単位：件)

相談内容	未就学	小学生	中学生	高校生	青年	親	一般	合計
非行	0	0	0	0	0	0	0	0
異性・性	0	0	0	1	0	0	0	1
交友	0	0	0	0	1	0	0	1
学業	0	0	0	0	0	0	0	0
進路	0	0	0	0	0	0	0	0
不登校	0	0	0	1	0	3	2	6
健康	0	0	0	0	0	0	0	0
家庭	0	0	0	0	0	11	109	120
性格	0	0	0	0	0	0	0	0
しつけ	0	0	0	0	0	0	0	0
いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0
精神不安	0	0	1	0	0	8	23	32
その他	0	0	0	1	0	2	0	3
合計	0	0	1	3	1	24	134	163

イ 青少年電話相談広報

市内の小・中学校・特別支援学校・中等教育学校・高等学校へ電話相談カードとポスターを配布し、周知した。



青少年相談カード



青少年電話相談ポスター

(3) 青少年非行防止街頭キャンペーン

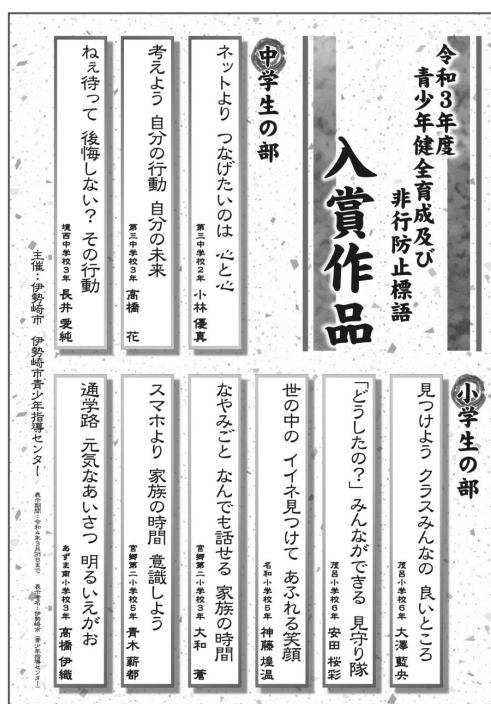
青少年の非行防止啓発のため市内5カ所の大型店舗において非行防止啓発品及びチラシを配布活動予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため啓発品等の設置配布を行い、広く市民にアピールした。



(4) 青少年健全育成及び非行防止標語の募集

青少年の健全育成及び非行防止を図るため、市内小・中学校・中等教育学校の児童、生徒へ募集し、212作品の応募があった。入賞者9名に表彰状及び記念品を贈呈した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため表彰式(健全育成大会)は中止となった。



Ⅸ スポーツ振興



伊勢崎シティマラソン

スポーツ振興

1 基本方針

- (1) 1市民1スポーツの推進を図る
- (2) スポーツ指導者の養成と指導体制の確立を図る
- (3) スポーツ団体の育成強化を図る
- (4) スポーツ施設・整備の充実を図る

2 重点施策

(1) 1市民1スポーツの推進を図る

ア 市民が多く参加できるスポーツ教室の推進

子供から高齢者まで、年齢・体力・技術に応じてスポーツ活動に取り組めるよう、各種スポーツ教室を開催し、市民のすべてが生涯にわたり健康で生きがいのある生活が送れるように努めます。

イ 家族で楽しめる「市民スポーツの日」の推進

毎月第一日曜日を「市民スポーツの日」として、施設（陸上競技場・庭球場・市民体育館・第二市民体育館・赤堀体育館・あずま体育館・境体育館など）を無料開放。市民が家族でスポーツに親しみ、スポーツを通して健康な心と体を鍛え、明るく豊かなまちづくりの推進に努めます。

ウ 市民総合スポーツ大会の充実

第18回市民総合スポーツ大会を、伊勢崎市スポーツ協会加盟団体が競技ごとに主催する市民総合スポーツ大会の冠大会と各地区で開催する地区スポーツ交流大会として開催し、広く市民にスポーツの振興・普及を図り市民の体力づくり運動を推進するとともに1市民1スポーツの定着に努めます。

エ 市民レクリエーションスポーツ祭の充実

第18回市民レクリエーションスポーツ祭を開催し、子供から高齢者まで誰もが気軽に参加できる市民スポーツの推進に努めます。

オ スポーツ推進委員等による地域スポーツ活動の推進

地域住民のニーズにあった、ニュースポーツの普及や地域スポーツ活動の支援などにより、1市民1スポーツの定着に努めます。

(2) スポーツ指導者の養成と指導体制の充実

ア 実技講習会等による指導者の養成

実技講習会を実施し、指導者としての知識及び技能の向上を図るとともに、体力や年齢に応じた適切な指導の向上に努めます。

イ 指導者登録制度の充実と効果的な活用

市民のスポーツ需要に応える、適切な指導者を紹介できるような指導者制度を確立し、活用に努めます。

(3) スポーツ団体の育成強化を図る

ア 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会への支援

1市民1スポーツの推進及び競技力向上を図るため、各競技団体、スポーツ推進委員会、地区社会体育推進委員連絡協議会、軽スポーツ団体等の連携と（一財）伊勢崎市スポーツ協会の支援に努めます。

イ 競技団体の育成と選手の強化

各競技団体の自主活動を推進するとともに、関東・全国大会で活躍できる選手の育成に努めます。

ウ スポーツ少年団の育成

各少年団の自主的活動を推進するとともに、相互間の連携の強化を図り、少年スポーツの育成に努めます。

(4) スポーツ施設・設備の充実

市庭球場防球ネット改修工事

市陸上競技場スタンド防水シート改修工事

仮称 赤堀地区グラウンドゴルフ場整備工事

赤堀体育館照明灯改修工事

あずま弓道場外壁等改修工事

(5) スポーツ振興組織

ア スポーツ推進審議会

市民の意見の反映、専門的な人々からの総合的、長期的な伊勢崎市のスポーツに対する諮問機関。

委員 12人

イ スポーツ推進委員

市民のスポーツの振興と市民スポーツ活動の促進を一層充実するため指導助言を行う。

委員 45人

ウ 地区社会体育推進委員連絡協議会

各地区のスポーツ行事の情報交換・調整・スポーツの普及啓発・指導者の養成等を行う。

委員 33人

エ スポーツ指導者バンク

市民のスポーツ活動の促進を図るため、スポーツ指導者の登録制度。

11団体 74人

オ 一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会

スポーツ人口の増大と各競技種目の普及に伴って、(一財)伊勢崎市スポーツ協会も年々充実発展し現在43団体を統括し、本市のスポーツの核として、1市民1スポーツの定着と競技力の向上・指導の育成等に努めている。

(一財)伊勢崎市スポーツ協会加盟団体

野球協会・ソフトテニス連盟・テニス協会・バレーボール協会・バスケットボール協会・卓球協会・陸上競技クラブ・水泳協会・スキー協会・柔道協会・剣道協会・弓道協会・子育連・スケート協会・体操協会・ボクシング協会・バドミントン協会・サッカー協会・ソフトボール協会・ラグビーフットボール協会・ウォーキング協会・ゲートボール協会・ボウリング協会・ゴルフ協会・太極拳協会・インディアカ協会・グラウンドゴルフ協会・綱引協会・中学校体育連盟・スポーツ少年団・スポーツ推進委員会・地区社会体育推進委員連絡協議会・市民合気会・ハイキング協会・レスリング協会・空手道連盟・トリアスロン協会・スポーツチャンバラ協会・スポーツウエルネス吹矢協会・山岳会・西部スポーツクラブ・トランポリン協会・小学校体育研究会

3 令和3年度事業実績

(1) スポーツ教室開催結果一覧表 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止

参加者 241人

No.	教室名	実施月	回数	対象	参加人数	会場
1	早朝ソフトテニス (境)	4月・5月	—	小学3年以上	—	境上武公園テニス場
2	早朝テニス	4月・5月	—	小学4年以上	—	庭球場
3	ソフトテニス	4月・5月	—	在住・在勤・在学	—	庭球場
4	健康アップ	5月・6月	—	在住・在勤(学生除く)	—	市民体育館
5	なぎなた	5月	—	小学生以上	—	境武道館
6	弓道	5月・6月	8	中学生以上	26	弓道場
7	弓道 (境)	5月・6月	8	中学生以上	19	境弓道場
8	早朝ソフトテニス	5月-7月	8	小学4年以上	42	庭球場
9	バドミントン	5月・6月	—	在住・在勤(学生除く)	—	第二市民体育館
10	体操	5月・6月	—	小学2年~6年	—	市民体育館
11	インラインスケート	5月・6月	—	5歳以上の市民	—	三室西公園スケート場
12	卓球	6月	—	小学5年以上	—	スポーツ交流館
13	ボクシング	6月	—	小学生以上	—	市民体育館
14	サッカー (赤堀)	6月	2	小学1年~3年	19	赤堀コミュニティひろば
15	合気道	6月	—	小学生以上	—	市民体育館外
16	少年少女レスリング	6月・7月	—	5歳~小学6年	—	興陽高校柔道場
17	太極拳	7月	—	小学生以上	—	境体育館
18	ナイターテニス	8月・9月	—	在住・在勤(学生除く)	—	庭球場
19	ジュニアバドミントン	8月・9月	—	小・中学生	—	第二市民体育館
20	カヌー	9月	—	中学生以上	—	広瀬川外
21	水泳①	9月	—	18歳以上の市民	—	スポーツアカデミー伊勢崎
22	ミニバレーボール	10月・11月	8	小学生	33	茂呂小学校体育館
23	サッカー (境)	10月	—	小学1年~4年	—	境総合運動場
24	弓道 (あずま)	11月	—	小学5年生以上	—	あずま弓道場
25	ミニバスケットボール	11月	2	小学生	33	あずま体育館
26	スケート①	12月	8	小学生以上	31	スケートセンター
27	陸上	12月・1月	4	小学生	38	陸上競技場
28	スケート②	2月	—	小学生以上	—	スケートセンター
29	水泳②	3月	—	小学生	—	スポーツアカデミー伊勢崎
30	スキー	3月	—	小学生以上	—	軽井沢プリンスホテルスキー場

(2) 「市民スポーツの日」実績一覧表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
447	703	481	369	475	8	271	301	275	341	553	428	4,652

(3) 市民総合スポーツ大会の実績一覧表 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部中止
ア 冠大会 11種目 3,167人

ラグビー・体操・ソフトテニス・トライアスロン・ボウリング・水泳・ソフトボール・テニス・柔道・弓道・グラウンドゴルフ

イ 地区スポーツ交流大会 2地区 194人

三郷地区・境地区

(4) 市民レクリエーションスポーツ祭の実績 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
総参加者総人数 0人(役員等0人を含む)

種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者	種目	参加者
サイクリング	—	ターゲットバードゴルフ	—	マイボールウイング	—	スポーツウェルネス吹矢	—
ウォーキング	—	オリエンテーリング	—	シャフルボード	—	ヘルスバレー	—
ゲートボール	—	インディアカ	—	タスポニー	—	ラダーゲッター	—
グラウンドゴルフ	—	なわとび	—	スポレック	—	はつらつウォーク	—
スポーツパフォーマンステスト	—						

(5) 施設の利用状況

施設利用実績 総合計 538,330人

華蔵寺公園運動施設		赤堀運動施設		あずま運動施設		境運動施設	
市民体育館	59,349	赤堀体育館	13,619	あずま体育館	19,208	境体育館	9,453
第二市民体育館	18,338	赤堀剣道場	298	総合運動場テニスコート	9,386	境武道館	7,942
庭球場	46,223	赤堀中央運動場	8,079	あずまスタジアム	7,405	境いよく公園運動場	24,080
野球場	24,593	あかまぼり運動公園	26,275	あずまサブスタジアム	3,802	境弓道場	3,461
陸上競技場	29,038	赤堀西部スポーツ公園	4,466	あずま弓道場	4,497	境総合運動場	13,818
ソフトボール	18,377	赤堀香林運動公園	2,280	あずま総合運動場	12,896	境上武公園	7,615
第二グラウンド	11,086	赤堀グラウンドゴルフ場	305	三室西公園	9,731	境広瀬川緑地グラウンドゴルフ場	13,888
補助競技場	26,950	赤堀コミュニティひろば	3,256	あずまゲートボール場	1,688	利根川河川運動場	262
弓道場	9,462	計	58,578	つつみ公園グラウンドゴルフ場	1,257	境矢ノ原公園運動場	888
相撲場	0	—	—	あずまサッカースタジアム	28,166	境島村ラグビー場	0
市民プール	0	—	—	あずまウォータースライダー	29,107	市ラグビー場	1,345
その他	147	つなとりスポーツ広場	5,008	西小保方公園グラウンドゴルフ場	8,680	境プール	12,606
計	243,563	計	5,008	計	135,823	計	95,358

伊勢崎市教育要覧

令和4年度版

令和4年9月発行
編集 伊勢崎市教育委員会事務局
発行 伊勢崎市教育委員会
〒372-8501
伊勢崎市今泉町二丁目 410 番地
電話：0270-27-2785（総務課）
FAX：0270-24-9668
E-mail：k-soumu@city.isesaki.lg.jp